

令和6年度

業務報告書

大町市地域人口分析定住促進等業務

令和7年3月

長野県大町市

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所

目次

I 全体概要	1
1. 業務目的	1
2. 業務の全体フローと業務体制	1
(1) 業務の全体フロー	1
(2) 業務体制	1
第1部 地域人口の現状分析、将来予測、定住増加推計	2
I 概要	3
1. 目的	3
2. 将来人口の推計手法と補正方法	3
(1) 使用した推計手法について	3
(2) コーホート変化率法とは	3
(3) 将来人口推計の計算イメージ	5
(4) 推計地域とシミュレーション内容	6
(5) 人口分析・将来人口の推計に使用したデータ	6
(6) 補正が必要な地域と補正方法について	7
(7) 将来人口推計のフローチャート	8
3. 人口安定化の条件と定住増加組数	9
(1) 人口安定化の条件	9
(2) 定住増加組数	10
4. 人口推計シート（推計結果）の構成・見方	11
(1) 推計結果シートの構成	11
(2) 推計結果シートの解説	12
(3) 推計シミュレーション方法	13
II 人口分析・推計の結果【大町市全体、大町（居誘地）】	14
1. 現状分析（2019～2024年）	14
(1) 人口全体増減	14
(2) 年代別人口構成グラフ	15
(3) 男女年代別コーホート変化率	16
2. 現状推移シナリオ	22
(1) 人口と高齢化率予測	22
(2) 小・中学生数予測	25
(3) 20年後の年代別人口構成グラフ	26
3. U & I ターン増加シナリオ	27

(1)	人口と高齢化率予測.....	27
(2)	小・中学生数予測.....	29
(3)	20年後の年代別人口構成グラフ.....	30
4.	組み合わせ最適シナリオ.....	31
(1)	人口と高齢化率予測.....	32
(2)	小・中学生数予測.....	34
(3)	20年後の年代別人口構成グラフ.....	35
5.	年次推移（過去2年間）.....	37
(1)	コーホート変化率推移（5～79歳）.....	37
(2)	年次推移一覧表.....	39
6.	大町（居誘地）の自治会別現状分析（2019～2024年）.....	41
(1)	人口増減数・増減率.....	43
(2)	高齢化率.....	45
(3)	4歳以下幼児数・増減率.....	47
(4)	小学生数・増減率.....	49
(5)	30代女性数・増減率.....	51
(6)	30代男女コーホート増減数・増減率.....	53
(7)	10代後半男女流出数・流出率.....	55
(8)	出生率.....	57
(9)	社会増減数・増減率.....	59
(10)	コーホート変化率一覧.....	61
(11)	一覧表.....	62

第2部 定住戦略の策定・起業支援プログラムの検討..... 64

I モデル地区における定住戦略の策定..... 65

1.	「地元天気図」づくりの話し合い.....	65
2.	「暮らしの手引き」づくりの話し合い.....	84

II 起業支援プログラムの検討..... 97

1.	現状ヒアリングと課題集約.....	97
(1)	起業支援の取り組み：市役所.....	97
(2)	起業支援の取り組み：商工会議所.....	97
(3)	起業の実例 ①ぶぶ一級建築士事務所.....	98
(4)	起業の実例 ②手作りベーグルの店 noe.....	99
(5)	起業の実例 ③北アルプスブルワリー.....	100
(6)	課題の集約.....	101
2.	起業支援先進事例研修会、成果報告会の開催.....	103
3.	起業支援プログラムのあり方.....	106

- (1) 大切な交流の「広場」づくり 106
- (2) 進めたい定住促進や第三者継承等の他施策との合わせ技 106
- (3) 欠かせない次世代の中学生、高校生における地元キャリア教育 107

I 全体概要

1. 業務目的

本業務は、大町市内のモデル地区における将来人口の分析・推計を行うとともに、ワークショップの開催等を通じて、モデル地区の定住戦略を策定する。また若年層の流出超過を食い止める支援策について、現状調査と課題の抽出、研修会の開催を通じて、今後の定住並びに企業促進支援策を検討することを目的とする。

なお、モデル地区は大町市が居住を促進し、一定の人口密度水準の維持を目指している大町（大字）の一部を選定した（居住誘導地域）。以下「大町（居誘地）」と表現する。

2. 業務の全体フローと業務体制

（1）業務の全体フロー

- ① 令和6年6月 人口推計・分析用データの受渡し
- ② 令和6年6月 人口推計・分析の実施
(大町市全体、大町（居誘地）1エリア 計2エリア)
- ③ 令和6年6月 人口推計シミュレーションの実施
*定住増加、若年層流出防止、出生率向上の組み合わせ策等
(大町市全体、大町（居誘地）1エリア 計2エリア)
- ④ 令和6年7月 人口分析の実施（大町「居誘地」の自治会31エリア）
- ⑤ 令和6年6,7月 現状ヒアリング
- ⑥ 令和6年12月 「地元天気図」づくりの話し合い
- ⑦ 令和7年1月 「暮らしの手引き」づくりの話し合い
- ⑧ 令和7年3月 成果共有会、起業支援先進事例研修会の開催
- ⑨ 令和7年1～令和7年3月 成果とりまとめ

（2）業務体制

業務受託者：一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所

業務責任者：代表理事 藤山 浩

分 析：理事 森山 慶久

業務支援：特別研究員 菅原 まき子

業務支援：研究マネージャ 山下 知子

第1部 地域人口の現状分析、将来 予測、定住増加推計

I 概要

1. 目的

今後の持続可能な地域づくりや定住対策等を検討・実施するため、まずは現状の把握が必要である。そのため、大町市全体と大町（居誘域）や自治会毎の人口の現状分析ならびに将来予測を行い、大町市の人口動態や人口構成における優位性と問題点を明らかにすることを目的とする。

2. 将来人口の推計手法と補正方法

(1) 使用した推計手法について

地域人口の推計によく使われる手法は、【コーホート要因法】と【コーホート変化率法】の2つがある。これら2つ以外の推計手法には、使用する変数が多い等、実用上の問題が多く、実際にはあまり使われていないのが実情である。

大町市の人口推計では【コーホート変化率法】を使用して将来人口を推計した。ただし、【コーホート変化率法】をベースとしつつも多数の補正を加えることで、持続可能な地域社会総合研究所が独自開発した推計手法となっている。次節以降で、コーホート変化率法と補正方法について解説する。

(2) コーホート変化率法とは

・コーホート法とは

同時に出生した集団（コーホート）の、ある期間の人口の変化を捉えることで将来人口を推計する方法である。コーホート法は大きく分けると、【コーホート変化率法】と【コーホート要因法】の2つがある。

例えば、ある年の20～24歳人口は5年後には25～29歳となるが、その間の実際の人口動態を分析し、これから導出された傾向を基準として20～24歳人口に乗じることで、5年後の25～29歳人口を推計する。

・コーホート変化率法とは

小地域（基礎自治体「市区町村」よりも小さな地域単位）の人口推計に使用されることが多い手法で、必要とするデータは、出発時点（基準年）における男女年齢別の人口と、通常5年前の男女年齢別人口だけである。従って、生残率と合計特殊出生率あるいは純移動率といった専門家でないで算出しにくいデータを揃えなくてもよい。しかも、男女年齢別の人口だけなら、住民基本台帳等のデータを使えば、毎年でも更新できる。コーホート変化率や出生数の推計に使用する子ども女性比率は、比較的統計上の誤差が小さいことから、人口が少ない地域の推計にも適している。また、これ

から行うように U&I ターン等の増加を組み入れることも容易となる。

「コーホート変化率法」では、通常、対象地域における直近 5 年間のコーホート変化率が、今後も継続すると仮定して将来推計を行う。出生数は、基準年における 20～39 歳女性人口と 0～4 歳人口の比率が、今後も一定であると仮定して推計する。つまり、子どもを出産する年齢の女性が増えれば、赤ちゃんの数も一定割合で増えると想定している。その際、0～4 歳児の男女比を男子 105、女子 100 と設定するのが普通である。

・<参考>コーホート要因法とは

出発時点(基準年)における男女年齢別の人口に、何らかの方法で設定された将来の、男女年齢別生残率と男女年齢別純移動率、そして女性の年齢別出生率を乗じて算出するものである。このうち、生残率と合計特殊出生率は、都道府県や市町村では人口動態統計から算出可能だが、純移動率はデータが一般的には整備されていないため、新たに推計作業が必要となる。また、人口が数千人レベルの地域では、求められた生残率、合計特殊出生率ならびに純移動率は、統計上の誤差が大きく、そのためさまざまな補正作業が必要となる。

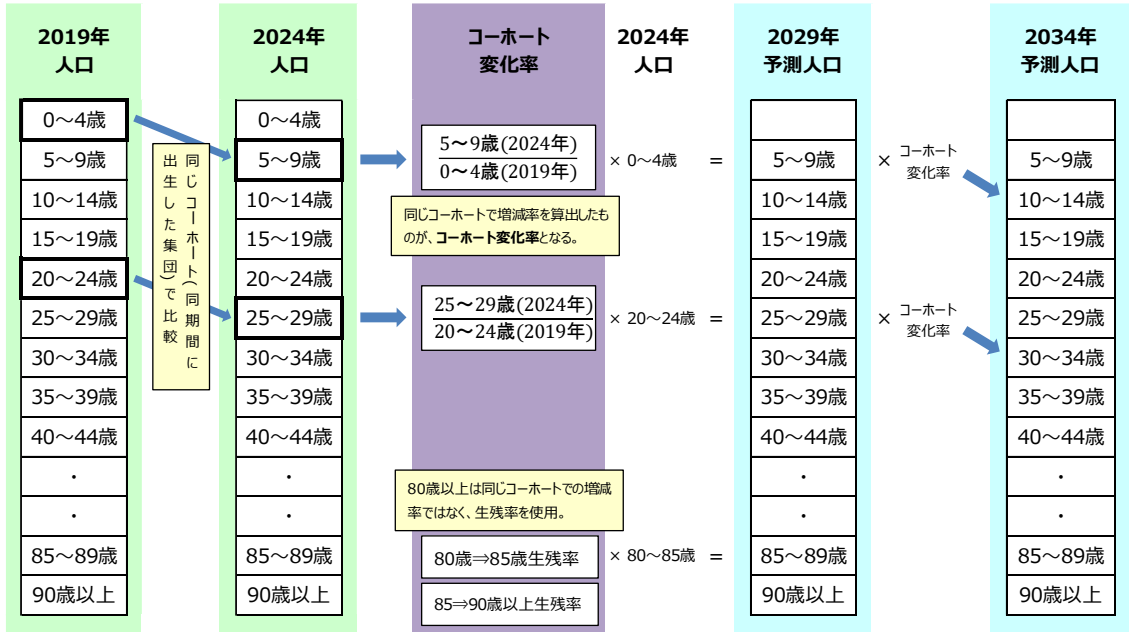
国立社会保障・人口問題研究所といった専門機関が、市町村等の長期的な人口予測を行なう際には、この「コーホート要因法」を使っている。そして、「日本創生会議」の人口推計も、同研究所の推計結果を下敷きにしている。

以上を踏まえ、今回の大町市人口推計では、対象地域データの集約が困難な「コーホート要因法」よりも、小地域にも対応し理解しやすい「コーホート変化率法」を使用して将来人口を推計するのが適切であると判断する。

(3) 将来人口推計の計算イメージ

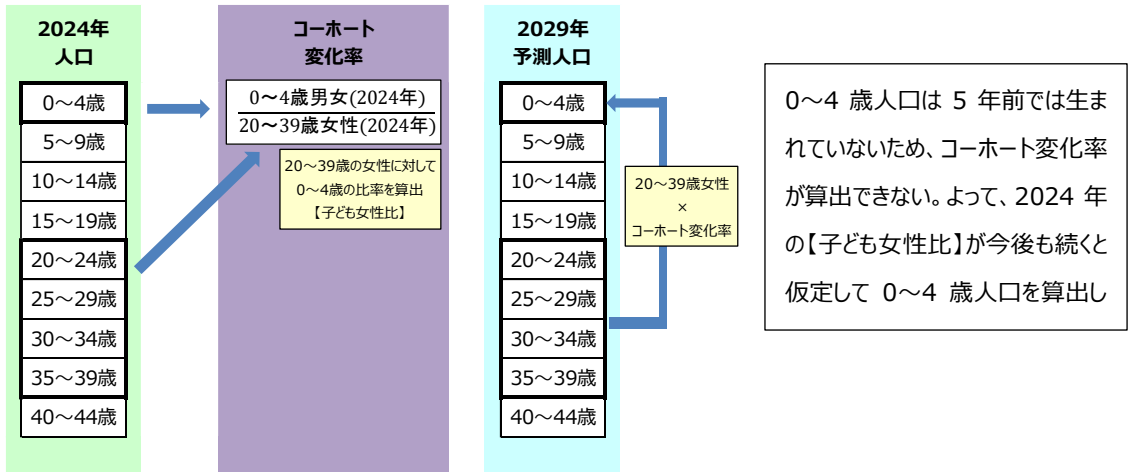
コーホート変化率法を用いた、将来人口推計の計算方法を理解していただくため、以下に計算イメージを掲載する。

【5～90歳以上の計算方法】



※80歳以上の社会移動は稀であると予測されるため、変化率には生残率（2030 ⇒ 2035年）を使用した。

【0～4歳の計算方法】



※男女の出生性比は105:100として計算した（世界の統計より）。

(4) 推計地域とシミュレーション内容

大町市全体・大町（居誘地）1 地域、計 2 地域での人口推計・分析及び、出生率・流出率・定住増加が改善した場合の人口推計シミュレーションを実施した。加えて、大町（居誘地）の自治会である 31 地域では人口分析を実施した。

(5) 人口分析・将来人口の推計に使用したデータ

- ・大町市住民基本台帳の人口データ（2019・2024 年 04 月 30 日現在）

男女 5 歳刻み 19 階級（90 歳以上一括り）の人口データを使用した。

（外国人を含む総数）

- ・将来の 80 歳以上の大町市生残率データ（2018 年 3 月推計）

80 歳以上の社会移動は稀であると予測されることから、コーホート変化率の代わりに 80 歳以上は生残率を用いて推計を行った。

生残率データは【国立社会保障・人口問題研究所】のホームページよりダウンロードした。

(6) 補正が必要な地域と補正方法について

コーホート変化率法の考え方は、過去 5 年間の人口動態が、将来にわたって維持されるものと仮定して推計する手法である。これは逆に考えると過去 5 年間の人口動態が続かない地域については、将来人口が正しく算出できない可能性が高く、このような地域では変化率の補正が必要となる。また、小地域での推計においては、男女 5 歳刻み階級の人口が 0 人で、推計に必要な変化率の算出自体ができない地域も多々あり、このような地域についても補正が必要となってくる。

補正が必要な地域の条件と補正方法を以下に示す。

- 80 歳未満の男女 5 歳刻み階級の変化率が 0%となる地域については、該当の男女 5 歳刻み階級人口と、それに関連する階級人口に 1 人加算処理して変化率を算出した。
- 将来人口を算出する際には 2024 年の男女 5 歳刻み各階級に変化率を乗じて将来人口を推計するが、その際に 2024 年の男女階級人口が 0 人の場合は、僅かでも傾向を反映させるため、0.5 人に置換して将来人口を推計した。
- 特殊施設（老人ホーム等）の新設・廃止等の理由で、80 歳未満男女 5 歳刻み階級の変化率が急増減となる階級の変化率は※₁代替変化率を使用した。
急増減階級とみなす閾値は以下の通りである。
5～75 歳：変化率が 30%未満 Or 300%超え
0～4 歳：変化率が 5%未満 Or 40%超え
- 全体の人口が過去 5 年間で急増減している地域については、一時的な要因の可能性が高いため（新興住宅地建設、立ち退き等）、80 歳未満の変化率は※₁代替変化率を使用した。
急増減地域とみなす閾値は以下の通りである。
過去 5 年間の人口増減率が（80%未満 Or 120%超え） And 2024 年地域総人口 30 人以上

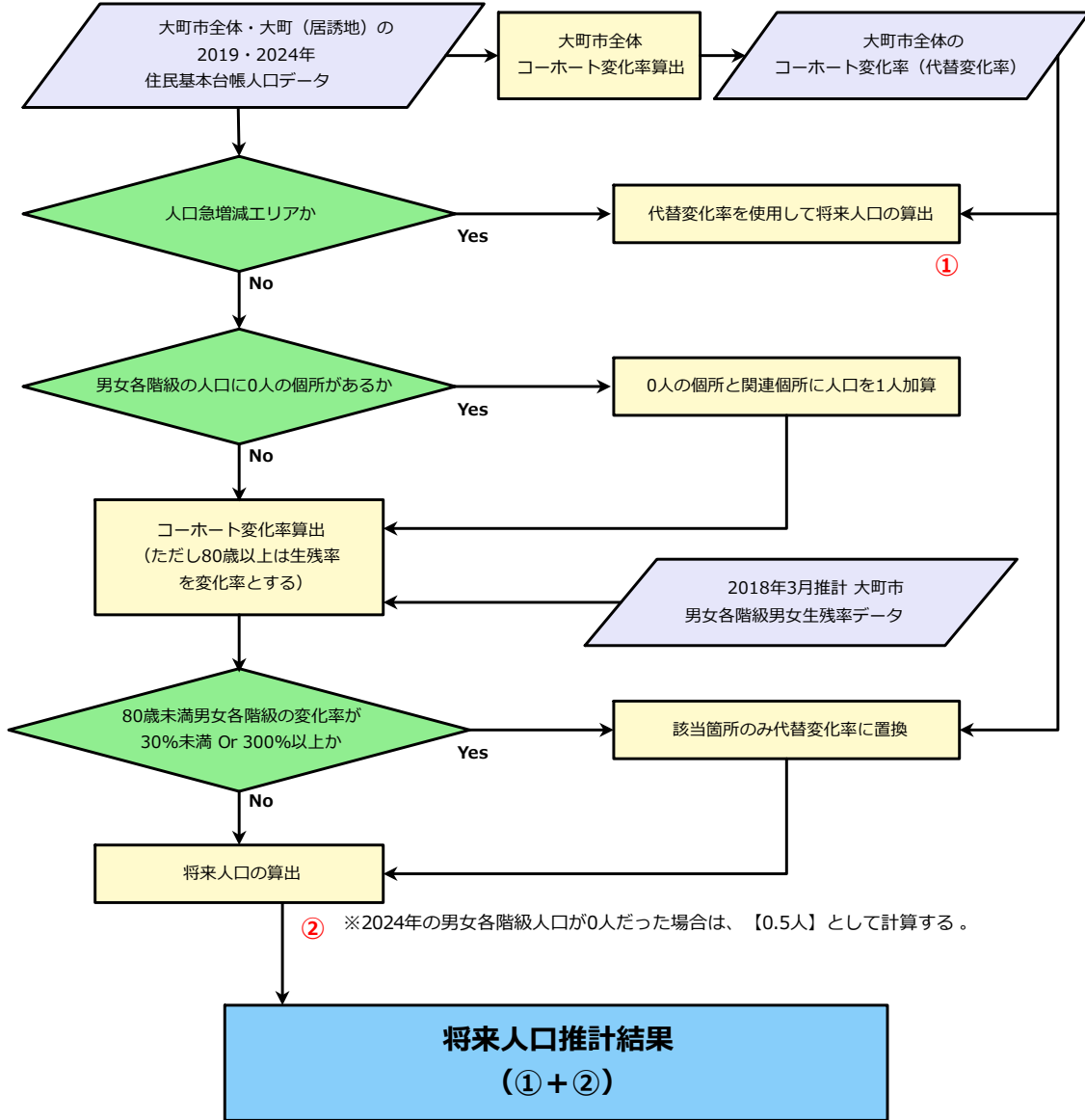
※₁代替変化率について

住民基本台帳 2019・2024 年人口データから、大町市全体男女 5 歳刻み 80 歳未満までの 16 階級の変化率を算出し、これを代替変化率とした。

上記のような補正を実施したが、今回の大町市では、補正が必要となる地域は存在しなかった。

(7) 将来人口推計のフローチャート

前述の「(6) 補正が必要な地域と補正方法について」の考え方を当てはめて、コーホート変化率法で将来人口推計を実施すると、以下のフローチャートのように図示できる。



3. 人口安定化の条件と定住増加組数

(1) 人口安定化の条件

地域人口の長期安定化（以下「人口安定化」という）の条件としては、以下の3つの基準を同時に満たしていれば、人口安定化が達成できているものとして仮定する。

① 30年後の人口総数が2024年人口総数と比較して**1割減以内**に収まること。

② 30年後の高齢化率が2024年の高齢化率と比較して**悪化しない**こと。

ただし、2024年の高齢化率が40%以下の場合は、30年後の高齢化率が**40%以内**に収まれば高齢化率は悪化していないものと判断する。

③ 30年後の年少人口（0～14歳）が2024年の年少人口と比較して**1割減以内**に収まること。

「まち・ひと・しごと創生」の長期ビジョン（2014年策定）では2060年に1億人程度の人口を確保することを目指している。これは当時人口から換算すると、約45年後には人口減少率が約2割減以内に収まるという意味である。

「まち・ひと・しごと創生」の長期ビジョンの目標に準拠し、30年後に1割減以内となれば、45年後（2060年頃）には2割減以内には収まる可能性が高いため、30年後人口総数1割減以内を人口安定化の条件と設定した。また、45年後ではなく、30年後を評価基準としたのは、地域住民の方にとって45年は長いと感じられ、目標意識が薄れてしまうことを危惧し、比較的近い将来の30年後を基準としている。

実際には各地域の実情・課題・可能性に応じた、地域毎の人口安定化の条件を設定することが望まれる。

(2) 定住増加組数

合計特殊出生率・流出率の改善だけで人口安定化が難しい場合、新たに定住人口を増加させる必要があり、どの程度の定住増加人口を確保していけば達成できるのか算出する必要がある。そこで、人口安定化に必要な定住増加組数を算出している。このような「処方箋」があつてこそ「地域人口ビジョン」であり、今後の「総合戦略」も具体的な目標数値がなければ、実効性のあるものにはならないと考える。

定住人口の増加を考える場合、まず、定住を増やそうとする世代のターゲットを決める必要がある。卒業や就職、結婚や出産、退職といった人生の節目と出来事と、居住地の移動が連動することが多いので、社会移動が比較的多いと想定される以下の3世帯(世代)を中心に定住増加人口を考える。

- 30歳代前半夫婦が4歳以下の子どもを連れてU・Iターン(3人)
- 20代前半夫婦がU・Iターン(2人)
- 60代前半夫婦(定年退職者)がU・Iターン(2人)

上記の3世帯を1組(合計7人)とし、毎年1組ずつ定住していくものとする。なお、人口安定化に必要な組数の最少単位は0.1組として算出する。

4. 人口推計シート（推計結果）の構成・見方

（1）推計結果シートの構成

人口推計した結果は Microsoft 社の「Microsoft Excel」という表計算ソフトウェアで閲覧することができる。【現行推移モデル】【U&I ターン増加モデル】【組み合わせ最適モデル】の3つのパターン別推計結果を閲覧でき、加えて【定住組数・流出率・※₁合計特殊出生率】が変更された場合のシミュレーションも可能となっている。なお、人口推計シート（推計結果）は、DVD-ROM に収録し成果品として納品する。

- **現行推移モデル**

現状の分析結果に加え、過去5年間の人口動態が続いた場合の45年後（2069年）までの推計結果の表示が可能。

- **U&I ターン増加モデル**

【流出率・合計特殊出生率】は過去5年間の人口動態が続くと仮定し、定住増加だけで人口安定化を達成した場合の推計結果と、定住増加を変更したシミュレーションが可能。

- **組み合わせ最適モデル**

10代後半の流出率（主に高校卒業後）を半減させ、合計特殊出生率を【2.00（段階的に上昇）】（H27.10 大町市人口ビジョンの目標出生率から設定）とし、それでも人口安定化が達成できない場合は定住を増加させ、人口安定化を達成した場合の推計結果と、定住増加・流出率を変化させたシミュレーションが可能。

ただし、現状で流出率が0%未満の地域は現状のままとし、合計特殊出生率も同様に、設定した値を超えている地域については現状のままとした。

※₁合計特殊出生率について

ここでの【合計特殊出生率】とは、現状の社会移動を含む【子ども女性比（0～4歳／20～39歳女性）】を変換して算出したもので、一般的な【「期間」合計特殊出生率】とは異なる。ただし、【「期間」合計特殊出生率】と【子ども女性比】は高い相関関係にあるため、値は近似し、むしろ社会移動を含めているため、より実効性が高いともいえる。

【子ども女性比】から【合計特殊出生率】への変換式：

$$\text{合計特殊出生率} = (\text{2024年0～4歳} / \text{2024年20～39歳女性}) \times 4$$

(2) 推計結果シートの解説

現状推移モデルの結果を基に、各値や各グラフを解説する。

変化率に補正をかけているエリアか
 FLG 0 = 補正をかけていない
 FLG 3 = 80歳未満すべての階級に補正をかけている
 FLG 45 = 一部の該当階級に補正をかけている

前後5年の男女年齢別の人口データ

人口予測シミュレーション

現行推移モデル

地区ID: 2012 人口予測FLG: 0 2019年世帯数: 11,896
 地区名: 大町市全体 算出基準年度: 2024 2024年世帯数: 12,011 0人階級はプラス: 0.5人として計算

年齢	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	90	合計	性別	階級別
2019	27	52	62	61	49	44	62	87	91	90	85	94	114	101	90	48	23	15,300	6,413	8,887
2024	27	52	62	61	49	44	62	87	91	90	85	94	114	101	90	48	23	15,300	6,413	8,887

5年毎の男女年齢別の将来人口を計算

30年後の対2024年比は
 人口総数: 53.44% ※90%以上が減少
 高齢化率: 13.20% ※90%以上が減少
 年少人口: 33.73% ※90%以上が減少

男女年齢階級別のコーホート変化率・率のグラフ

率・小・中学生数を自動集計

現在の二十年後(年次は可変)の階層別の男女人口

今後の5年刻みの小学生・中学生数及び、年少人口の予測グラフ

今後の5年刻みの総人口と高齢化率予測のグラフ

今後の5年刻みの小学生・中学生数及び、年少人口の予測グラフ

(3) 推計シミュレーション方法

U&I ターン増加モデルを基に、シミュレーション方法を解説する。

● 出生率を変更するには

該当箇所に入出生率を入力すると自動計算されます。
出生率を一律に設定されたい場合は、左側のセルを入力、
期間毎に詳細な設定をしたい場合は、右側のセルに入力してください。

● 毎年の定住組数を変更させるには

該当箇所に入毎年定住組数を入力すると自動計算されます。

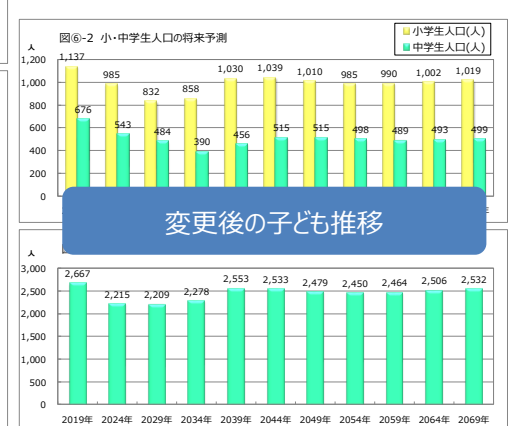
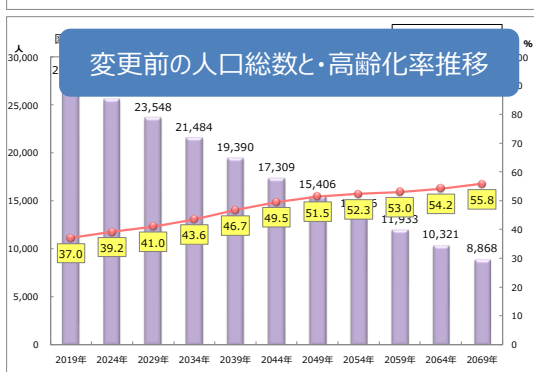
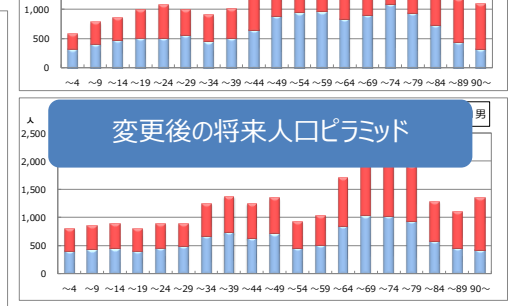
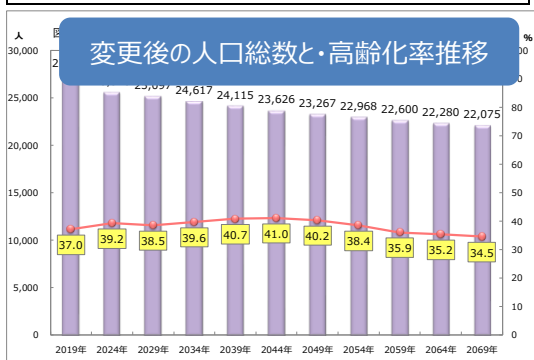
● 10代後半の流出率を変更させるには

該当箇所に入流出率を入力すると自動計算されます。

● その他の変更をされたい場合は

「出生率・10代後半流出率・毎年定住組数」以外にも詳細な設定をされたい場合は、該当の変化率を直接変更してください。変化率の値を変更すると自動計算されます。

ただし、変更される場合は、人口推計の考え方・計算方法等を十分に理解した上で変更されることをお奨めします。



Ⅱ 人口分析・推計の結果【大町市全体、大町（居誘地）】

大町市全体と大町（居誘地）の人口の現状分析・パターン別人口推計シミュレーションを行った。

1. 現状分析（2019～2024年）

大町市全体と大町（居誘地）の過去5年間（2019～2024年間）の人口動態の推移を検討していく。

（1）人口全体増減

ア）大町市全体

	実数			率			
	2019年	2024年	増減	2019年	2024年	比率増減	増減率
人口総数	27,439	25,515	-1,924	-7.0%			-7.0%
高齢者	10,163	9,998	-165	37.0%	39.2%	2.1%	-1.6%
4歳以下幼児	772	573	-199	2.8%	2.2%	-0.57%	-25.8%
小学生	1,137	985	-152	4.1%	3.9%	-0.28%	-13.4%
30代女性	1,121	939	-182	4.1%	3.7%	-0.41%	-16.2%

イ）大町（居誘地）

	実数			率			
	2019年	2024年	増減	2019年	2024年	比率増減	増減率
人口総数	7,488	7,002	-486	-6.5%			-6.5%
高齢者	2,817	2,739	-78	37.6%	39.1%	1.5%	-2.8%
4歳以下幼児	231	161	-70	3.1%	2.3%	-0.79%	-30.3%
小学生	285	279	-6	3.8%	4.0%	0.18%	-2.1%
30代女性	288	262	-26	3.8%	3.7%	-0.10%	-9.0%

大町市、大町（居誘地）ともに人口は減少傾向にある。高齢者だけでなく、30代女性、次世代を担う4歳以下幼児や小学生のほとんどの世代で減少傾向にあることが課題である。特に4歳以下幼児の減少が著しく、大町市全体で約2.6割、大町（居誘地）で約3割の減少となっている。

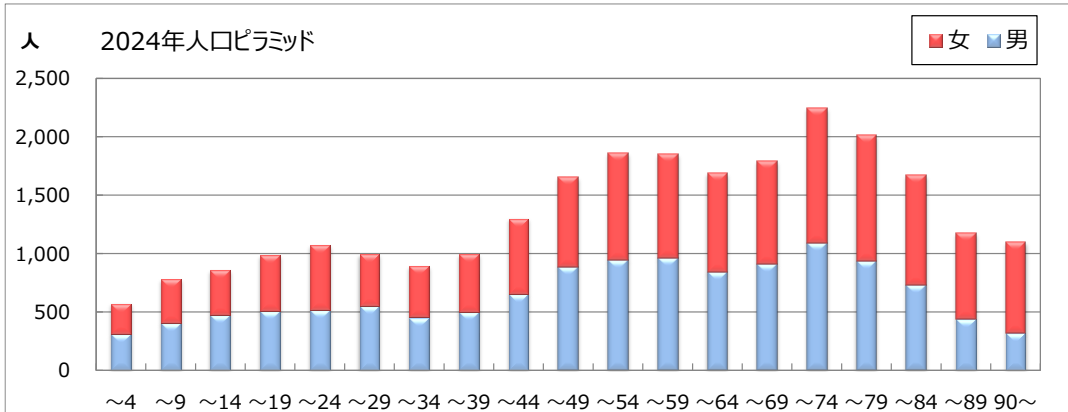
<参考>大町市、大町（居誘地）、長野県平均、全国平均との比較

	大町市 2024年	大町市 2023年	大町 (居誘地) 2024年	大町 (居誘地) 2023年	長野県平均 2020年	全国平均 2020年
人口増減率	-7.0%	-6.9%	-6.5%	-7.6%	-2.4%	-0.7%
高齢化率	39.2%	38.9%	39.1%	39.1%	32.2%	28.7%
4歳以下幼児率	2.2%	2.3%	2.3%	2.3%	3.5%	3.7%
小学生率	3.9%	4.0%	4.0%	4.1%	5.2%	5.1%
30代女性率	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	4.8%	5.5%

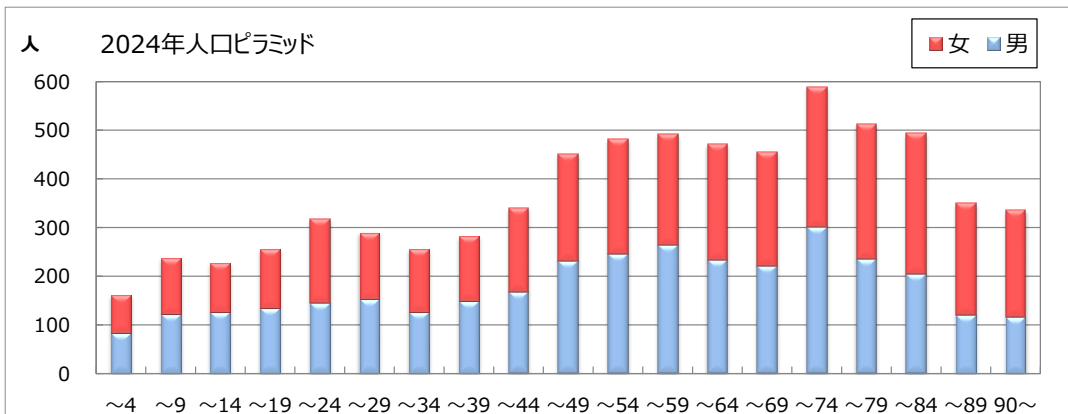
長野県・全国平均は2020年国勢調査統計より集計（年齢不詳人口は按分し、外国人含む総数で集計）

(2) 年代別人口構成グラフ

ア) 大町市全体



イ) 大町（居誘地）



大町市、大町（居誘地）ともに、70代前半を中心にピーク（人口が最も多い世代）があり、現在の地域を担っている主力人材もここに集中していることが予測される。前年度も70代前半にピークがあったが、本年度で70代後半人口が増加し、70代前半人口が減少していることから、ピーク世代が移りつつある。現在の70代前半が元気なうちに、次世代の地域を担う人材の確保と継承という観点から、今後5~10年間での次世代定住が急務となる。

人口の年齢構成で最も大切なことは、全体のバランスである。高齢者層・子育て世代の30~40代、そして、小・中学生の3つの年代層のバランスがとれていることが重要であるとする。

(3) 男女年代別コーホート変化率

ア) 男女年代別コーホート変化率とは

まず、コーホートとは「同じ期間に出生した集団」のことで、例えば、2024年の5～9歳と、2019年の0～4歳は同じ期間に出生しているため、同じコーホートということになる。

この同じコーホートで男女年代別に増減率を算出したものが「男女年代別コーホート変化率」となる。

算出例：5～9歳男のコーホート変化率 =

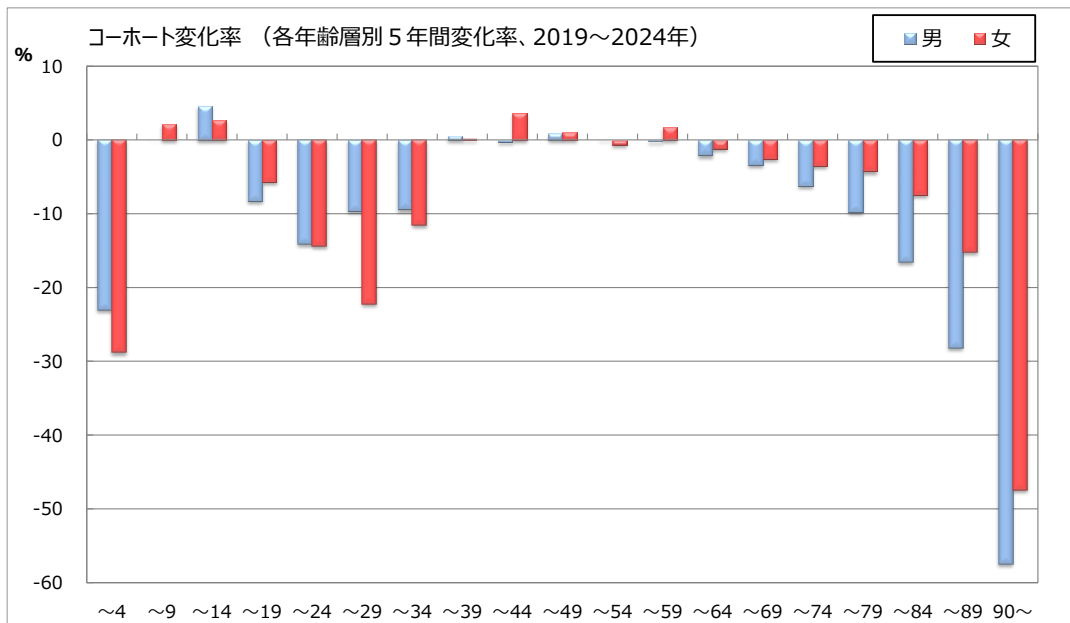
$$(2024 \text{ 年男 } 5 \sim 9 \text{ 歳人口} / 2019 \text{ 年男 } 0 \sim 4 \text{ 歳人口}) - 1$$

現在の各男女別の5歳刻み人口を、5年前の5歳若い年齢層の人口と比べることで、該当する年齢層について、差し引きでどれだけの流出入（社会増減）や、出生・死亡（自然増減）があったかが分かる。地域の人口動態を見る場合、コーホート変化率は非常に重要な数値であると考えている。

なお、0～4歳のコーホート変化率は、算出に必要な人口が5年前では存在していないため算出できない。そのため、以下の年代別コーホート変化率グラフの0～4歳の数値は、単純な増減率（2024年0～4歳人口 / 2019年0～4歳人口 - 1）を示している。

イ) 男女年代別コーホート変化率

① 大町市全体



前年度と同様の傾向が続いている。5~14 歳の子ども、40 代前半で流入超過が見られるが、子育て世代を中心に減少傾向となっている

注視されるのが、25~34 歳男女の子育て世代の大幅な流出超過である。流出は高校入学時世代（15~19 歳）を中心に始まっており、流出した人口はほとんど地元には戻らず、その後も 30 代前半世代まで流出傾向が続いている。

また、特に懸念されるのは 25~34 歳の子育て世代において、男性より女性の方がより多く流出していることである。結婚・出産年齢女性の流出超過が、更なる少子化を呼ぶといった悪循環が始まるのが懸念される。「結婚、出産、子育て」の各段階に応じた切れ目のない支援体制が望まれる。

現行の子連れ世帯の流入傾向を維持・増加させるとともに、20・30 代を中心とした若年層の流出率抑制と、30 代からの U & I ターン者の上乗せが同時に進むことが理想となる。

前年度と比較すると、35~44 歳男性と 40 代前半女性の状況は改善しているものの、30 代後半女性が悪化傾向となっている。総合的な評価としてはほぼ前年度と変わっていないという結果となった。

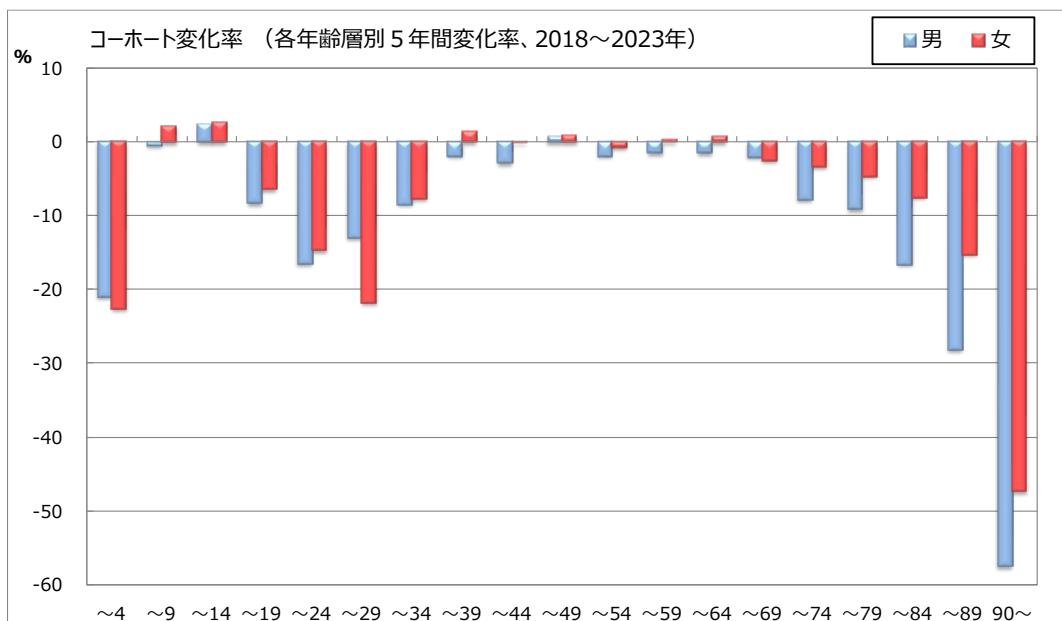
過去 5 年間の推移が 20 年続いた場合の人口変化の例（10~14 歳→30~34 歳）：

2024 年に 10~14 歳男性が 100 人いた場合、2044 年には **65** 人まで減少（-35 人）。

2024 年に 10~14 歳女性が 100 人いた場合、2044 年には **56** 人まで減少（-44 人）。

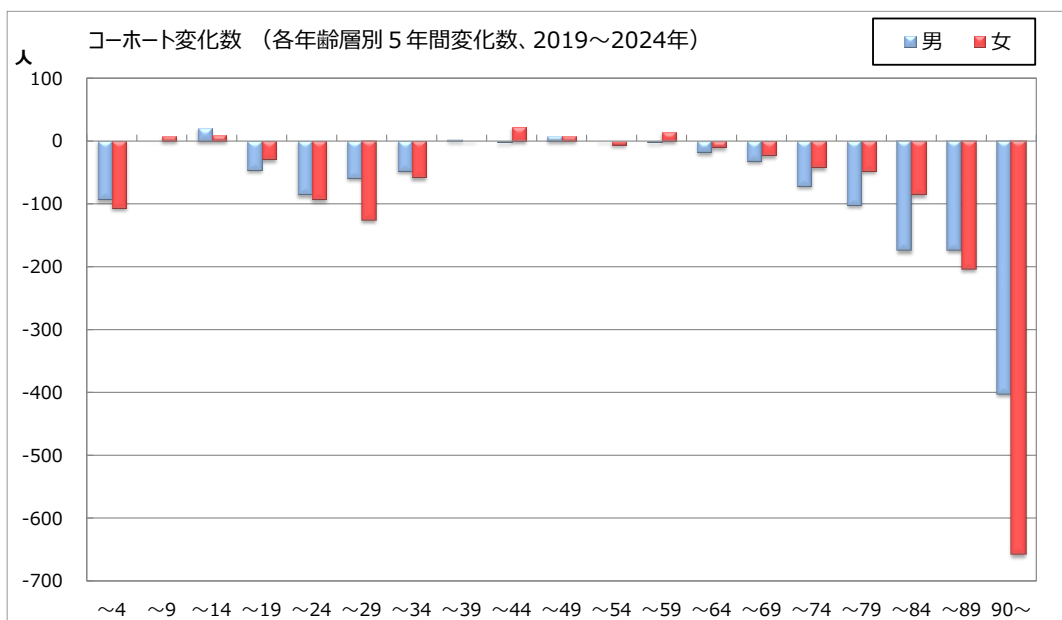
次頁から前年度（2018~2023 年間）の変化率及び本年度のコーホート変化数グラフを掲載する。

<参考>年代別コーホート変化率（2018～2023 年間）

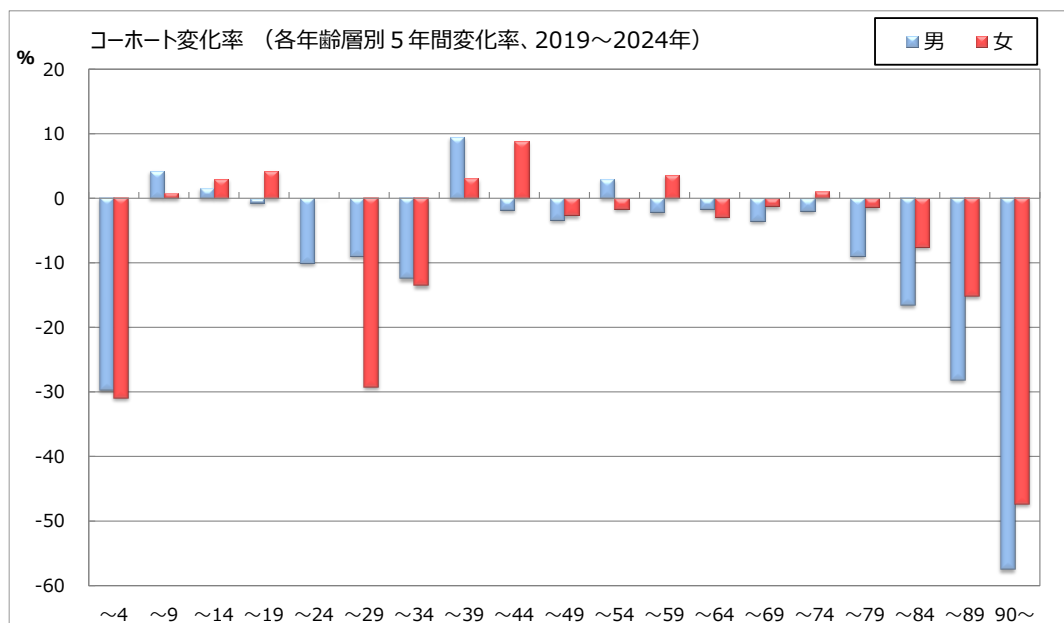


2018～2023 年間の推移が 20 年続いた場合の人口変化の例（10～14 歳→30～34 歳）：
 2023 年に 10～14 歳男性が 100 人いた場合、2043 年には **61** 人まで減少（-39 人）。
 2023 年に 10～14 歳女性が 100 人いた場合、2043 年には **58** 人まで減少（-42 人）。

<参考>年代別コーホート変化数（2019～2024 年間）



② 大町（居誘地）



大きくは前年度までと同様の傾向が続いている。5～14 歳の子ども、30 代後半、40 代前半女性などで流入超過が見られるが、20～34 歳の子育て世代では減少傾向となっている。

やはり注視されるのが、20～34 歳男女の子育て世代の大幅な流出超過である。流出は高校卒業後世代（20～24 歳）を中心に始まっており、その後も 30 代前半世代まで流出傾向が続いている。

また、特に懸念されるのは、市全体の傾向と同じく、男性より女性の方がより多く流出していることである。結婚・出産年齢女性の流出超過が、更なる少子化を呼ぶといった悪循環が始まること懸念される（4 歳以下の大幅な減少率を見ると既に始まっているともいえる）。「結婚、出産、子育て」の各段階に応じた切れ目のない支援体制が望まれる。

現行の子連れ世帯の流入超過傾向を維持しつつ、20・30 代を中心とした若年層の流出率抑制と、30 代からの U & I ターン者（特に子連れ世帯）の上乗せが同時に進むことが理想となる。

前年度と比較すると、5～19 歳や 35～44 歳男女の状況は改善しているものの、30 代前半男女が悪化傾向となっている。総合的には改善の影響の方が大きく、人口動態は改善傾向にあるといえる。

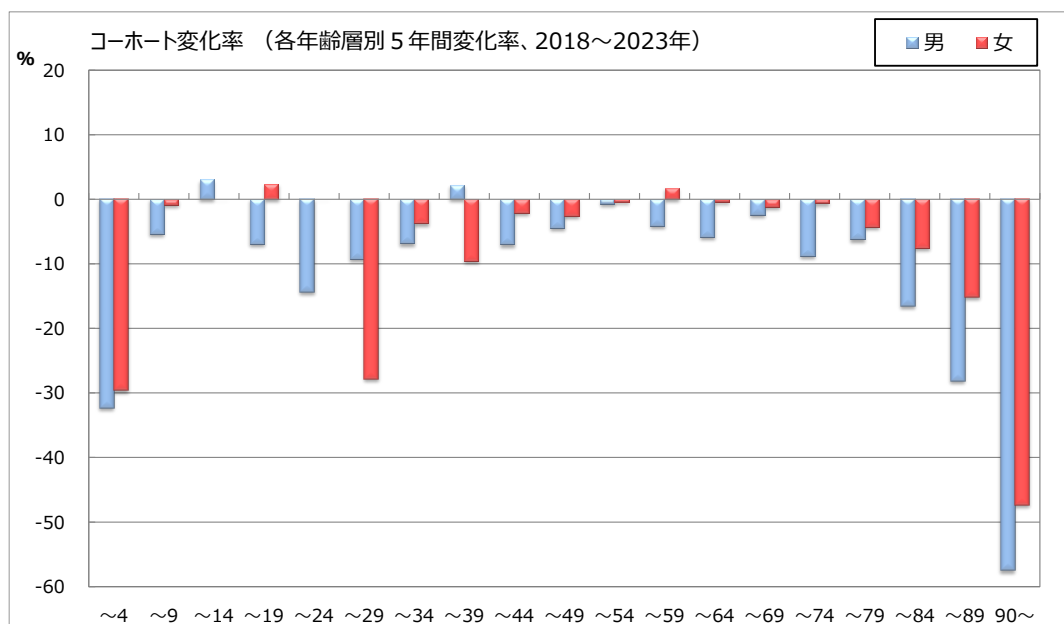
過去 5 年間の推移が 20 年続いた場合の人口変化の例（10～14 歳→30～34 歳）：

2024 年に 10～14 歳男性が 100 人いた場合、2044 年には **71** 人まで減少（-29 人）。

2024 年に 10～14 歳女性が 100 人いた場合、2044 年には **64** 人まで減少（-36 人）。

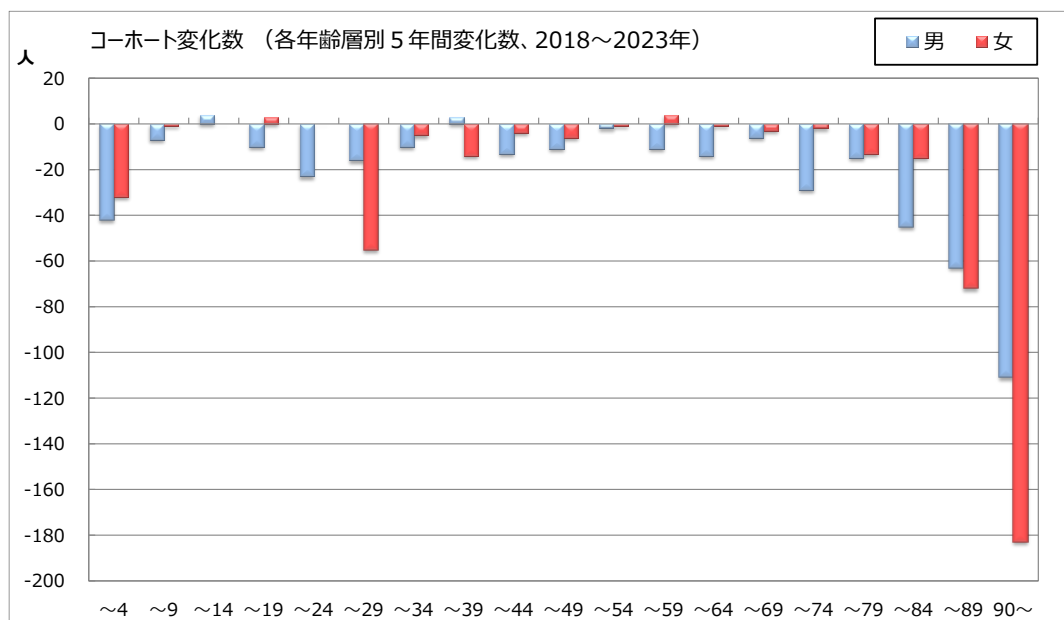
次頁から前年度（2018～2023 年間）の変化率及び本年度のコーホート変化数グラフを掲載する。

<参考>年代別コーホート変化率（2018～2023 年間）

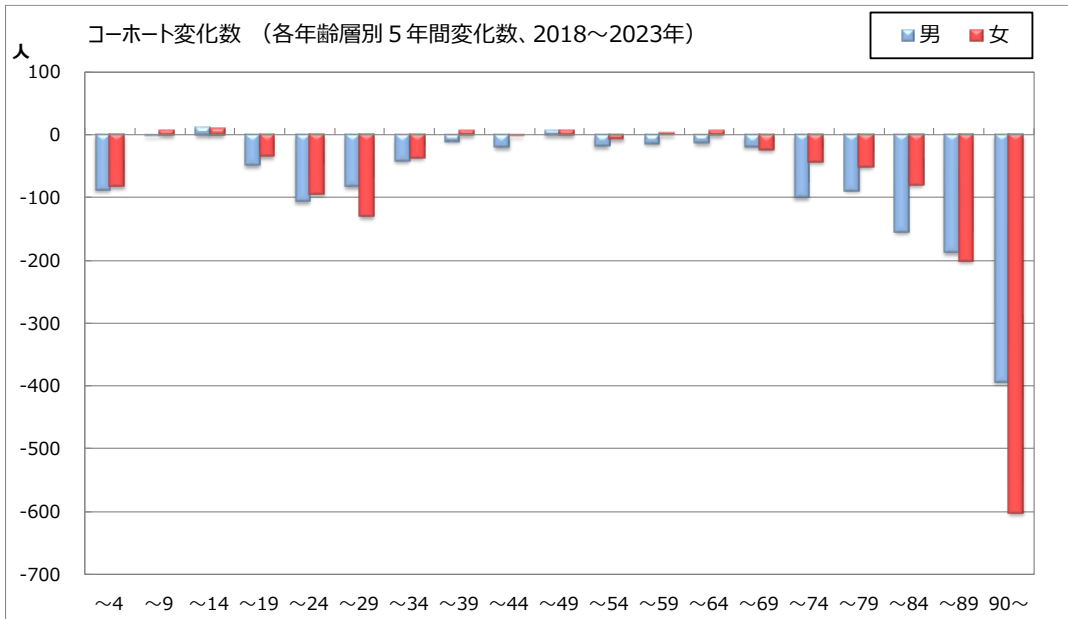


2018～2023 年間の推移が 20 年続いた場合の人口変化の例（10～14 歳→30～34 歳）：
 2023 年に 10～14 歳男性が 100 人いた場合、2043 年には **67** 人まで減少（-33 人）。
 2023 年に 10～14 歳女性が 100 人いた場合、2043 年には **71** 人まで減少（-29 人）。

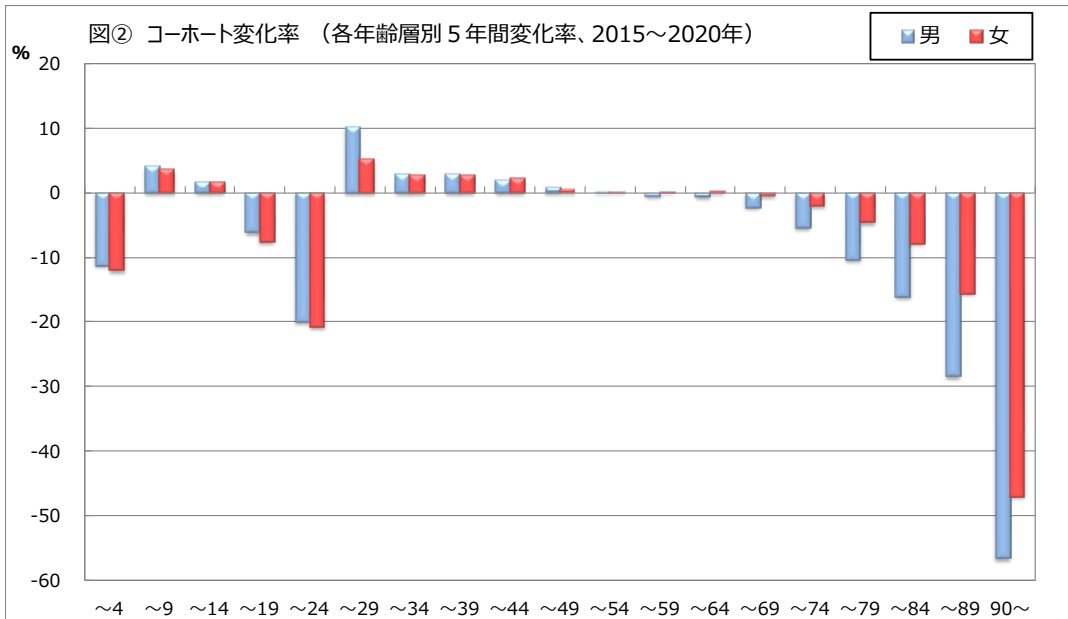
<参考>年代別コーホート変化数（2019～2024 年間）



<参考>大町市全体のコーホート変化数（2018～2023年間）



<参考>長野県全体全体のコーホート変化率（2015～2020年間）

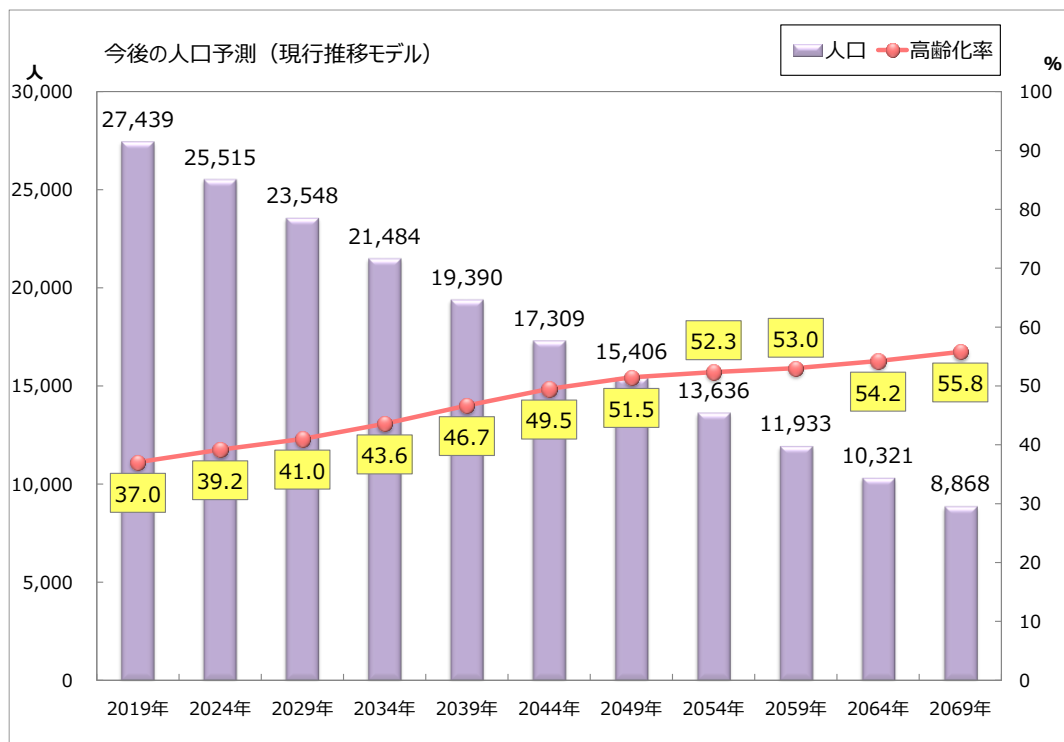


2. 現状推移シナリオ

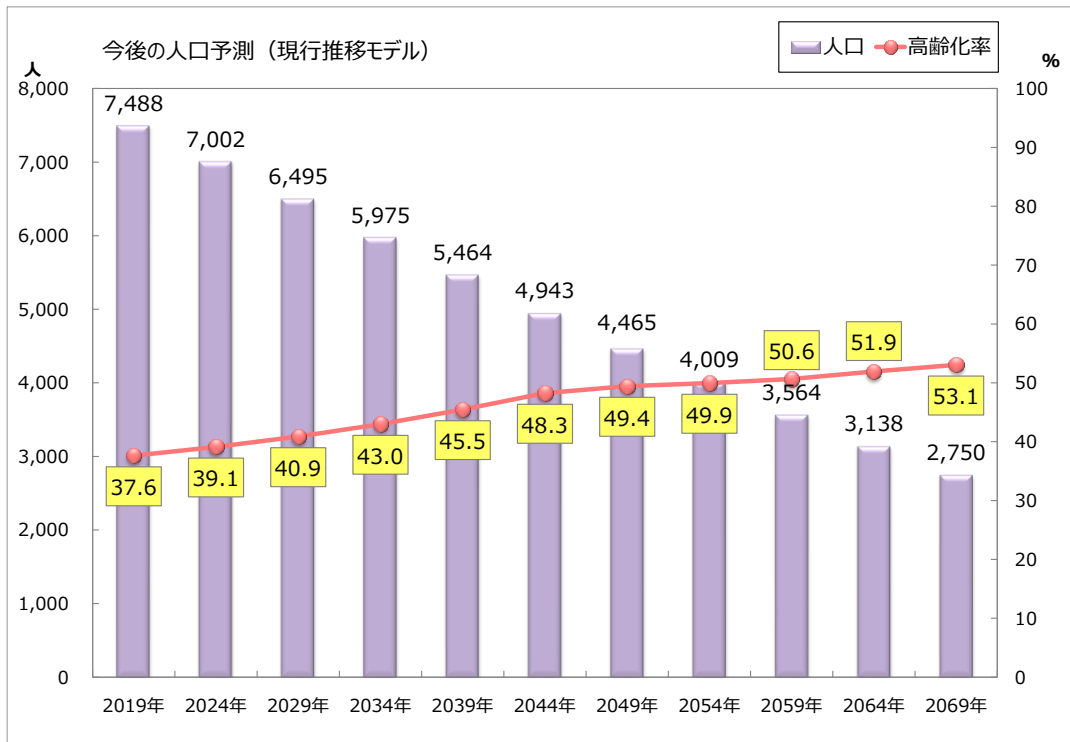
過去5年間（2019～2024年間）の人口動態が今後も続いた場合の人口推移を検討していく。

（1）人口と高齢化率予測

ア）大町市全体



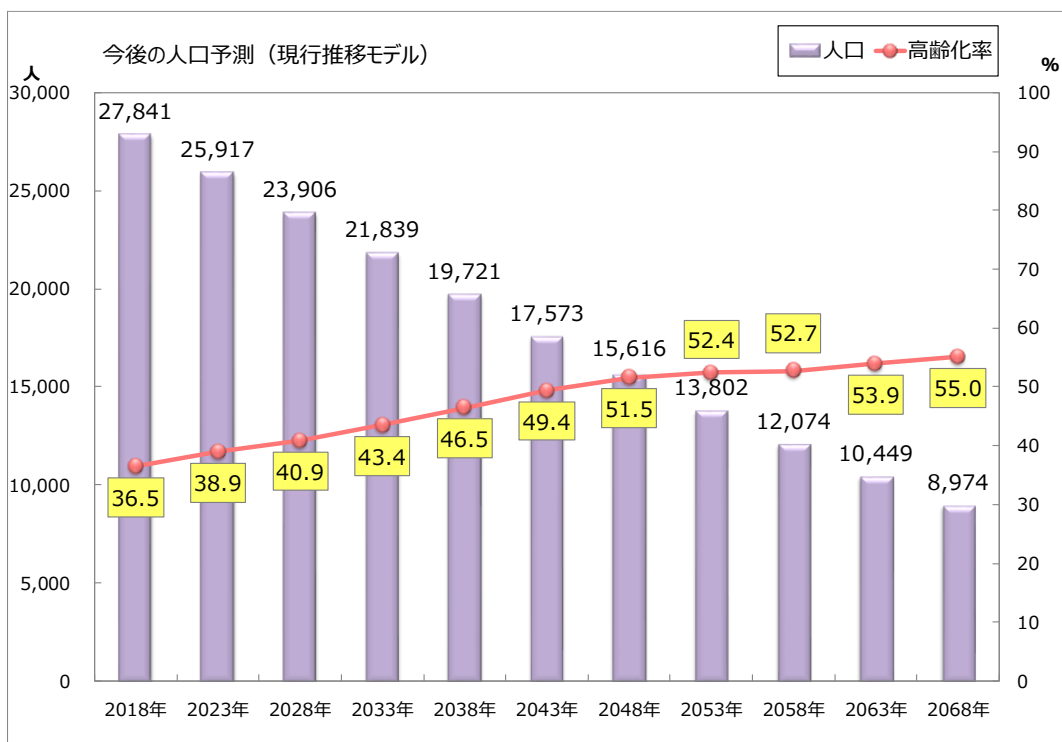
イ) 大町（居誘地）



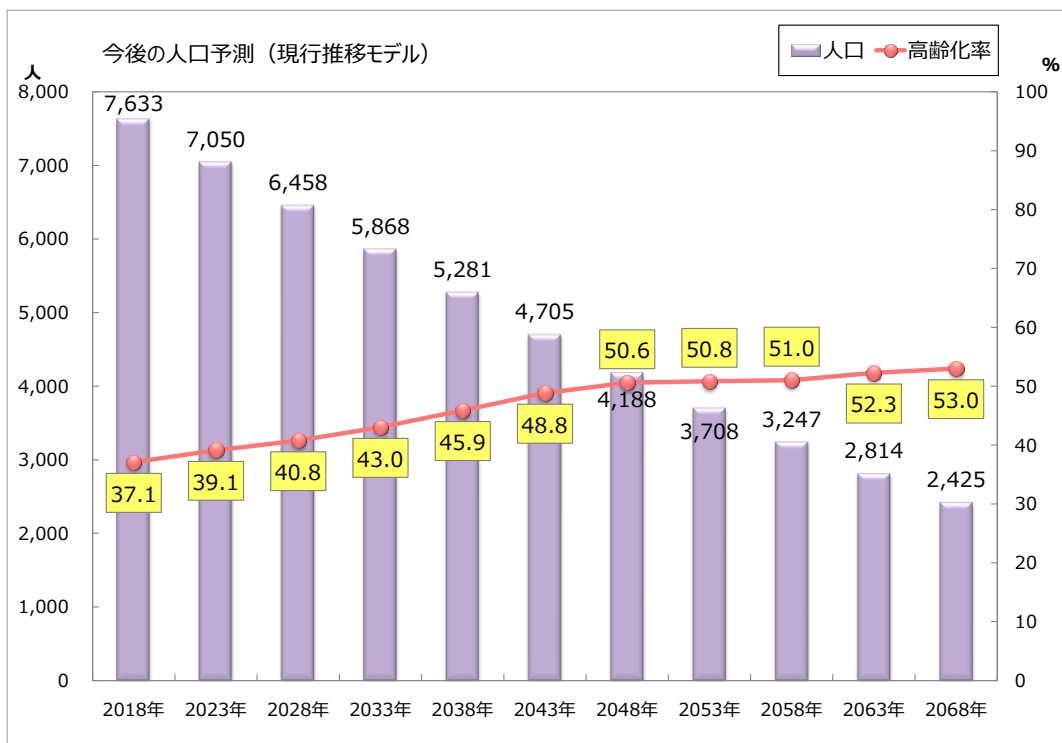
大町市全体・大町（居誘地）ともに、高齢者の自然減少と若年層（特に 20・30 代）の流出により、人口総数は右肩下がりとなる。高齢者の減少以上に若年層の流出が大きいため、高齢化率は右肩上がりとなり、人口の下げ止まりが見えない状態となる。45 年後の 2069 年には大町市全体では現在人口の約 6.5 割の減少、大町（居誘地）では約 6.1 割の減少となる。

次ページに前年度まで（018～2023 年間）の推計結果グラフを掲載する。

<参考：大町市全体の2018～2023年間で実施した人口と高齢化率予測>

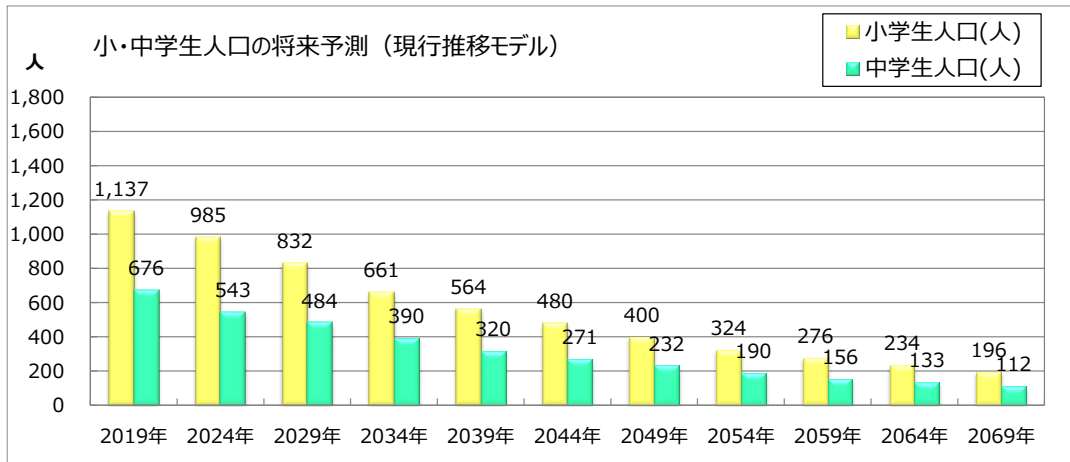


<参考：大町（居誘地）の2018～2023年間で実施した人口と高齢化率予測>

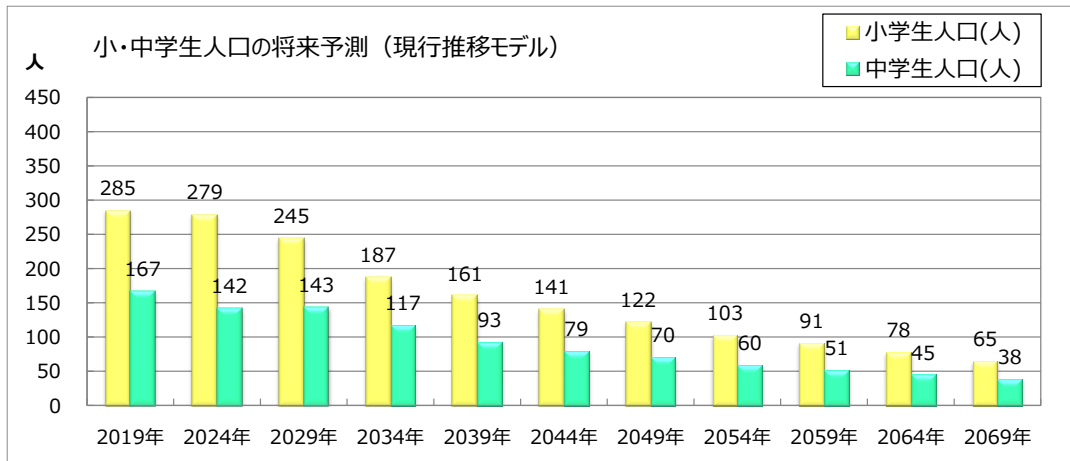


(2) 小・中学生数予測

ア) 大町市全体



イ) 大町（居誘地）

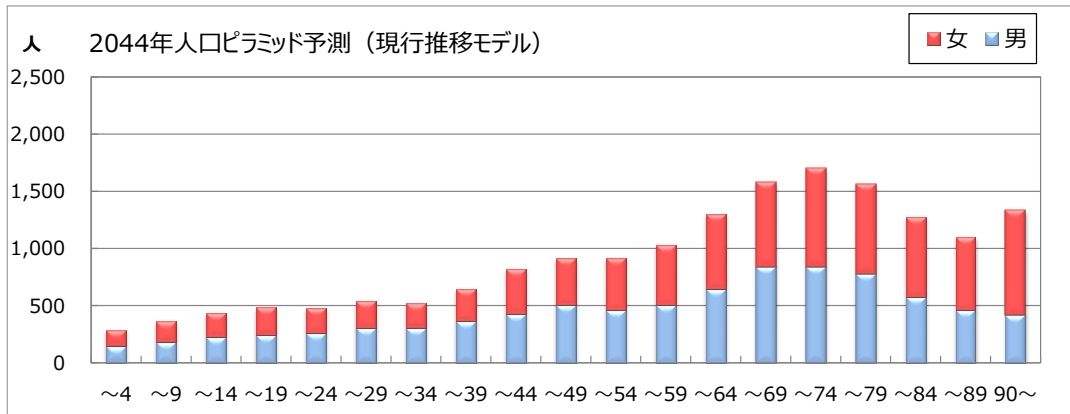


大町市全体・大町（居誘地）ともに、小・中学生も人口総数と同じく右肩下がりとなるが、その減少率は人口総数以上で、2069年には大町市全体では現在小・中学生数の約8.0割の減少、大町（居誘地）では7.6割の減少となる（前年度は市全体で約7.8割減、大町でも約7.8割減）。大町（居誘地）では前年度より僅かに減少度合いが大きくなっている。

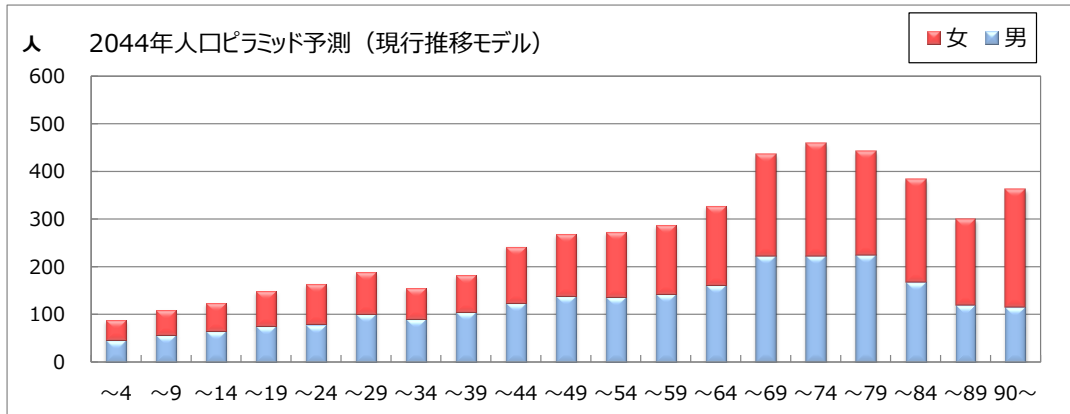
一般的な傾向として、小・中学生数が減少し始めると、学校数の維持が困難となり、定住条件の悪化につながる懸念される。

(3) 20年後の年代別人口構成グラフ

ア) 大町市全体



イ) 大町（居誘地）



大町市全体・大町（居誘地）ともに、2024年の人口構成グラフよりも各年代の人口が縮小しており、特に60歳未満の人口の厚みが失われ、更なる人口の縮小につながろうとしている。

3. U & I ターン増加シナリオ

人口動態と出生率を現状のままとし、定住増加だけで人口安定化を達成させた場合の人口推移を検討していく。

○大町市全体

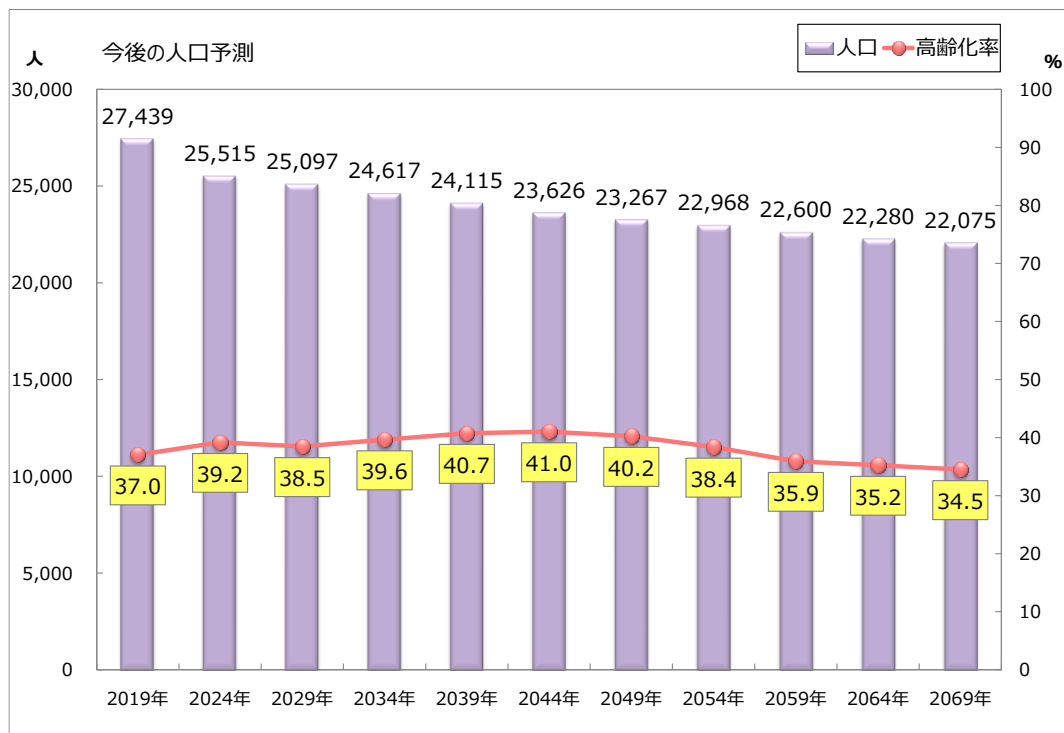
*安定化達成に必要な毎年定住増加組数：毎年各世代 40.8 組（122 世帯 286 人）＝
 現在人口の約 1.12%（89 人に対して約 1 人の定住増加）
 2018～2023 年の安定化定住増加人数割合：2023 年人口の 1.13%

○大町（居誘地）

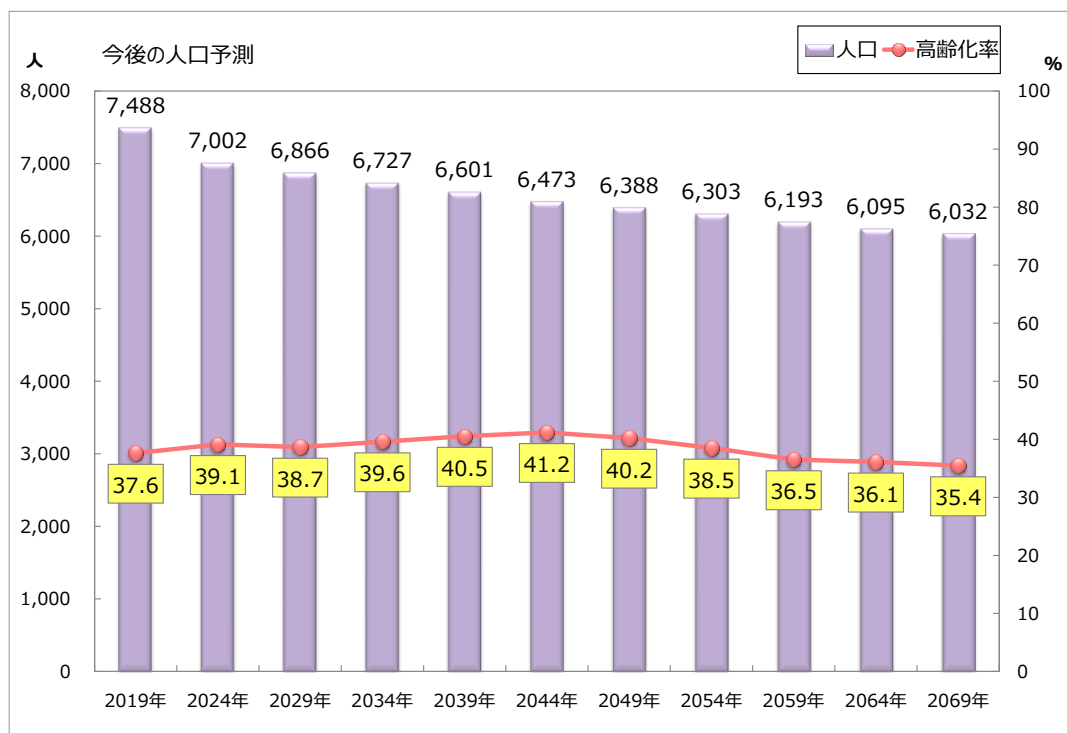
*安定化達成に必要な毎年定住増加組数：毎年各世代 9.8 組（29 世帯 69 人）＝
 現在人口の約 0.98%（102 人に対して約 1 人の定住増加）
 2018～2023 年の安定化定住増加人数割合：2023 年人口の 1.2%

（1）人口と高齢化率予測

ア) 大町市全体



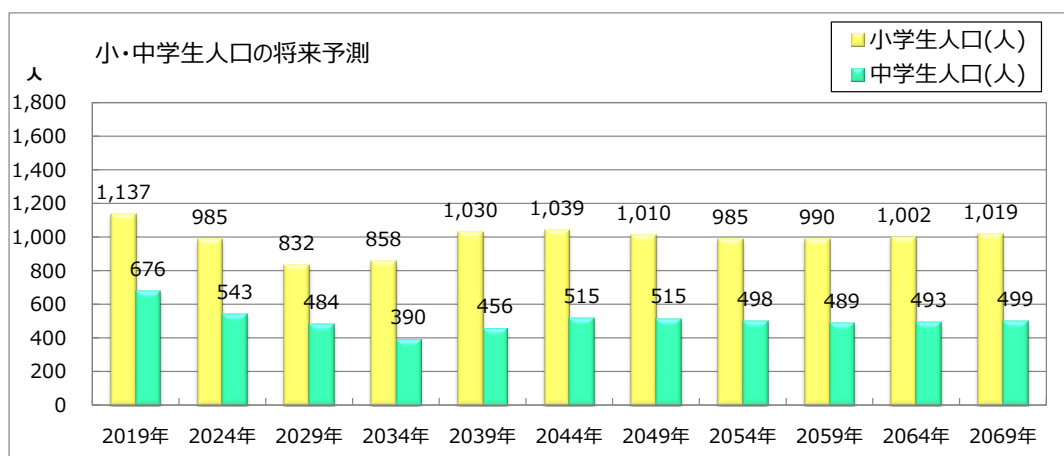
イ) 大町（居誘地）



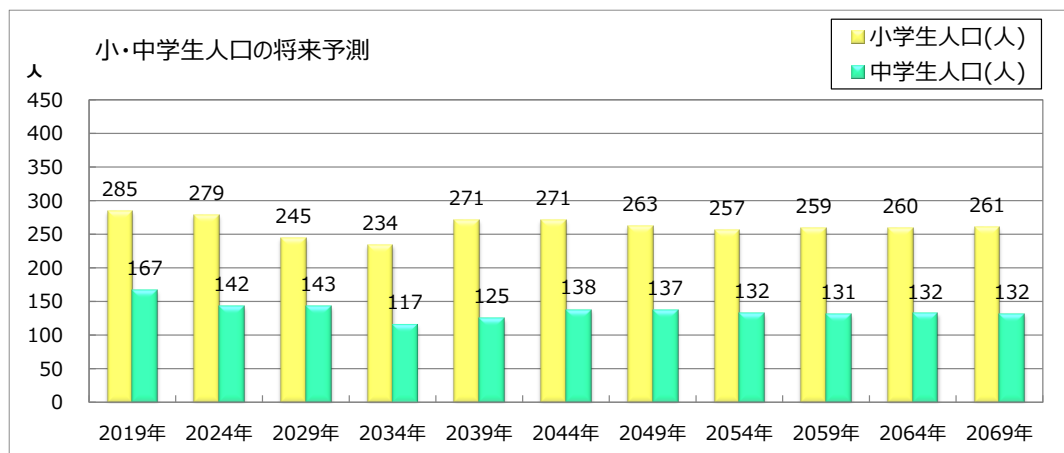
人口総数、高齢化率ともに、長期にわたる安定化が達成される。

(2) 小・中学生数予測

ア) 大町市全体



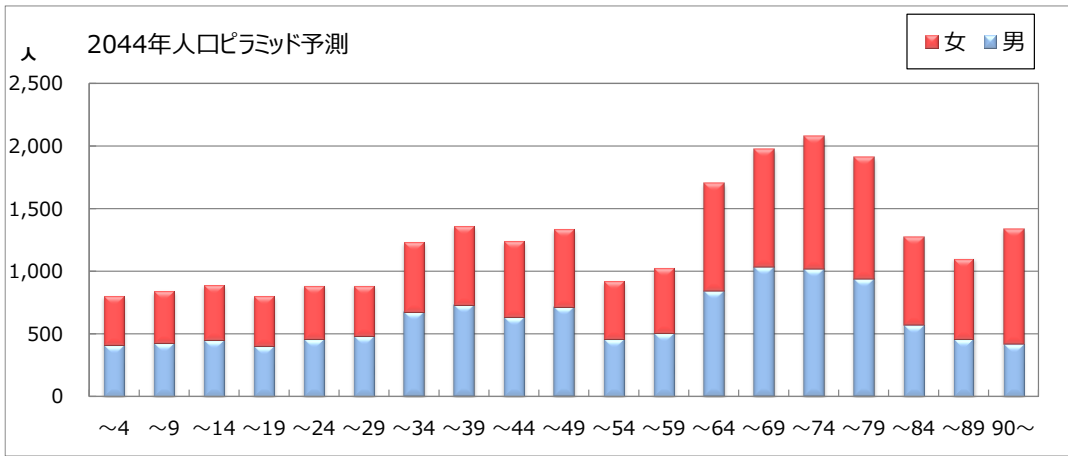
イ) 大町（居誘地）



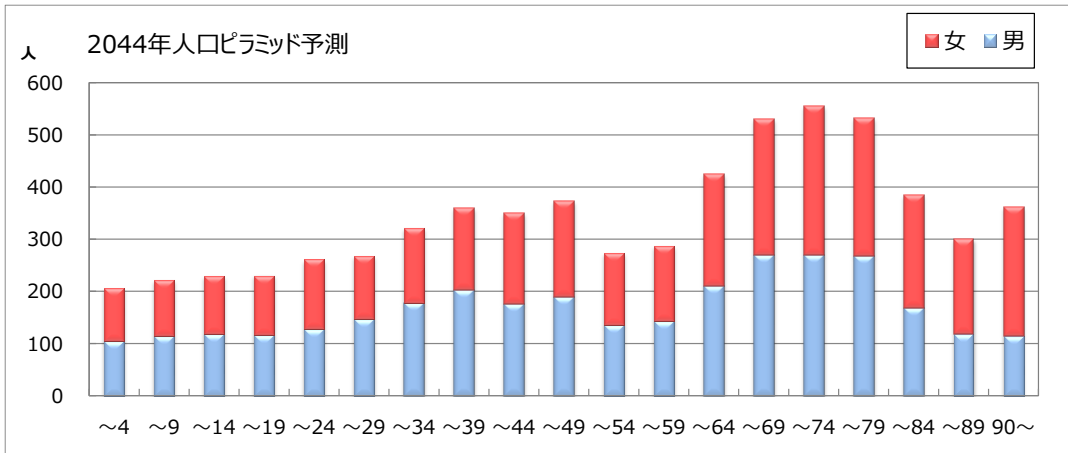
小・中学生数においては、2034年頃までは減少傾向にあるものの、その後は増加傾向にあり、大町市全体では約1,500人、大町（居誘地）では約300人で安定化が達成される。

(3) 20年後の年代別人口構成グラフ

ア) 大町市全体



イ) 大町（居誘地）



60歳未満の人口の厚みが回復し、安定した人口の再生産が展望できる。

4. 組み合わせ最適シナリオ

組み合わせ最適シナリオとしては【出生率・流出率・定住増加】という3つパラメータを組み合わせる目標が最適であると考えます。まずは、【出生率・10代後半の流出率】を改善させ、その上で、過去の若年層の人口流出を補うように3世代バランスのとれた定住増加させるというのが望ましい。

○組み合わせを【出生率・10代後半の流出率・定住増加】とした理由

地域の人口変化は、自然動態の「出生」「死亡」、社会動態の「流入」「流出」の4つによって決まる。従って、人口減少に歯止めをかける場合、自然動態の「出生」を増やすか、社会動態の「流出」を減らすか、「流入」を増やすか、といういずれか（又は複数）の対策が必要となる。この考え方の下、組み合わせ最適シナリオとして以下の3条件を設定した。

- ・出生率 = 自然動態の「出生」増加
- ・10代後半の流出率 = 社会動態の「流出」減少
 - ※「流出」の減少を10代後半に代表しているのは、多くの中山間地域では10代後半の流出率が最も大きく、この世代を取り戻すことが地域人口に最も貢献しうると考えているためである。
- ・定住増加 = 社会動態の「流入」増加

【出生率・10代後半の流出率・定住増加】の3つを組み合わせる最適シナリオの目標値と、シミュレーション結果を以下に示す。

なお、出生率は大町市の目標出生率である2.00と設定した（H27.10大町市人口ビジョンより）。

出生率：2.00（段階的に上昇）

	合計特殊出生率
2024～2028年間	1.52
2029～2033年間	1.80
2034～2038年間	2.00
2039～2043年間	2.00
2044～2048年間	2.00
2049年以降～	2.00

10代後半流出率：流出を半減

必要な定住増加組数

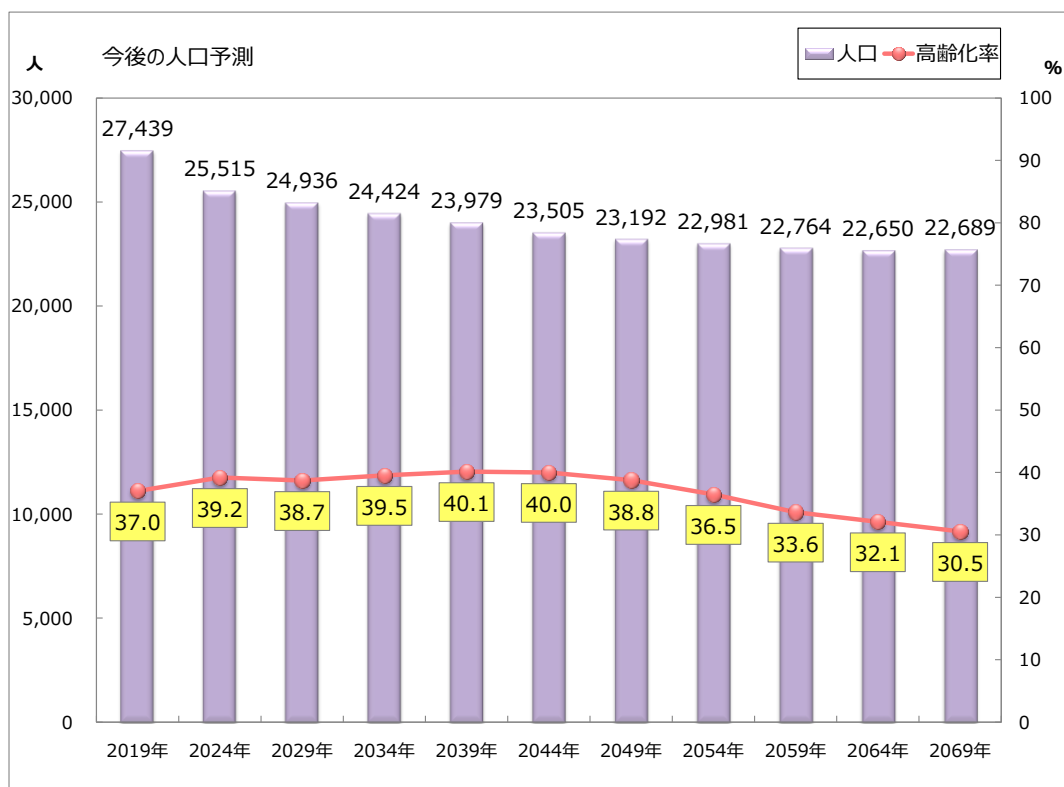
○大町市全体：毎年 30.3 組（91 世帯 212 人）現在人口の約 0.83%

○大町（居誘地）：毎年 7.0 組（21 世帯 49 人）現在人口の約 0.70%

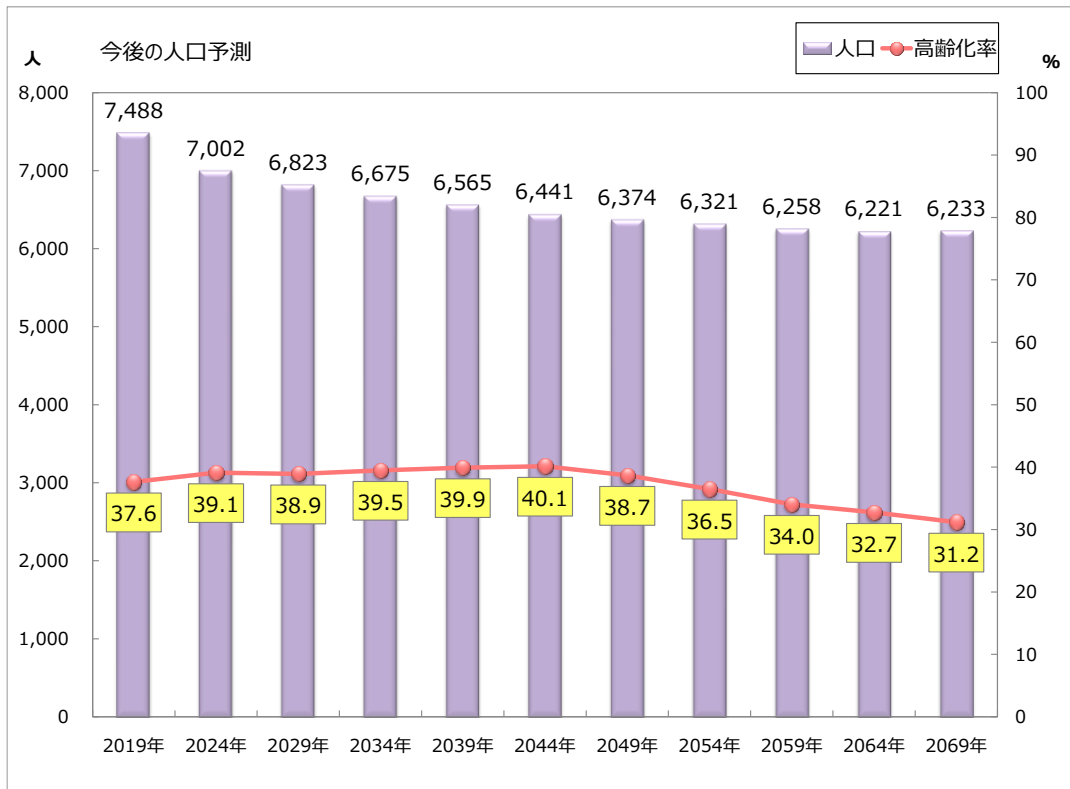
出生率・10代後半流出率の改善との「合わせ技」効果で、前述の「5. U & I ターン増加シナリオ」より少ない定住増加で十分となる。

（１）人口と高齢化率予測

ア）大町市全体



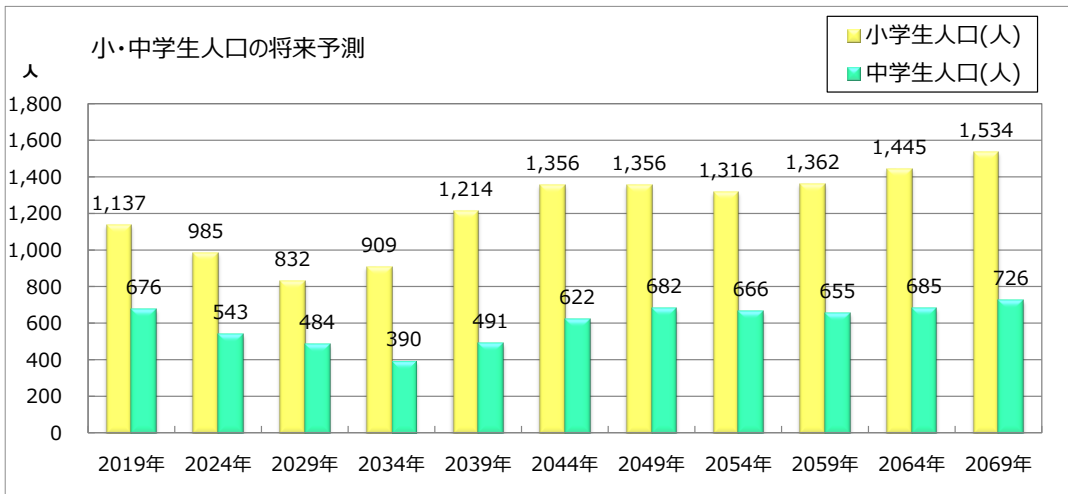
イ) 大町（居誘地）



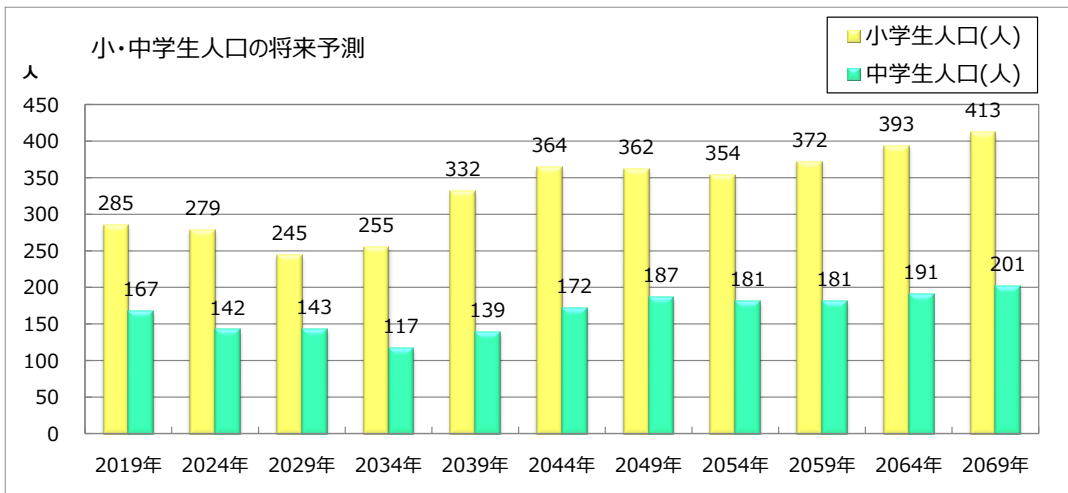
人口総数、高齢化率とも、長期にわたる安定化が達成される。

(2) 小・中学生数予測

ア) 大町市全体



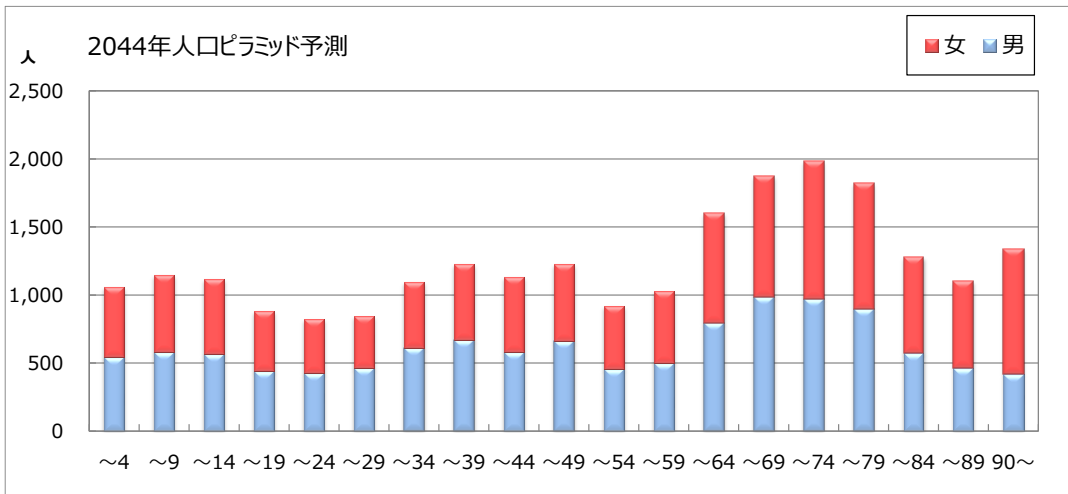
イ) 大町（居誘地）



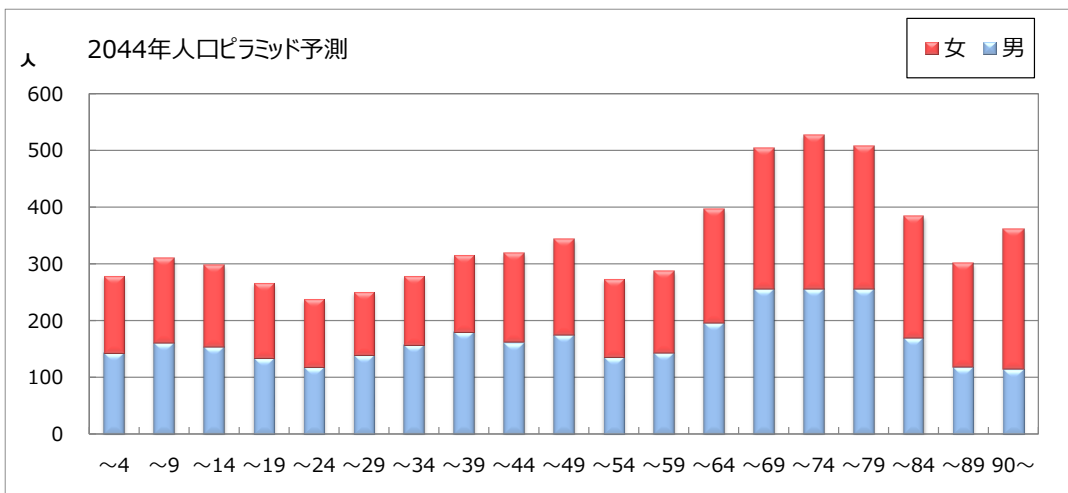
小・中学生数においては、2034年頃までは減少傾向にあるものの、その後は増加傾向にあり安定化が達成される。

(3) 20年後の年代別人口構成グラフ

ア) 大町市全体



イ) 大町 (居誘地)



60歳未満の人口の厚みが回復し、安定した人口の再生産が展望できる。

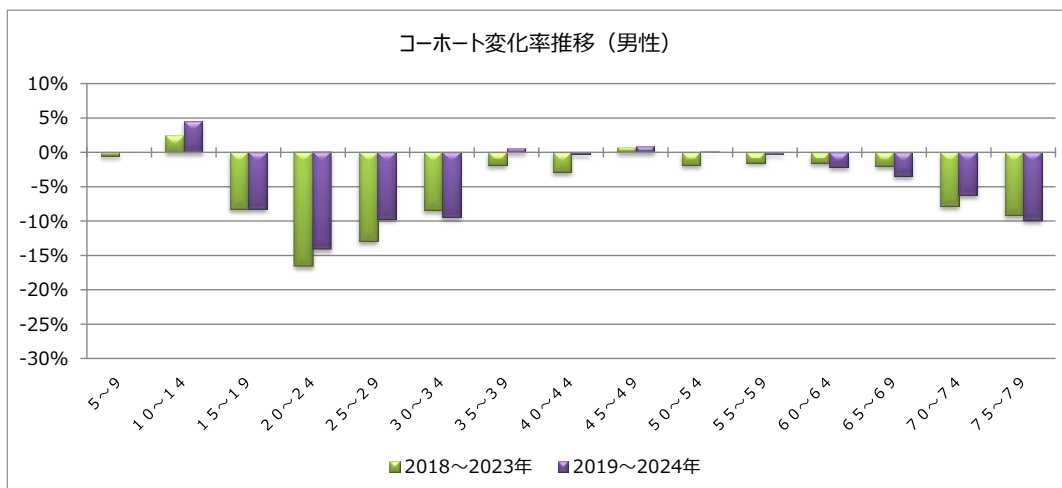
5. 年次推移（過去2年間）

大町市では過去2年間（2018～2023、2019～2024年間）にわたり人口推計・分析を実施している。過去2年間での項目別年次推移を見ていく。

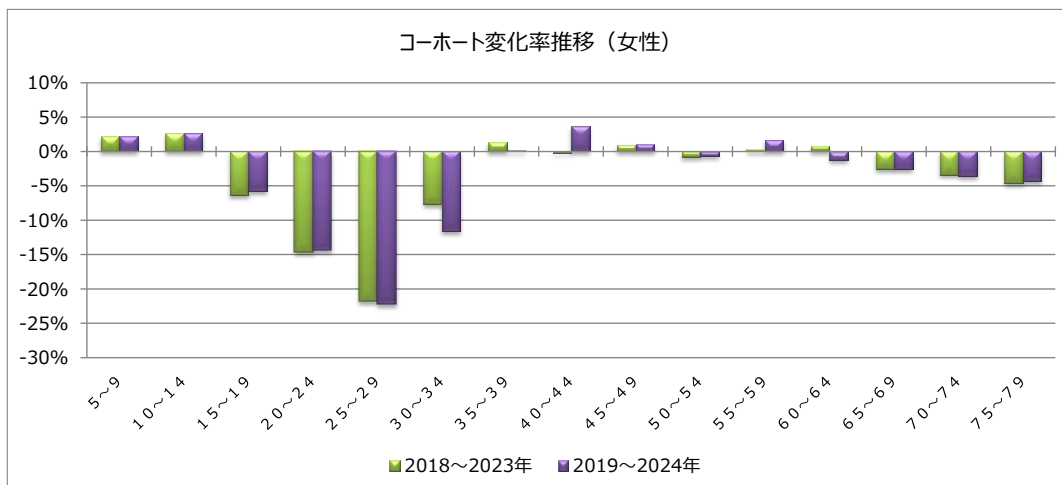
（1）コーホート変化率推移（5～79歳）

ア）大町市全体

① 男性



② 女性



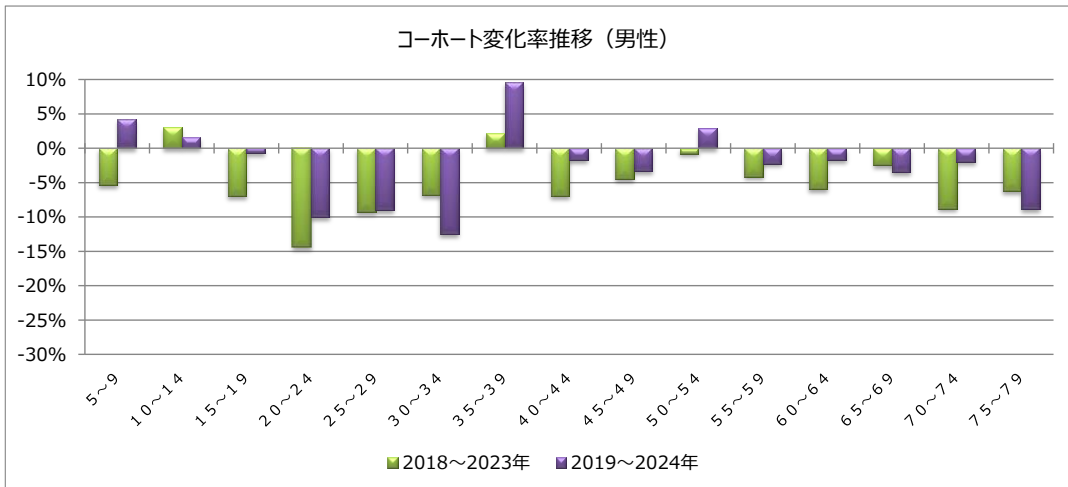
全体的な傾向は前年度までと同様で、多くの世代で流出超過が目立つ結果となっている。

大町市全体の良い点は、35～44歳男性と40代前半女性の状況が改善していることで、悪い点は、30代後半女性の流出率が悪化していることである。総合的な評価としてはほぼ前年度と変わっていない。

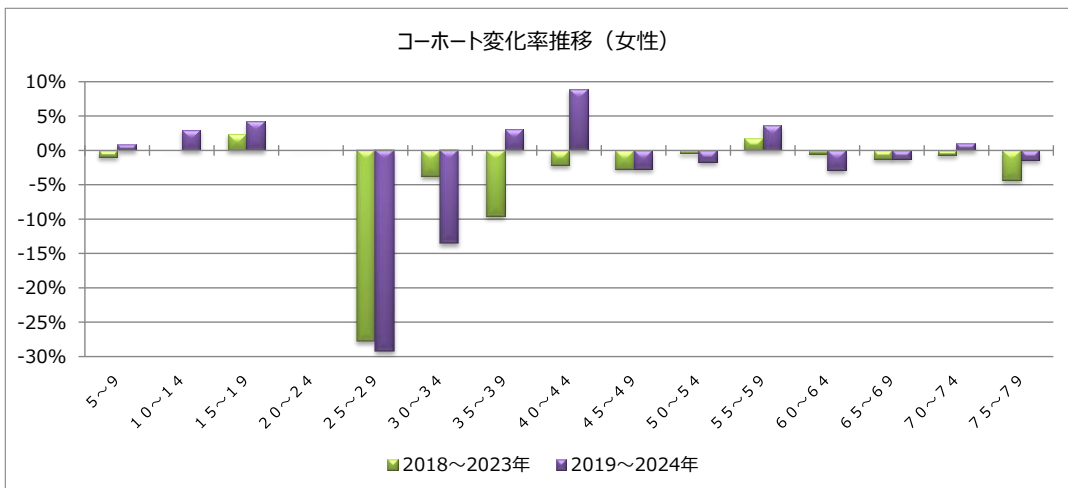
現行の子連れ世帯の流入傾向を維持・増加させるとともに、20・30代を中心とした若年層の流出率抑制と、30代からのU&Iターン者の上乗せが同時に進むことが理想となる。

イ) 大町 (居誘地)

① 男性



② 女性



前年度と比較すると転入出状況が改善している年齢階級が目立つ結果となっている。大町(居誘地)の良い点は、5~19歳や35~44歳男女の状況が改善していることで、悪い点は、30代前半男女の状況が悪化していることである。総合的には改善の影響の方が大きく、人口動態は改善傾向にあるといえる。

現行の子連れ世帯の流入超過傾向を維持しつつ、20・30代を中心とした若年層の流出率抑制と、30代からのU&Iターン者(特に子連れ世帯)の上乗せが同時に進むことが理想となる。

このように数年間を通して見ることで、単年度の瞬間的増加・減少(新興住宅・立ち退き等)要因を除外し、中・長期的な増加・減少要因の把握がしやすくなるため、継続した経過を見るのが重要である。

(2) 年次推移一覧表

ア) 大町市全体

		2018～2023年間 (2023年)	2019～2024年間 (2024年)
人口増減率		-6.9%	-7.0%
高齢化率		38.9%	39.2%
4歳以下	増減率	-21.8%	-25.8%
	比率増減	-0.44%	-0.57%
小学生	増減率	-15.3%	-13.4%
	比率増減	-0.39%	-0.28%
30代女性	増減率	-18.9%	-16.2%
	比率増減	-0.55%	-0.41%
30代コアホート 増減率	男性	-5.0%	-4.4%
	女性	-3.0%	-5.7%
10代後半流出率	男性	16.5%	14.0%
	女性	14.7%	14.4%
出生率		1.23	1.19
社会増減率		-2.54%	-2.15%
安定化に必要な 定住増加人数 (1,000人当り)	3条件 同時達成	11.3	11.2
	子ども人口 維持達成	7.9	8.2

イ) 大町（居誘地）

		2018～2023年間 (2023年)	2019～2024年間 (2024年)
人口増減率		-7.6%	-6.5%
高齢化率		39.1%	39.1%
4歳以下	増減率	-31.1%	-30.3%
	比率増減	-0.79%	-0.79%
小学生	増減率	-6.8%	-2.1%
	比率増減	0.03%	0.18%
30代女性	増減率	-22.6%	-9.0%
	比率増減	-0.71%	-0.10%
30代コアホート 増減率	男性	-2.5%	-1.8%
	女性	-6.8%	-5.8%
10代後半流出率	男性	14.4%	10.0%
	女性	0.0%	0.0%
出生率		1.14	1.12
社会増減率		-3.12%	-1.50%
安定化に必要な 定住増加人数 (1,000人当り)	3条件 同時達成	12.0	9.8
	子ども人口 維持達成	8.9	8.0

大町（居誘地）を見ると、前年度比較で多くの項目で改善傾向にあることが分かる。総合的な評価指標ともいえる社会増減率については、前年度-3.12%から本年度-1.5%まで改善している。改善している最大要因としては、子連れ（子育て）世帯の状況改善による影響が大きいと考える。

6. 大町（居誘地）の自治会別現状分析（2019～2024年）

大町（居誘地）全体の現状分析・人口推計だけでなく、更に小さな地域で見ることにより具体的な実情が見えてくることもある。地域毎の実情・課題・可能性に応じた現状分析をすることで、より具体的な地域活性化策を提示することができるだろう。

現状分析の最後として大町（居誘地）を31の自治会に分割し、自治会毎に現状分析を行った。

地域毎のデータは一覧表及び、地図で表示する。なお、「昭電第二アパート」「昭電第8アパート」「昭電白馬荘」「昭電第七アパート」の4地域については、地図上では「昭電住宅」として合算して表示している。つまり、一覧表は31地域だが、地図上では28地域となる。

○自治会の一覧

地域名	地図上での表示名	地域名	地図上での表示名
俵町	俵町	南原町	南原町
不二塚町	不二塚町	堀六日町	堀六日町
大黒町	大黒町	東町	東町
相生町	相生町	白塩町	白塩町
九日町	九日町	東中原町	東中原町
六九町	六九町	十日町	十日町
幸町	幸町	大新田町	大新田町
名店街	名店街	東若宮町	東若宮町
上仲町	上仲町	西若宮町	西若宮町
下仲町	下仲町	若宮町	若宮町
八日町	八日町	昭電第二アパート	昭電住宅
五日町	五日町	昭電第8アパート	
日の出町	日の出町	昭電白馬荘	
仁科町	仁科町	昭電第七アパート	
高見町	高見町	和町	和町
桜田町	桜田町		

○自治会名称マップ

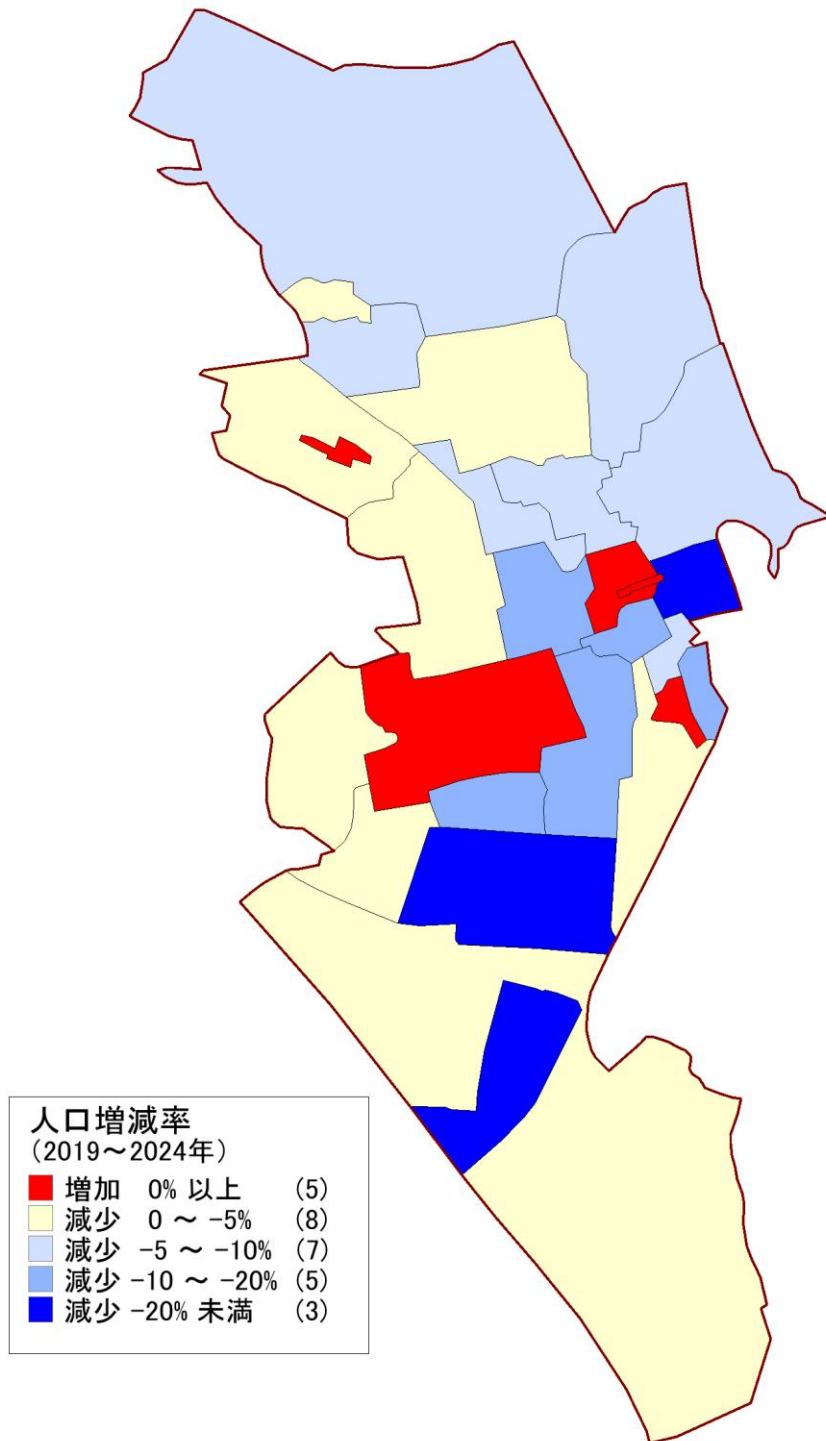


(1) 人口増減数・増減率

ア) 一覧表

地域名	2019年 人口総数	2024年 人口総数	増減数	増減率
俵町	1,464	1,362	-102	-7.0%
不二塚町	119	109	-10	-8.4%
大黒町	583	573	-10	-1.7%
相生町	321	291	-30	-9.3%
九日町	216	202	-14	-6.5%
六九町	203	191	-12	-5.9%
幸町	359	347	-12	-3.3%
名店街	15	16	1	6.7%
上仲町	68	68	0	0.0%
下仲町	85	76	-9	-10.6%
八日町	106	98	-8	-7.5%
五日町	184	149	-35	-19.0%
日の出町	26	28	2	7.7%
仁科町	223	218	-5	-2.2%
高見町	186	165	-21	-11.3%
桜田町	380	376	-4	-1.1%
南原町	355	365	10	2.8%
堀六日町	210	186	-24	-11.4%
東町	117	92	-25	-21.4%
白塩町	316	290	-26	-8.2%
東中原町	121	118	-3	-2.5%
十日町	403	392	-11	-2.7%
大新田町	1,073	1,020	-53	-4.9%
東若宮町	157	129	-28	-17.8%
西若宮町	98	97	-1	-1.0%
若宮町	3	1	-2	-66.7%
昭電第二アパート	12	0	-12	-100.0%
昭電第8アパート	15	0	-15	-100.0%
昭電白馬荘	25	20	-5	-20.0%
昭電第七アパート	22	0	-22	-100.0%
和町	23	23	0	0.0%
合計	7,488	7,002	-486	-6.5%

イ) 地図

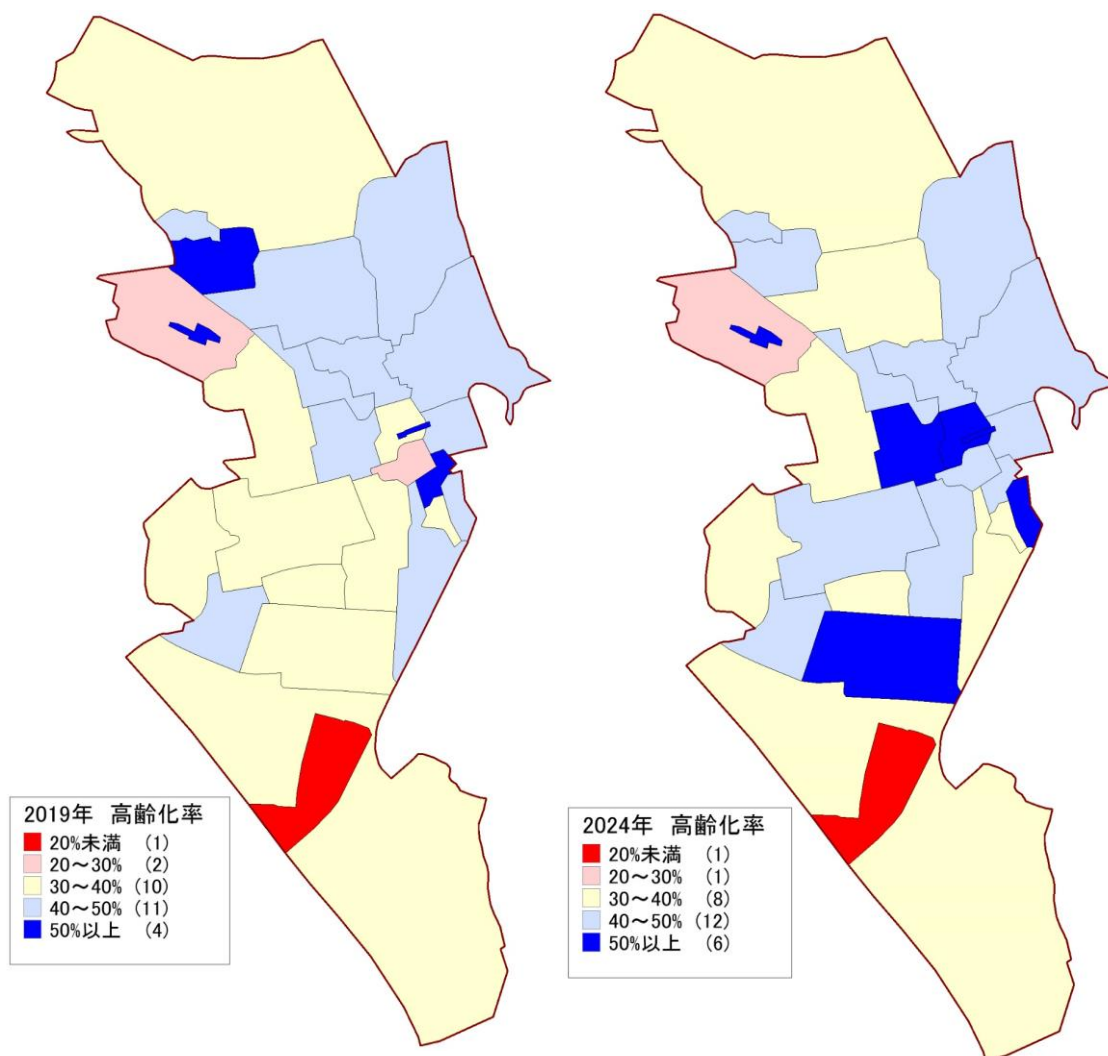


(2) 高齢化率

ア) 一覧表

地域名	2019年 高齢化率	2024年 高齢化率	比率 増減	増減率	2019年 高齢者数	2024年 高齢者数	増減数
俵町	36.3%	37.2%	0.8%	-4.9%	532	506	-26
不二塚町	50.4%	49.5%	-0.9%	-10.0%	60	54	-6
大黒町	40.3%	39.1%	-1.2%	-4.7%	235	224	-11
相生町	40.5%	43.0%	2.5%	-3.8%	130	125	-5
九日町	42.6%	45.5%	3.0%	0.0%	92	92	0
六九町	47.3%	46.1%	-1.2%	-8.3%	96	88	-8
幸町	29.8%	28.5%	-1.3%	-7.5%	107	99	-8
名店街	60.0%	50.0%	-10.0%	-11.1%	9	8	-1
上仲町	38.2%	50.0%	11.8%	30.8%	26	34	8
下仲町	29.4%	40.8%	11.4%	24.0%	25	31	6
八日町	50.0%	49.0%	-1.0%	-9.4%	53	48	-5
五日町	44.0%	54.4%	10.3%	0.0%	81	81	0
日の出町	34.6%	35.7%	1.1%	11.1%	9	10	1
仁科町	41.7%	39.4%	-2.3%	-7.5%	93	86	-7
高見町	39.2%	47.3%	8.0%	6.8%	73	78	5
桜田町	30.8%	33.8%	3.0%	8.5%	117	127	10
南原町	39.2%	41.4%	2.2%	8.6%	139	151	12
堀六日町	42.9%	50.0%	7.1%	3.3%	90	93	3
東町	41.9%	42.4%	0.5%	-20.4%	49	39	-10
白塩町	44.6%	46.2%	1.6%	-5.0%	141	134	-7
東中原町	46.3%	42.4%	-3.9%	-10.7%	56	50	-6
十日町	30.5%	32.4%	1.9%	3.3%	123	127	4
大新田町	34.2%	34.3%	0.1%	-4.6%	367	350	-17
東若宮町	33.8%	37.2%	3.5%	-9.4%	53	48	-5
西若宮町	48.0%	44.3%	-3.6%	-8.5%	47	43	-4
若宮町	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%	1	1	0
昭電第二アパート	0.0%	-	-	-	0	0	0
昭電第8アパート	0.0%	-	-	-	0	0	0
昭電白馬荘	0.0%	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第七アパート	0.0%	-	-	-	0	0	0
和町	56.5%	52.2%	-4.3%	-7.7%	13	12	-1
合計	37.6%	39.1%	1.5%	-2.8%	2,817	2,739	-78

イ) 地図 (左図 : 2019年、右図 : 2024年)

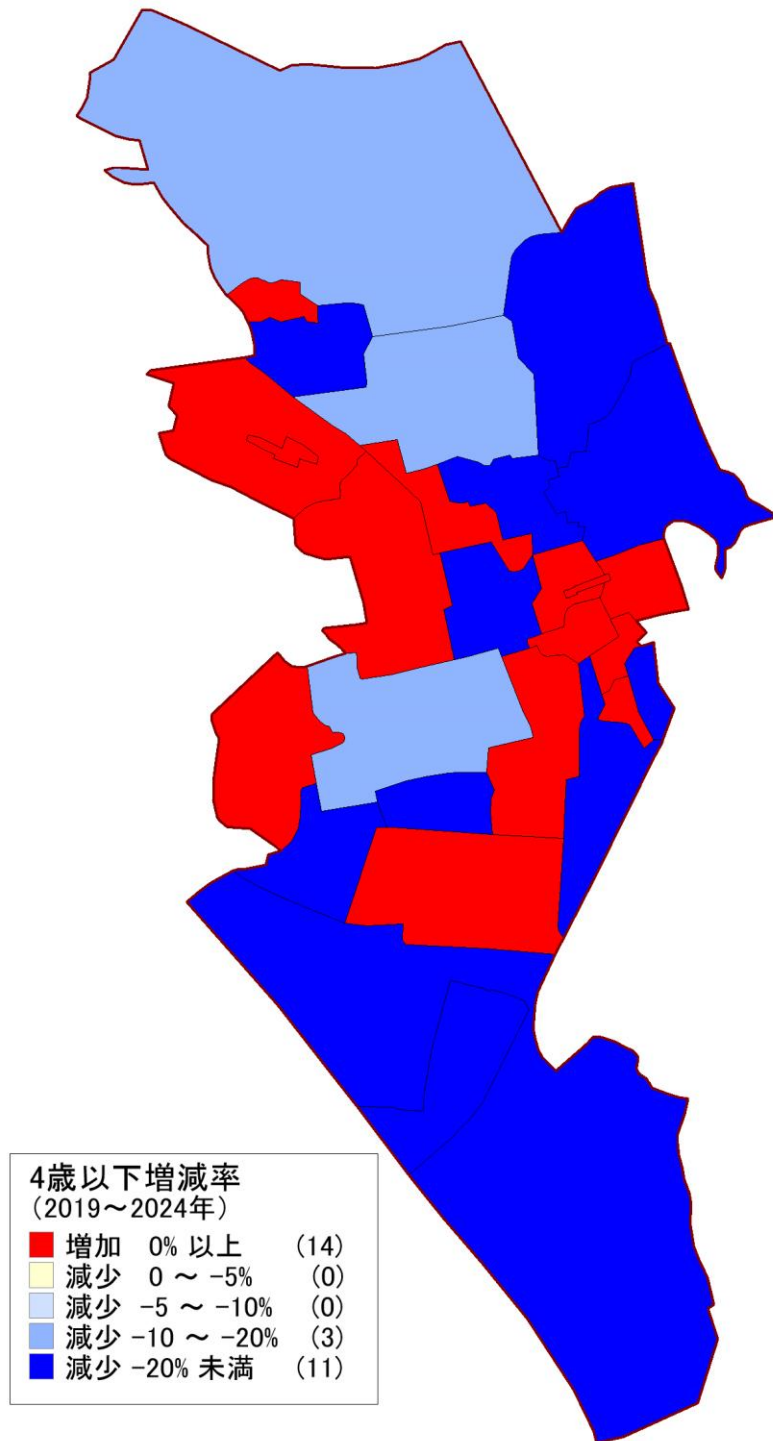


(3) 4歳以下幼児数・増減率

ア) 一覧表

地域名	2019年 4歳以下 幼児率	2024年 4歳以下 幼児率	増減率	2019年 4歳以下 幼児数	2024年 4歳以下 幼児数	増減数
俵町	3.0%	2.9%	-11.4%	44	39	-5
不二塚町	0.8%	0.0%	-100.0%	1	0	-1
大黒町	3.9%	3.5%	-13.0%	23	20	-3
相生町	4.7%	3.1%	-40.0%	15	9	-6
九日町	0.5%	0.0%	-100.0%	1	0	-1
六九町	1.5%	2.6%	66.7%	3	5	2
幸町	3.3%	3.5%	0.0%	12	12	0
名店街	0.0%	0.0%	-	0	0	0
上仲町	0.0%	1.5%	-	0	1	1
下仲町	1.2%	3.9%	200.0%	1	3	2
八日町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
五日町	2.2%	0.0%	-100.0%	4	0	-4
日の出町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
仁科町	3.6%	1.4%	-62.5%	8	3	-5
高見町	1.6%	2.4%	33.3%	3	4	1
桜田町	2.6%	3.5%	30.0%	10	13	3
南原町	3.1%	2.5%	-18.2%	11	9	-2
堀六日町	5.7%	1.1%	-83.3%	12	2	-10
東町	0.9%	1.1%	0.0%	1	1	0
白塩町	3.5%	1.7%	-54.5%	11	5	-6
東中原町	0.8%	2.5%	200.0%	1	3	2
十日町	3.0%	3.3%	8.3%	12	13	1
大新田町	3.4%	1.6%	-56.8%	37	16	-21
東若宮町	8.3%	2.3%	-76.9%	13	3	-10
西若宮町	1.0%	0.0%	-100.0%	1	0	-1
若宮町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第二アパート	8.3%	-	-100.0%	1	0	-1
昭電第8アパート	26.7%	-	-100.0%	4	0	-4
昭電白馬荘	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第七アパート	9.1%	-	-100.0%	2	0	-2
和町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
合計	3.1%	2.3%	-30.3%	231	161	-70

イ) 地図

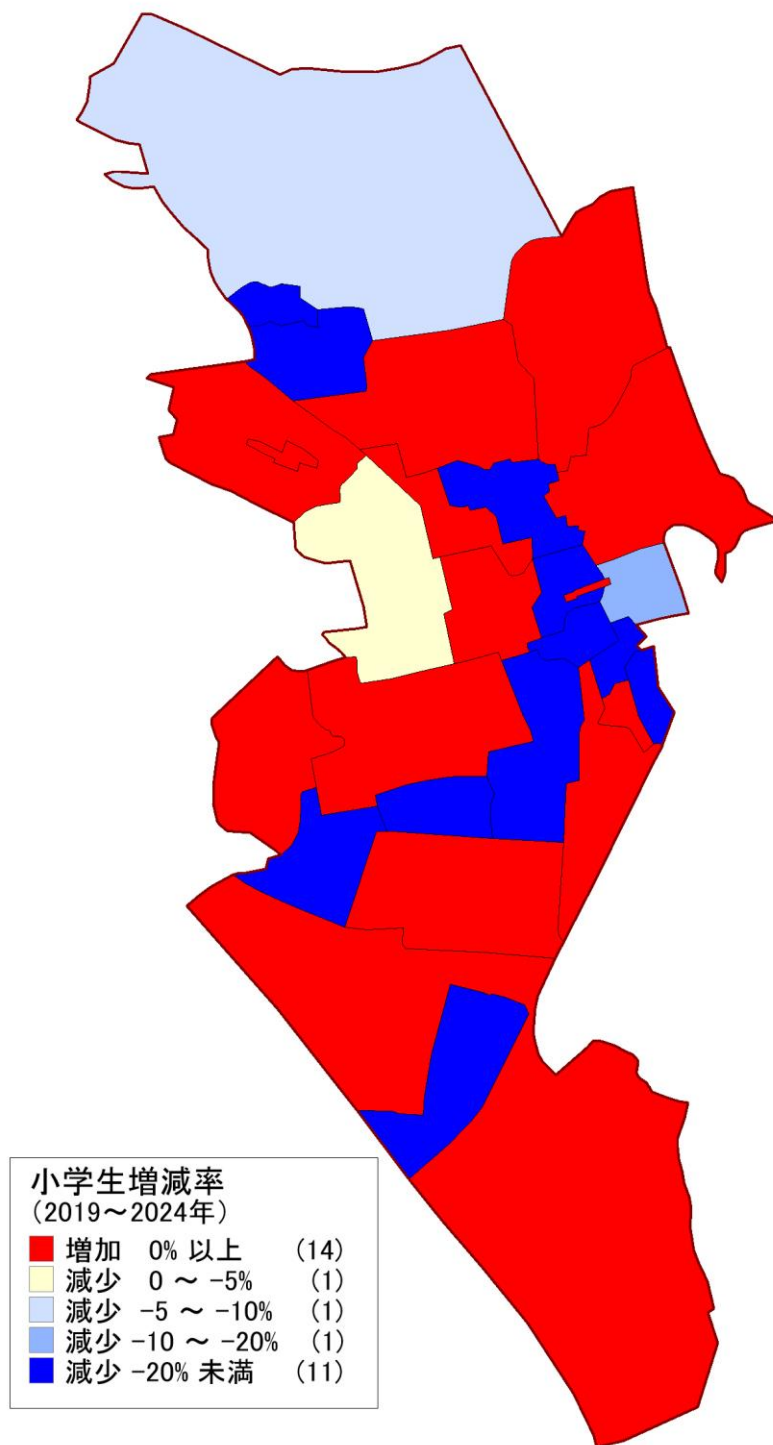


(4) 小学生数・増減率

ア) 一覧表

地域名	2019年 小学生率	2024年 小学生率	増減率	2019年 小学生数	2024年 小学生数	増減数
俵町	4.1%	4.2%	-5.9%	61	57	-4
不二塚町	3.0%	1.7%	-50.0%	4	2	-2
大黒町	3.7%	3.9%	2.8%	22	22	1
相生町	2.4%	3.9%	46.2%	8	11	4
九日町	2.5%	0.9%	-66.7%	5	2	-4
六九町	1.8%	2.5%	33.3%	4	5	1
幸町	3.0%	3.5%	11.1%	11	12	1
名店街	0.0%	0.0%	-	0	0	0
上仲町	2.6%	0.9%	-66.7%	2	1	-1
下仲町	3.5%	1.6%	-60.0%	3	1	-2
八日町	1.7%	0.6%	-66.7%	2	1	-1
五日町	1.3%	0.4%	-75.0%	2	1	-2
日の出町	2.3%	2.1%	0.0%	1	1	0
仁科町	2.2%	4.4%	100.0%	5	10	5
高見町	1.9%	1.1%	-50.0%	4	2	-2
桜田町	4.3%	5.6%	29.6%	16	21	5
南原町	3.7%	4.9%	36.4%	13	18	5
堀六日町	2.9%	4.8%	50.0%	6	9	3
東町	5.1%	5.2%	-20.0%	6	5	-1
白塩町	3.6%	3.9%	0.0%	11	11	0
東中原町	6.4%	3.1%	-53.8%	8	4	-4
十日町	6.4%	6.6%	0.0%	26	26	0
大新田町	5.0%	5.3%	0.0%	54	54	0
東若宮町	2.3%	1.4%	-50.0%	4	2	-2
西若宮町	8.0%	3.7%	-53.8%	8	4	-4
若宮町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第二アパート	0.0%	-	-	0	0	0
昭電第8アパート	4.0%	-	-100.0%	1	0	-1
昭電白馬荘	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第七アパート	5.5%	-	-100.0%	1	0	-1
和町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
合計	3.8%	4.0%	-2.1%	285	279	-6

イ) 地図

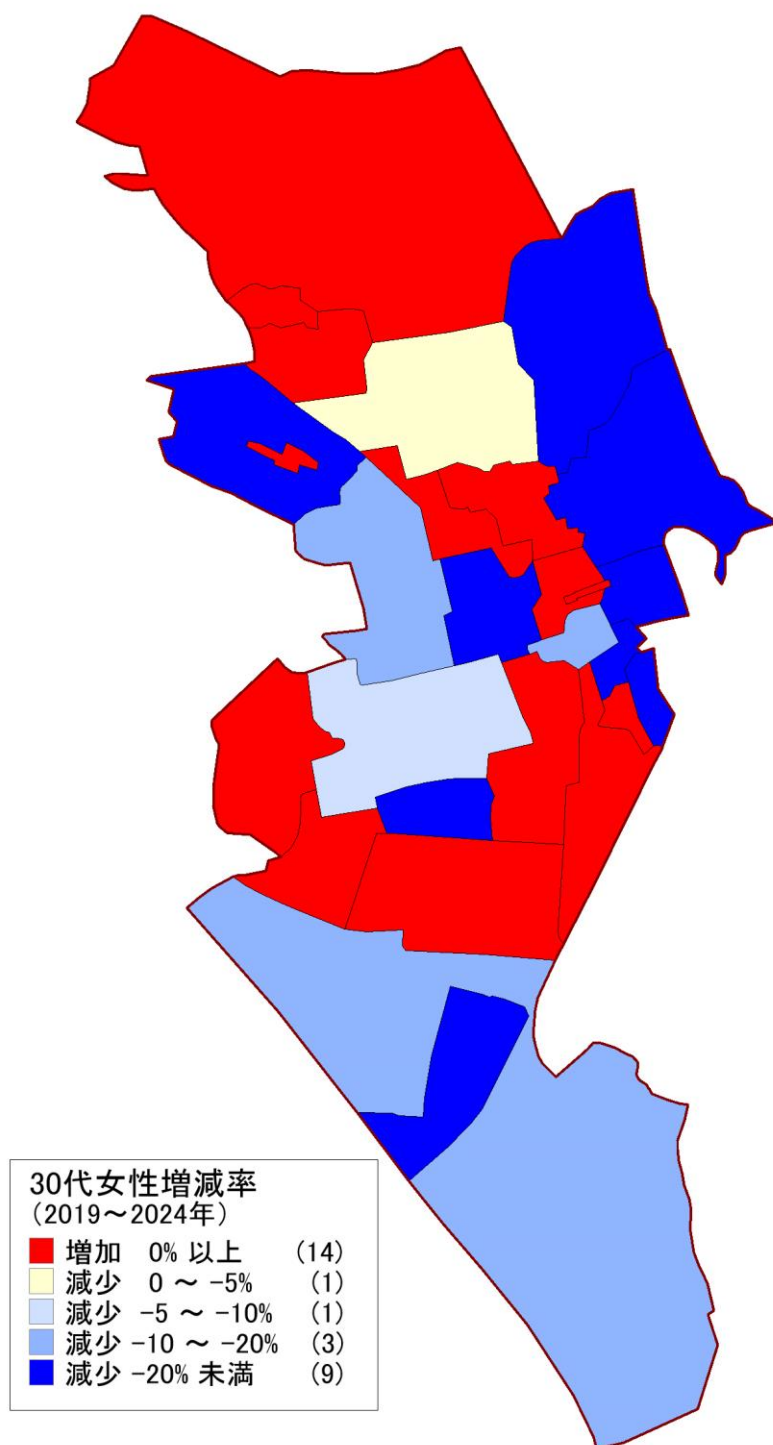


(5) 30代女性数・増減率

ア) 一覧表

地域名	2019年 30代 女性率	2024年 30代 女性率	増減率	2019年 30代 女性数	2024年 30代 女性数	増減数
俵町	3.6%	4.7%	20.8%	53	64	11
不二塚町	2.5%	2.8%	0.0%	3	3	0
大黒町	4.8%	4.7%	-3.6%	28	27	-1
相生町	5.3%	3.8%	-35.3%	17	11	-6
九日町	1.9%	2.0%	0.0%	4	4	0
六九町	3.9%	4.2%	0.0%	8	8	0
幸町	5.3%	4.0%	-26.3%	19	14	-5
名店街	0.0%	0.0%	-	0	0	0
上仲町	2.9%	2.9%	0.0%	2	2	0
下仲町	5.9%	5.3%	-20.0%	5	4	-1
八日町	1.9%	0.0%	-100.0%	2	0	-2
五日町	1.6%	0.7%	-66.7%	3	1	-2
日の出町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
仁科町	2.7%	3.7%	33.3%	6	8	2
高見町	3.2%	4.8%	33.3%	6	8	2
桜田町	3.4%	4.0%	15.4%	13	15	2
南原町	4.2%	3.8%	-6.7%	15	14	-1
堀六日町	3.8%	2.2%	-50.0%	8	4	-4
東町	4.3%	2.2%	-60.0%	5	2	-3
白塩町	3.2%	2.1%	-40.0%	10	6	-4
東中原町	2.5%	3.4%	33.3%	3	4	1
十日町	4.5%	3.8%	-16.7%	18	15	-3
大新田町	4.4%	3.8%	-17.0%	47	39	-8
東若宮町	4.5%	3.9%	-28.6%	7	5	-2
西若宮町	2.0%	3.1%	50.0%	2	3	1
若宮町	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第二アパート	0.0%	-	-	0	0	0
昭電第8アパート	13.3%	-	-100.0%	2	0	-2
昭電白馬荘	0.0%	0.0%	-	0	0	0
昭電第七アパート	4.5%	-	-100.0%	1	0	-1
和町	4.3%	4.3%	0.0%	1	1	0
合計	3.8%	3.7%	-9.0%	288	262	-26

イ) 地図

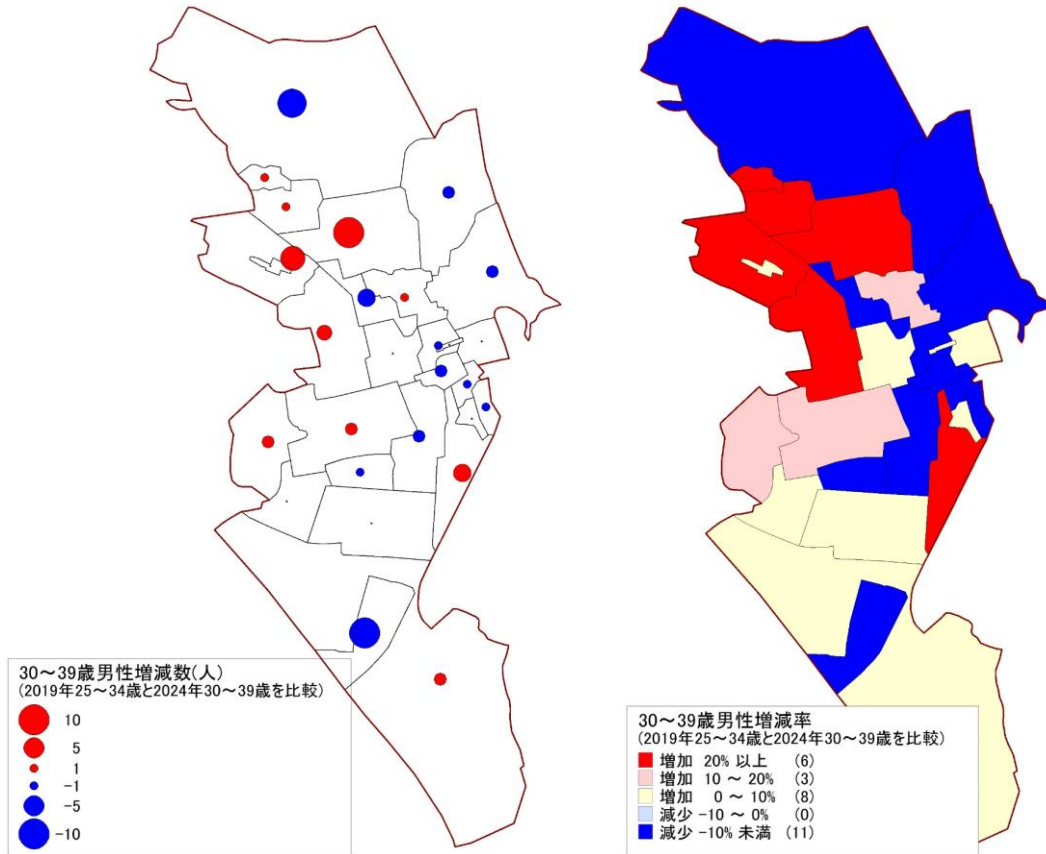


(6) 30代男女コーホート増減数・増減率

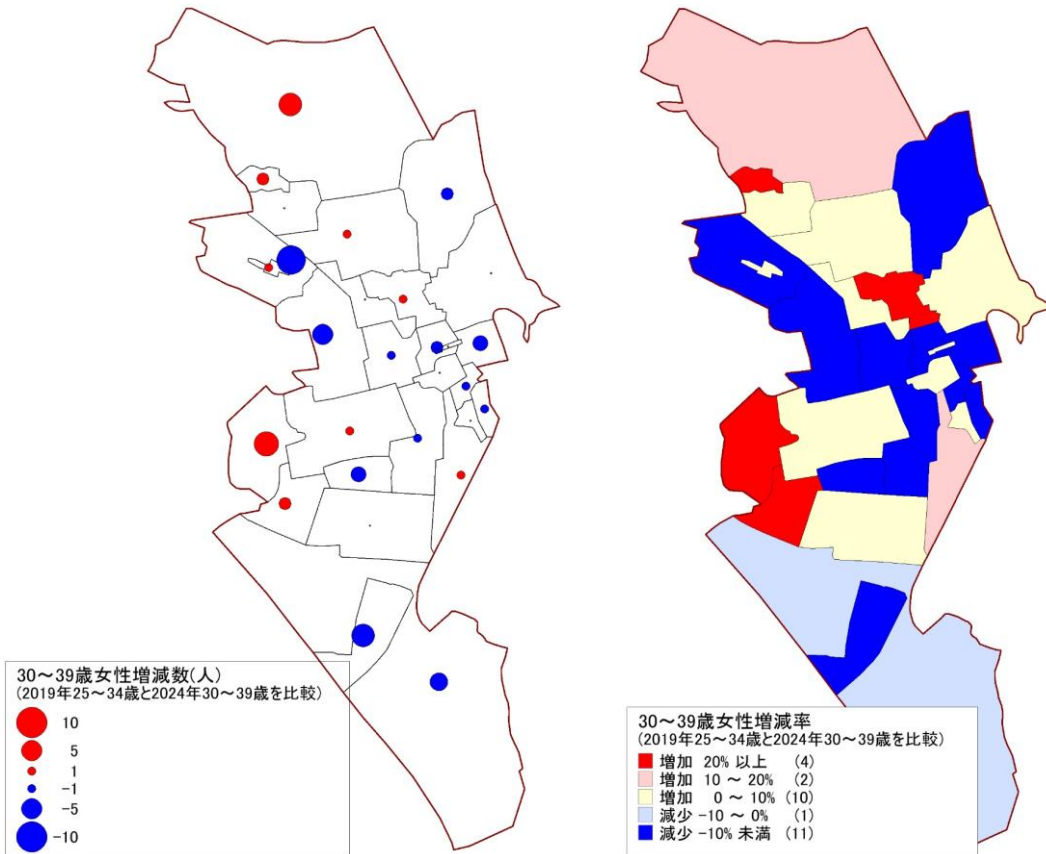
ア) 一覧表

地域名	男性 コーホート 増減率	女性 コーホート 増減率	2019年 男25～34 歳人口数	2024年 男30～39 歳人口数	2019年 女25～34 歳人口数	2024年 女30～39 歳人口数	男性 増減数	女性 増減数
俵町	-16.1%	10.3%	56	47	58	64	-9	6
不二塚町	33.3%	0.0%	3	4	3	3	1	0
大黒町	61.1%	3.8%	18	29	26	27	11	1
相生町	-14.3%	-15.4%	14	12	13	11	-2	-2
九日町	12.5%	33.3%	8	9	3	4	1	1
六九町	-40.0%	0.0%	10	6	8	8	-4	0
幸町	53.8%	-39.1%	13	20	23	14	7	-9
名店街	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
上仲町	-25.0%	-50.0%	4	3	4	2	-1	-2
下仲町	-40.0%	0.0%	5	3	4	4	-2	0
八日町	-14.3%	-100.0%	7	6	1	0	-1	-1
五日町	-14.3%	-50.0%	7	6	2	1	-1	-1
日の出町	0.0%	0.0%	1	1	0	0	0	0
仁科町	80.0%	14.3%	5	9	7	8	4	1
高見町	-22.2%	-11.1%	9	7	9	8	-2	-1
桜田町	13.3%	87.5%	15	17	8	15	2	7
南原町	12.5%	7.7%	16	18	13	14	2	1
堀六日町	0.0%	-20.0%	2	2	5	4	0	-1
東町	0.0%	-60.0%	1	1	5	2	0	-3
白塩町	-16.7%	0.0%	12	10	6	6	-2	0
東中原町	50.0%	100.0%	2	3	2	4	1	2
十日町	27.3%	-25.0%	11	14	20	15	3	-5
大新田町	6.3%	-9.3%	32	34	43	39	2	-4
東若宮町	-12.5%	-37.5%	8	7	8	5	-1	-3
西若宮町	0.0%	200.0%	1	1	1	3	0	2
若宮町	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
昭電第二アパート	-100.0%	-100.0%	1	0	1	0	-1	-1
昭電第8アパート	-100.0%	-100.0%	1	0	2	0	-1	-2
昭電白馬荘	-61.5%	0.0%	13	5	0	0	-8	0
昭電第七アパート	-100.0%	-100.0%	4	0	3	0	-4	-3
和町	0.0%	0.0%	2	2	0	1	0	1
合計	-1.8%	-5.8%	281	276	278	262	-5	-16

イ) 地図 (男性、左図：増減数、右図：増減率)



ウ) 地図 (女性、左図：増減数、右図：増減率)

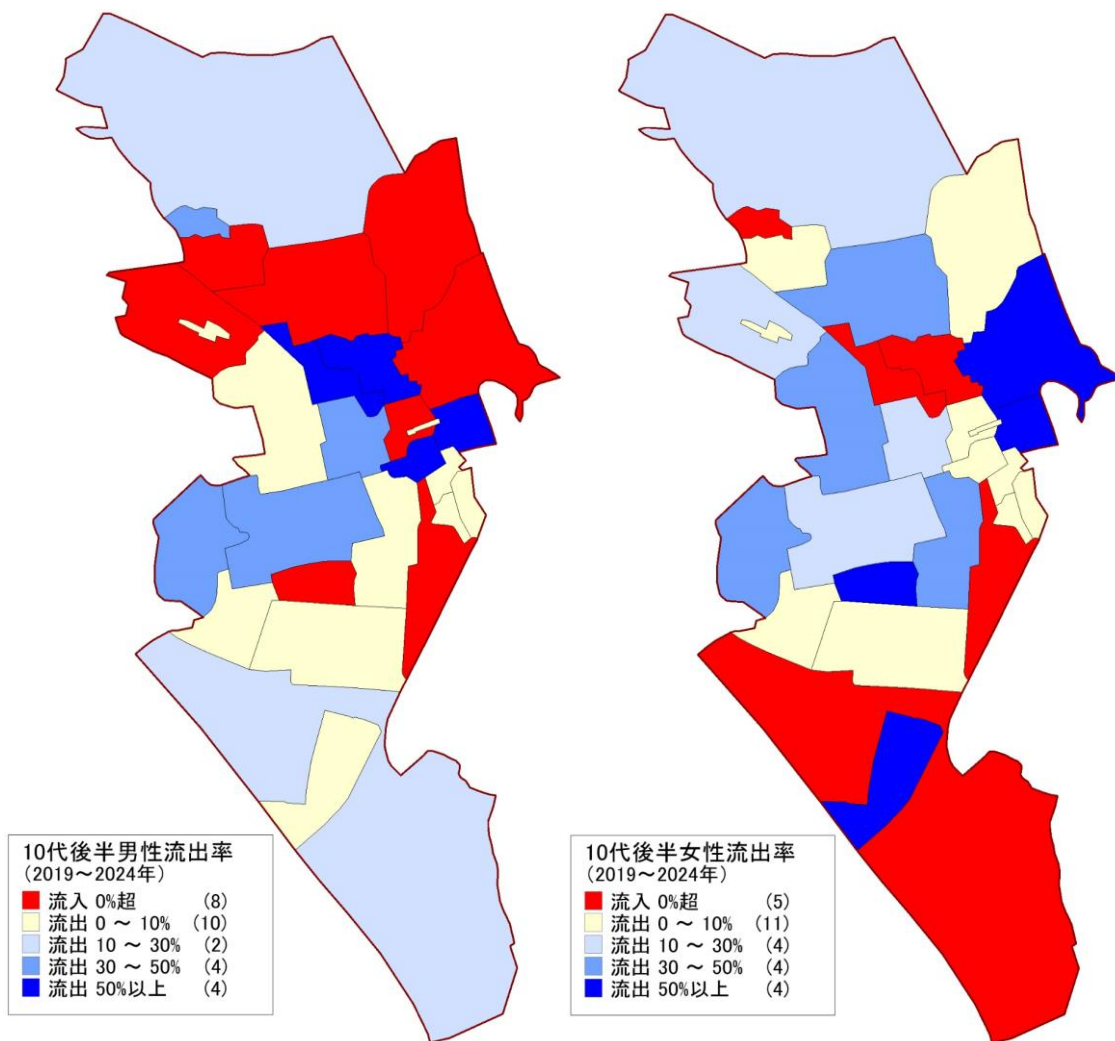


(7) 10代後半男女流出数・流出率

ア) 一覧表

地域名	男性 10代後半 流出率	女性 10代後半 流出率	2019年 男10代後 半人口数	2024年 男20代前 半人口数	2019年 女10代後 半人口数	2024年 女20代前 半人口数	男性 流出数	女性 流出数
俵町	28.9%	11.5%	38	27	26	23	11	3
不二塚町	-25.0%	0.0%	4	5	1	1	-1	0
大黒町	-83.3%	33.3%	6	11	12	8	-5	4
相生町	-100.0%	0.0%	3	6	4	4	-3	0
九日町	75.0%	-25.0%	4	1	4	5	3	-1
六九町	50.0%	-33.3%	2	1	3	4	1	-1
幸町	-44.4%	10.0%	9	13	10	9	-4	1
名店街	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
上仲町	-100.0%	0.0%	1	2	0	1	-1	-1
下仲町	100.0%	0.0%	2	0	2	2	2	0
八日町	0.0%	0.0%	1	1	5	5	0	0
五日町	0.0%	0.0%	3	3	3	3	0	0
日の出町	0.0%	0.0%	0	0	1	1	0	0
仁科町	-33.3%	-60.0%	3	4	5	8	-1	-3
高見町	0.0%	40.0%	4	4	5	3	0	2
桜田町	45.5%	40.0%	11	6	10	6	5	4
南原町	33.3%	12.5%	3	2	8	7	1	1
堀六日町	40.0%	25.0%	5	3	4	3	2	1
東町	50.0%	100.0%	4	2	2	0	2	2
白塩町	-75.0%	66.7%	4	7	3	1	-3	2
東中原町	40.0%	-100.0%	5	3	1	2	2	-1
十日町	0.0%	30.8%	10	10	13	9	0	4
大新田町	20.0%	-43.5%	30	24	46	66	6	-20
東若宮町	-50.0%	66.7%	2	3	3	1	-1	2
西若宮町	0.0%	0.0%	3	3	1	1	0	0
若宮町	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
昭電第二アパート	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
昭電第8アパート	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
昭電白馬荘	0.0%	0.0%	0	3	0	0	-3	0
昭電第七アパート	100.0%	100.0%	3	0	1	0	3	1
和町	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	0
合計	10.0%	0.0%	160	144	173	173	16	0

イ) 地図 (左図: 男性、右図: 女性)

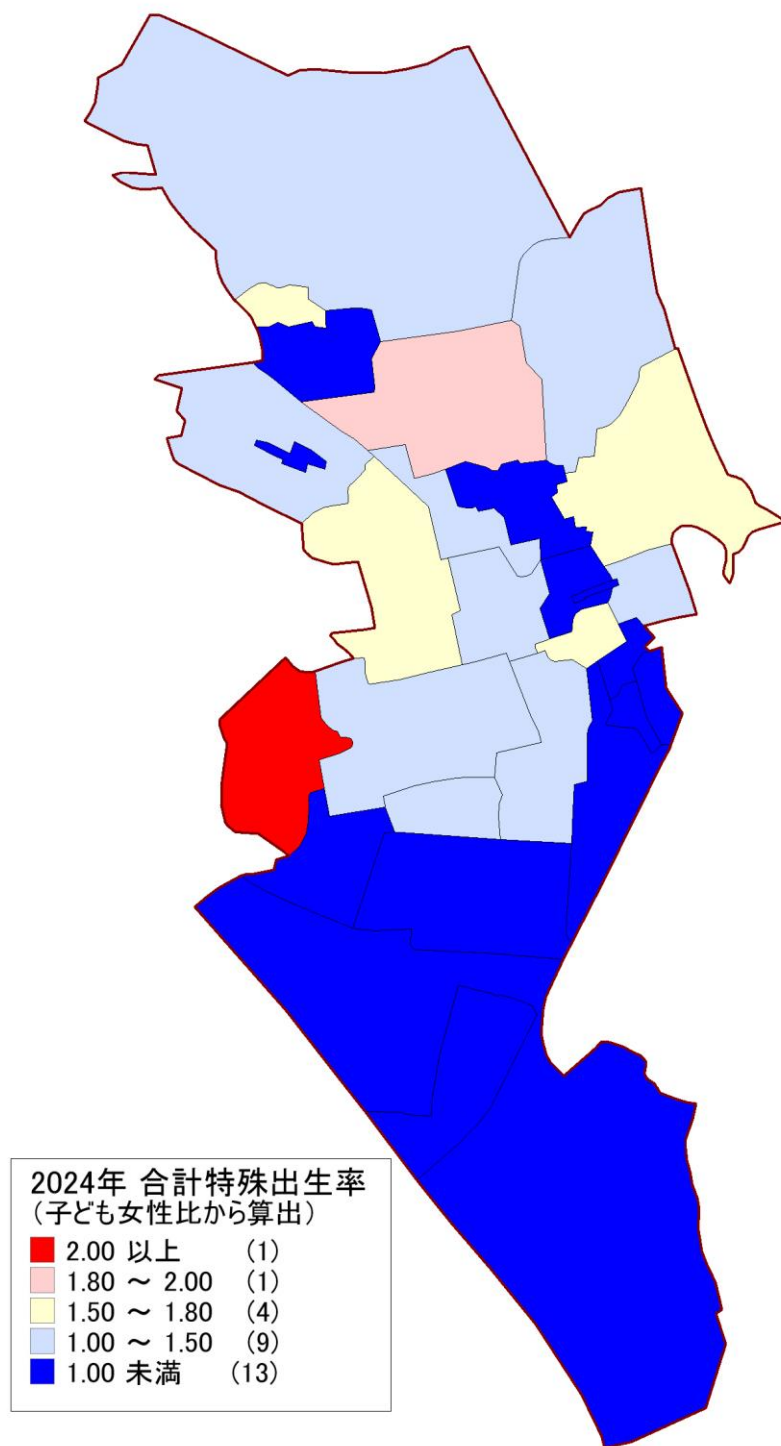


(8) 出生率

ア) 一覧表

地域名	出生率	2024年 女20~39 歳人口数	2024年 4歳以下人 口数	子ども 女性比
俵町	1.30	120	39	0.33
不二塚町	0.00	6	0	0.00
大黒町	1.91	42	20	0.48
相生町	1.39	26	9	0.35
九日町	0.00	10	0	0.00
六九町	1.43	14	5	0.36
幸町	1.20	40	12	0.30
名店街	0.00	0	0	0.00
上仲町	0.57	7	1	0.14
下仲町	1.50	8	3	0.38
八日町	0.00	6	0	0.00
五日町	0.00	6	0	0.00
日の出町	0.00	2	0	0.00
仁科町	0.60	20	3	0.15
高見町	1.23	13	4	0.31
桜田町	2.00	26	13	0.50
南原町	1.24	29	9	0.31
堀六日町	1.00	8	2	0.25
東町	1.33	3	1	0.33
白塩町	1.67	12	5	0.42
東中原町	1.50	8	3	0.38
十日町	1.73	30	13	0.43
大新田町	0.55	117	16	0.14
東若宮町	1.00	12	3	0.25
西若宮町	0.00	5	0	0.00
若宮町	0.00	0	0	0.00
昭電第二アパート	0.00	0	0	0.00
昭電第8アパート	0.00	0	0	0.00
昭電白馬荘	0.00	2	0	0.00
昭電第七アパート	0.00	0	0	0.00
和町	0.00	1	0	0.00
合計	1.12	573	161	0.28

イ) 地図

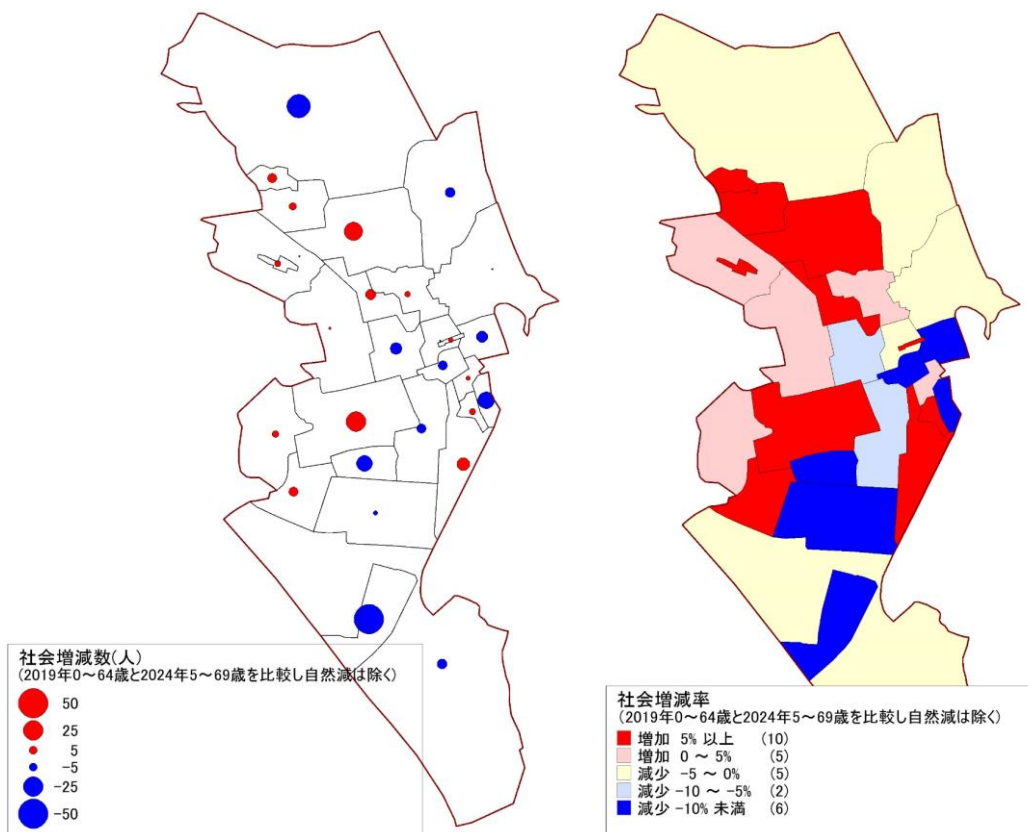


(9) 社会増減数・増減率

ア) 一覧表

地域名	社会増減率	2019年 0～64歳人口数 (自然減除)	2024年 5～69歳 人口数	社会 増減数
俵町	-3.6%	923	890	-33
不二塚町	8.0%	58	63	5
大黒町	6.5%	345	367	22
相生町	-3.7%	189	182	-7
九日町	2.1%	122	125	3
六九町	7.8%	106	114	8
幸町	0.0%	250	250	0
名店街	35.4%	6	8	2
上仲町	-1.1%	41	41	-0
下仲町	-10.6%	59	53	-6
八日町	3.0%	52	54	2
五日町	-18.4%	102	83	-19
日の出町	19.1%	17	20	3
仁科町	8.8%	129	140	11
高見町	-6.0%	112	105	-7
桜田町	1.4%	260	264	4
南原町	11.8%	214	239	25
堀六日町	-8.3%	119	109	-10
東町	-13.8%	67	58	-9
白塩町	0.0%	173	173	-0
東中原町	10.2%	64	71	7
十日町	0.2%	277	278	1
大新田町	-1.0%	701	694	-7
東若宮町	-16.7%	103	86	-17
西若宮町	12.6%	51	57	6
若宮町	-100.0%	2	0	-2
昭電第二アパート	-100.0%	12	0	-12
昭電第8アパート	-100.0%	15	0	-15
昭電白馬荘	-19.7%	25	20	-5
昭電第七アパート	-100.0%	22	0	-22
和町	32.2%	10	13	3
合計	-1.5%	4,626	4,557	-69

イ) 地図 (左図: 増減数、右図: 増減率)



(10) コーホート変化率一覧

地域名	性別	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳
俵町	男	0.92	1.12	1.08	1.04	0.71	0.95	0.68	1.09	0.81	0.94	1.13	0.85	0.98	0.79	0.97	0.81
	女	0.84	1.11	1.06	0.77	0.88	0.97	0.91	1.39	1.13	0.88	1.11	0.98	0.92	0.95	1.00	1.04
不二塚町	男	0.00	1.00	4.00	1.00	1.25	1.00	2.00	1.00	0.40	1.33	0.83	1.00	1.50	1.00	0.86	0.83
	女	0.00	0.50	1.00	1.00	1.00	3.00	0.50	1.50	0.50	1.33	2.00	1.00	1.00	0.80	1.00	0.89
大黒町	男	0.44	1.00	1.00	1.25	1.83	1.00	2.14	1.27	1.17	0.95	1.14	1.00	0.92	1.00	1.00	0.92
	女	1.86	0.43	0.77	1.14	0.67	1.00	1.08	1.00	1.13	1.13	0.94	1.36	1.13	0.86	0.95	0.91
相生町	男	0.67	0.67	0.80	1.00	2.00	0.80	0.67	1.00	1.10	0.88	1.00	0.89	0.93	1.10	1.00	1.00
	女	0.56	0.78	1.00	1.00	1.00	1.83	1.00	0.71	0.50	1.25	1.00	0.67	1.00	1.00	1.00	1.00
九日町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	0.25	1.14	0.86	3.00	1.50	1.00	1.40	1.08	0.89	1.00	0.92	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	0.67	1.25	0.33	1.33	1.00	1.00	0.83	0.89	1.71	0.80	0.86	1.00	1.00
六九町	男	1.00	0.50	1.33	0.50	0.50	1.00	1.25	0.17	1.50	1.00	1.00	1.10	1.00	1.33	0.92	0.67
	女	3.00	2.00	2.00	2.00	1.33	3.00	0.33	1.40	0.67	1.50	0.82	1.67	1.17	1.14	1.11	0.75
幸町	男	2.00	2.33	0.60	0.86	1.44	1.25	1.14	2.00	1.00	1.00	1.00	0.86	1.27	1.14	1.00	0.85
	女	0.67	0.89	0.67	1.00	0.90	1.00	0.64	0.56	1.30	1.00	0.73	0.75	1.11	1.00	1.14	0.95
名店街	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
上仲町	男	0.00	1.00	0.50	1.00	2.00	3.00	0.33	2.00	1.00	0.67	0.67	1.50	0.75	1.00	1.50	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.33	0.33	1.00	1.00	0.33	1.00	1.50	1.00	1.33	1.00	1.00
下仲町	男	1.00	1.00	1.00	1.00	0.33	0.80	0.50	1.00	0.80	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.67	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
八日町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	0.80	1.00	2.00	1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.67
	女	0.00	1.00	2.00	1.00	1.00	0.50	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00	0.83	1.60	2.00	1.33	1.00
五日町	男	0.00	0.50	0.50	1.00	1.00	0.60	1.00	0.80	1.00	0.80	0.83	0.57	0.60	0.83	1.00	0.80
	女	0.00	0.33	1.00	1.00	1.00	0.67	1.00	0.50	1.00	0.60	1.33	1.00	0.71	1.11	1.00	1.20
日の出町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.50	1.00	1.00	1.00	0.50
	女	0.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
仁科町	男	1.00	1.00	2.00	2.00	1.33	0.60	1.25	4.00	1.00	1.38	1.00	0.92	0.88	0.80	1.00	0.82
	女	0.00	1.00	1.75	1.50	1.60	0.67	0.75	1.67	1.00	1.00	1.17	1.00	0.71	0.88	1.13	0.92
高見町	男	0.00	1.00	0.50	1.33	1.00	2.00	0.67	1.00	1.00	0.50	1.17	1.14	0.50	1.09	1.11	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.50	0.60	0.40	0.71	1.50	1.25	0.67	1.00	1.00	0.86	1.11	1.00	1.00
桜田町	男	1.40	1.80	1.13	1.00	0.55	0.83	0.75	1.57	1.08	1.00	1.10	0.95	1.00	1.00	1.07	0.83
	女	1.20	1.80	1.14	1.00	0.60	0.38	2.33	1.60	1.13	1.00	0.91	0.95	1.00	1.06	1.00	1.14
南原町	男	1.67	3.33	1.00	0.86	0.67	1.50	1.00	1.25	1.10	1.10	1.11	1.43	1.27	1.14	0.91	1.13
	女	0.50	1.00	1.00	1.00	0.88	1.00	0.88	1.40	0.90	1.18	0.80	1.13	1.14	1.06	0.93	1.08
堀六日町	男	0.20	0.60	1.00	1.00	0.60	1.00	0.50	2.00	1.00	1.00	0.86	0.83	1.00	0.83	0.90	0.90
	女	0.14	1.00	1.00	1.00	0.75	0.33	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	0.88	1.08	1.08	1.00	1.13
東町	男	1.00	2.00	0.50	0.67	0.50	0.25	1.00	1.00	3.00	1.20	0.80	0.75	2.00	0.67	1.00	0.67
	女	0.00	2.00	1.33	1.00	0.33	0.50	0.50	0.50	4.00	0.50	0.75	1.00	1.00	1.00	1.00	0.89
白塩町	男	0.29	1.00	1.00	1.00	1.75	1.20	1.00	0.78	1.00	1.11	1.00	1.07	0.88	0.92	0.89	0.93
	女	0.75	0.75	1.00	1.00	0.33	0.71	1.00	1.00	1.83	0.78	0.80	1.14	1.00	0.85	1.00	1.00
東中原町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	0.60	1.00	2.00	1.00	1.33	0.75	1.25	1.00	0.80	1.00	0.86	0.80
	女	1.00	3.00	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	1.50	1.00	1.20	1.00	0.80	1.50	1.00	1.00	1.00
十日町	男	1.20	1.60	1.18	0.78	1.00	1.00	1.20	1.33	1.25	0.93	1.00	1.00	0.84	1.07	1.00	1.09
	女	1.00	1.71	1.00	0.77	0.69	1.00	0.55	1.00	1.22	0.90	1.07	1.09	0.78	1.10	1.00	0.83
大新田町	男	0.30	1.00	1.04	0.96	0.80	0.59	1.09	1.05	0.85	1.03	1.03	1.10	1.29	1.17	1.00	0.94
	女	0.59	1.18	1.05	1.50	1.43	0.21	0.90	0.91	1.12	0.95	1.03	1.23	1.11	0.95	1.02	1.05
東若宮町	男	0.22	0.22	0.50	1.50	1.50	0.57	3.00	0.57	1.00	0.75	1.25	1.20	1.00	1.00	1.00	0.86
	女	0.25	0.20	0.33	1.00	0.33	0.86	0.80	0.33	0.75	1.40	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	0.75
西若宮町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	0.50	1.00	0.60	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00
	女	0.00	2.00	2.00	1.17	1.00	2.00	4.00	0.50	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00
若宮町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	1.00	1.00
昭電第二ア パート	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50	1.00	0.50	1.00	1.00	0.33	0.50	1.00	1.00	1.00
	女	0.00	0.50	1.00	1.00	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	0.33	1.00	1.00	1.00
昭電第8ア パート	男	0.00	0.25	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	1.00	0.33	1.00	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00
	女	0.00	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.33	1.00	1.00	0.50	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00
昭電白馬荘	男	0.00	1.00	1.00	1.00	4.00	0.82	0.56	0.20	2.00	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	3.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
昭電第七ア パート	男	0.00	0.50	1.00	0.50	0.25	1.00	0.50	0.25	0.50	1.00	0.50	0.50	1.00	0.50	1.00	1.00
	女	0.00	0.50	0.50	1.00	0.50	1.00	0.33	0.50	1.00	1.00	0.50	0.50	1.00	0.50	1.00	1.00
和町	男	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	女	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

※0~4歳は2019・2024年の増減率である

(11) 一覽表

地域名	現状分析 2019~2024年														
	(1) 人口総数				(2) 高齢化率		(3) 4歳以下幼児率・増減			(4) 小学生率・増減			(5) 30代女性率・増減		
	2019年 人口総数	2024年 人口総数	増減数	増減率	2019年 高齢化率	2024年 高齢化率	2019年 4歳以下 幼児率	2024年 4歳以下 幼児率	増減率	2019年 小学生率	2024年 小学生率	増減率	2019年 30代女 性率	2024年 30代女 性率	増減率
俵町	1,464	1,362	-102	-7.0%	36.3%	37.2%	3.0%	2.9%	-11.4%	4.1%	4.2%	-5.9%	3.6%	4.7%	20.8%
不二塚町	119	109	-10	-8.4%	50.4%	49.5%	0.8%	0.0%	-100.0%	3.0%	1.7%	-50.0%	2.5%	2.8%	0.0%
大黒町	583	573	-10	-1.7%	40.3%	39.1%	3.9%	3.5%	-13.0%	3.7%	3.9%	2.8%	4.8%	4.7%	-3.6%
相生町	321	291	-30	-9.3%	40.5%	43.0%	4.7%	3.1%	-40.0%	2.4%	3.9%	46.2%	5.3%	3.8%	-35.3%
九日町	216	202	-14	-6.5%	42.6%	45.5%	0.5%	0.0%	-100.0%	2.5%	0.9%	-66.7%	1.9%	2.0%	0.0%
六九町	203	191	-12	-5.9%	47.3%	46.1%	1.5%	2.6%	66.7%	1.8%	2.5%	33.3%	3.9%	4.2%	0.0%
幸町	359	347	-12	-3.3%	29.8%	28.5%	3.3%	3.5%	0.0%	3.0%	3.5%	11.1%	5.3%	4.0%	-26.3%
名店街	15	16	1	6.7%	60.0%	50.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-
上仲町	68	68	0	0.0%	38.2%	50.0%	0.0%	1.5%	-	2.6%	0.9%	-66.7%	2.9%	2.9%	0.0%
下仲町	85	76	-9	-10.6%	29.4%	40.8%	1.2%	3.9%	200.0%	3.5%	1.6%	-60.0%	5.9%	5.3%	-20.0%
八日町	106	98	-8	-7.5%	50.0%	49.0%	0.0%	0.0%	-	1.7%	0.6%	-66.7%	1.9%	0.0%	-100.0%
五日町	184	149	-35	-19.0%	44.0%	54.4%	2.2%	0.0%	-100.0%	1.3%	0.4%	-75.0%	1.6%	0.7%	-66.7%
日の出町	26	28	2	7.7%	34.6%	35.7%	0.0%	0.0%	-	2.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-
仁科町	223	218	-5	-2.2%	41.7%	39.4%	3.6%	1.4%	-62.5%	2.2%	4.4%	100.0%	2.7%	3.7%	33.3%
高見町	186	165	-21	-11.3%	39.2%	47.3%	1.6%	2.4%	33.3%	1.9%	1.1%	-50.0%	3.2%	4.8%	33.3%
桜田町	380	376	-4	-1.1%	30.8%	33.8%	2.6%	3.5%	30.0%	4.3%	5.6%	29.6%	3.4%	4.0%	15.4%
南原町	355	365	10	2.8%	39.2%	41.4%	3.1%	2.5%	-18.2%	3.7%	4.9%	36.4%	4.2%	3.8%	-6.7%
堀六日町	210	186	-24	-11.4%	42.9%	50.0%	5.7%	1.1%	-83.3%	2.9%	4.8%	50.0%	3.8%	2.2%	-50.0%
東町	117	92	-25	-21.4%	41.9%	42.4%	0.9%	1.1%	0.0%	5.1%	5.2%	-20.0%	4.3%	2.2%	-60.0%
白塩町	316	290	-26	-8.2%	44.6%	46.2%	3.5%	1.7%	-54.5%	3.6%	3.9%	0.0%	3.2%	2.1%	-40.0%
東中原町	121	118	-3	-2.5%	46.3%	42.4%	0.8%	2.5%	200.0%	6.4%	3.1%	-53.8%	2.5%	3.4%	33.3%
十日町	403	392	-11	-2.7%	30.5%	32.4%	3.0%	3.3%	8.3%	6.4%	6.6%	0.0%	4.5%	3.8%	-16.7%
大新田町	1,073	1,020	-53	-4.9%	34.2%	34.3%	3.4%	1.6%	-56.8%	5.0%	5.3%	0.0%	4.4%	3.8%	-17.0%
東若宮町	157	129	-28	-17.8%	33.8%	37.2%	8.3%	2.3%	-76.9%	2.3%	1.4%	-50.0%	4.5%	3.9%	-28.6%
西若宮町	98	97	-1	-1.0%	48.0%	44.3%	1.0%	0.0%	-100.0%	8.0%	3.7%	-53.8%	2.0%	3.1%	50.0%
若宮町	3	1	-2	-66.7%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-
昭電第二アパート	12	0	-12	-100.0%	0.0%	-	8.3%	-	-100.0%	0.0%	-	-	0.0%	-	-
昭電第8アパート	15	0	-15	-100.0%	0.0%	-	26.7%	-	-100.0%	4.0%	-	-100.0%	13.3%	-	-100.0%
昭電白馬荘	25	20	-5	-20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-
昭電第七アパート	22	0	-22	-100.0%	0.0%	-	9.1%	-	-100.0%	5.5%	-	-100.0%	4.5%	-	-100.0%
和町	23	23	0	0.0%	56.5%	52.2%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	4.3%	4.3%	0.0%
合計	7,488	7,002	-486	-6.5%	37.6%	39.1%	3.1%	2.3%	-30.3%	3.8%	4.0%	-2.1%	3.8%	3.7%	-9.0%

地域名	現状分析 2019～2024年										
	(6) 30代コア増減数・率				(7) 10代後半流出数・率				(8) 出生率	(9) 社会増減数・率	
	男性 増減数	女性 増減数	男性 増減率	女性 増減率	男性 流出数	女性 流出数	男性 流出率	女性 流出率	出生率	増減数	増減率
俵町	-9	6	-16.1%	10.3%	11	3	28.9%	11.5%	1.30	-33	-3.6%
不二塚町	1	0	33.3%	0.0%	-1	0	-25.0%	0.0%	0.00	5	8.0%
大黒町	11	1	61.1%	3.8%	-5	4	-83.3%	33.3%	1.91	22	6.5%
相生町	-2	-2	-14.3%	-15.4%	-3	0	-100.0%	0.0%	1.39	-7	-3.7%
九日町	1	1	12.5%	33.3%	3	-1	75.0%	-25.0%	0.00	3	2.1%
六九町	-4	0	-40.0%	0.0%	1	-1	50.0%	-33.3%	1.43	8	7.8%
幸町	7	-9	53.8%	-39.1%	-4	1	-44.4%	10.0%	1.20	0	0.0%
名店街	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	2	35.4%
上仲町	-1	-2	-25.0%	-50.0%	-1	-1	-100.0%	0.0%	0.57	-0	-1.1%
下仲町	-2	0	-40.0%	0.0%	2	0	100.0%	0.0%	1.50	-6	-10.6%
八日町	-1	-1	-14.3%	-100.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	2	3.0%
五日町	-1	-1	-14.3%	-50.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	-19	-18.4%
日の出町	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	3	19.1%
仁科町	4	1	80.0%	14.3%	-1	-3	-33.3%	-60.0%	0.60	11	8.8%
高見町	-2	-1	-22.2%	-11.1%	0	2	0.0%	40.0%	1.23	-7	-6.0%
桜田町	2	7	13.3%	87.5%	5	4	45.5%	40.0%	2.00	4	1.4%
南原町	2	1	12.5%	7.7%	1	1	33.3%	12.5%	1.24	25	11.8%
堀六日町	0	-1	0.0%	-20.0%	2	1	40.0%	25.0%	1.00	-10	-8.3%
東町	0	-3	0.0%	-60.0%	2	2	50.0%	100.0%	1.33	-9	-13.8%
白塩町	-2	0	-16.7%	0.0%	-3	2	-75.0%	66.7%	1.67	-0	0.0%
東中原町	1	2	50.0%	100.0%	2	-1	40.0%	-100.0%	1.50	7	10.2%
十日町	3	-5	27.3%	-25.0%	0	4	0.0%	30.8%	1.73	1	0.2%
大新田町	2	-4	6.3%	-9.3%	6	-20	20.0%	-43.5%	0.55	-7	-1.0%
東若宮町	-1	-3	-12.5%	-37.5%	-1	2	-50.0%	66.7%	1.00	-17	-16.7%
西若宮町	0	2	0.0%	200.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	6	12.6%
若宮町	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	-2	-100.0%
昭電第二アパート	-1	-1	-100.0%	-100.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	-12	-100.0%
昭電第8アパート	-1	-2	-100.0%	-100.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	-15	-100.0%
昭電白馬荘	-8	0	-61.5%	0.0%	-3	0	0.0%	0.0%	0.00	-5	-19.7%
昭電第七アパート	-4	-3	-100.0%	-100.0%	3	1	100.0%	100.0%	0.00	-22	-100.0%
和町	0	1	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.00	3	32.2%
合計	-5	-16	-1.8%	-5.8%	16	0	10.0%	0.0%	1.12	-69	-1.5%

第2部 定住戦略の策定・起業支援 プログラムの検討

I モデル地区における定住戦略の策定

1. 「地元天気図」づくりの話し合い

- 日時 2024年12月14日 17時30分～19時30分
- 場所 大町市商工会議所2階多目的ホール
- 参加者 九日町自治会：17名
大町市：3名
持続地域総研：2名（藤山所長、菅原研究員）

- 概要 九日町における各分野の組織、団体をまとめた「地元関係図」を基に、これから次世代の定住を実現する上で、強みあるいは弱みとなるところを、高気圧・低気圧等のマークでわかりやすくまとめる話し合いをグループに分かれて行った。

- 内容 17:30 趣旨説明、人口分析の報告、話し合いの進め方説明
17:40 3グループに分かれて、「地元天気図ワークショップ」
19:00～ グループごとに成果発表
19:20～ まとめ、次回の予告

■成果発表

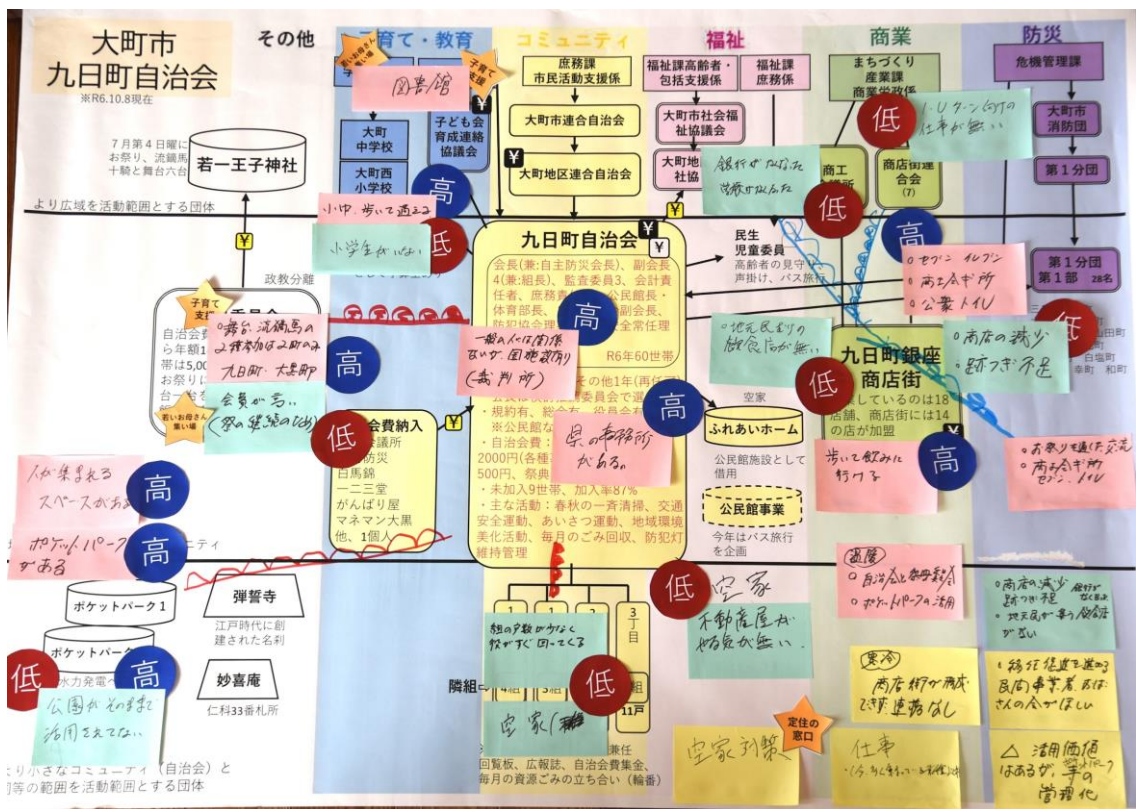
【1丁目グループ】

・地域の強み：一番の強みは、何と言っても、祭り。祭りを通して自治会活動が形作られている。また、商工会議所やセブンイレブンが近くにあることで、利便性が良いところが強みと思っている。

・地域の弱み：やはり商店が減少していること。今あるお店も、後継者がいなければそれに従ってだんだん減ってしまう。地元民が気軽に集まれるような飲食店や、そういうスペースがないというのも弱みではないかという結果になった。

・新しい風：他所から人が入ってくれば、ある程度の風が吹くが、その風をどこから吹かせるのか。これについてはポケットパークとか、お寺のスペースなどが活用できるのではないかという案が出た。

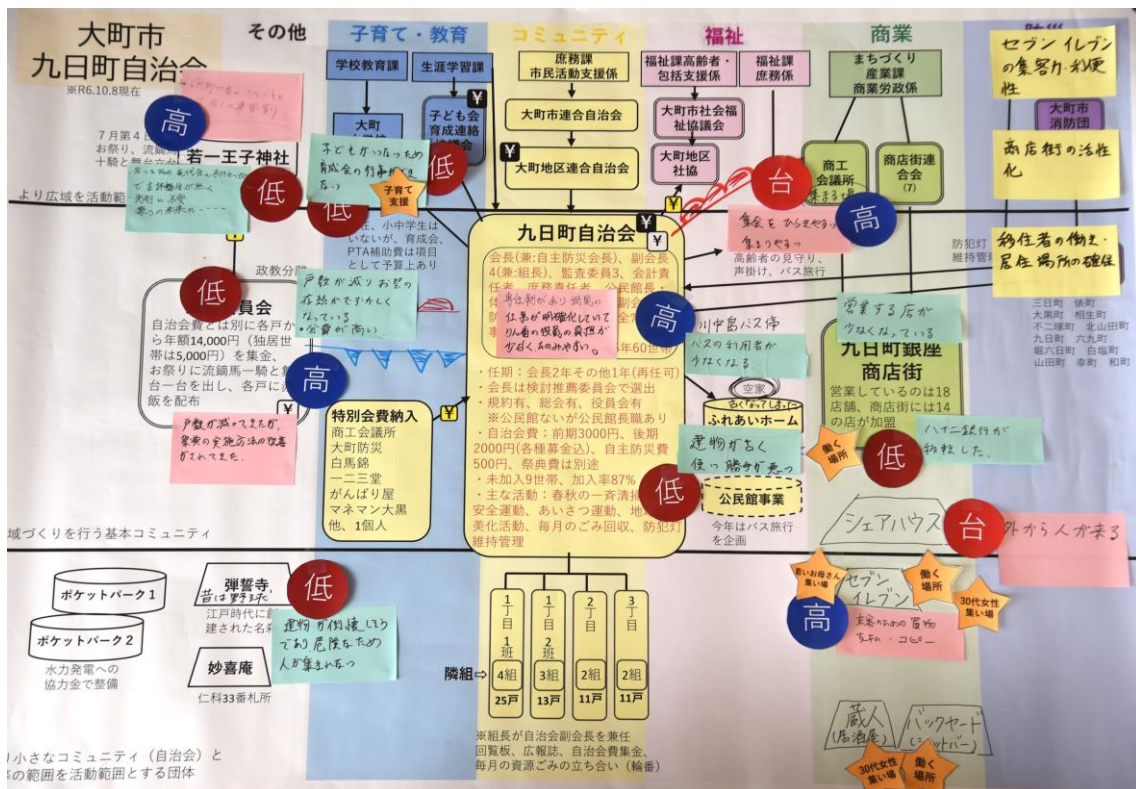
・三本柱：空き家対策については、今、地域に住む人が少なくなってきていて、空いている家は増えてきている。それに対して、市役所とそこに住んでいる人間とで協力して、空いたスペースを確保できれば、他所から人が入ってくる受け皿になると思うので、そのあたりをうまくやってなんとかできないだろうかという話になった。



〈一丁目グループ作成天気図〉

【二丁目グループ】

- ・地域の強み：セブンイレブンがあるということ。集客力があり、利便性が高いので、今後も活用すべき。
- ・地域の弱み：バス停の利用者が減っていること、商店街のお店で営業しているところが少なくなっていること、県信と銀行がなくなり、人通りが少なくなったこと。それによって街が寂しくなっている。
- ・新しい風：シェアハウスや商工会議所があることで外から人が入ってくるし、人が集まったり使えたりする場所があるので、それらを利用することによって、色んなコミュニケーションが広がり、人のつながりがもっと広がっていったらいいのではないだろうか。
- ・連携：自治会と商工会議所は商店街の関係もあり良好な連携が取れている様子。祭典委員会と自治会とは、組織を別にする事で良好に動いている面がありつつ、逆に組織が別なので、メンバーはほとんど同じでも、動かすには少し煩雑な手続きが必要で、それが少し大変というところはある。
- ・三本柱：やはりセブンイレブンが町中にあり、来店客も多いので、その集客力や税金などの支払いもできる利便性をうまくアピールすることが必要と思う。商店街の活性化という面では、高齢化によってお店を閉める方が増えているので、その後継者を育成して商店街で営業するお店を維持して頂けると良い。最後に、他所から移住される方たちを九日町に迎えるには、働き場所や居住する場所などの情報が不足していると感じる。他所から移住された方に対しての情報提供という問題は九日町だけで解決できることではないので、市役所と連携を取りながら、情報提供できる場所を確保していくことが必要だろう。



〈二丁目グループ作成天気図〉

■まとめ

【藤山コメント】

限られた時間の中で、とても具体的に、様々な角度からご意見が出てきた。移住定住情報の一本化とその窓口を作ることなどは本当に大切なことだろう。私としては、今後五年の間に次世代にバトンを渡せるかどうかで将来が決まると感じている。これは大町市だけでなく、全国どこでも、かなりのスピード感を持って進めていく必要がある。

実際に次世代を担う子どもが増えた自治体では何をしているのか、明石市の事例を紹介する。明石市は神戸市の隣にあり便利な所だが、20年前は団地の住民が高齢化し、全世代で人口が流出。その後、泉市長の時代に、全国に先駆けて、市内に25ある小学校区すべてに「こども食堂」ができた。今では「みんな食堂」という地域支え合いの家に進化して、お年寄りも若い方も幼児もみんなが集う場になっている。地域の方が集う場があるかないかは、非常に大きい。明石市は子育て支援だけでなく様々な大型事業も手掛けているが、地域の小さな力を集めてこのような場を作り、維持している点は本当に素晴らしい。

高知県の足摺岬の近くの大変な田舎では、コンビニなどあるわけない小さな集落で「モーニングの日」というのをやっている。昔ながらの田舎の集会所が、月に一回だけ、日曜日の午前中に喫茶店になる。メニューはコーヒーとパンかおにぎりのモーニングセットのみだが、大変な人気で、200人が住む集落に200人が集まる。儲け目的ではなく、月に一回みんなの顔を見る、他の集落からお客さんが来る、この機会に合わせて孫や娘も帰ってくる。移住者としては、突然引っ越して来たら緊張するしトラブルが起きやすいものだが、こういう機会で見知りになっておくと、地域にすっと入っていける大事な場となる。九日町には色々な飲食店もあるので、そういったところを含めてやってみたらどうだろうか。ただし、「赤提灯の日」というのはあまりお勧めしない。飲む人ほど後片付けをしないので、続かない。

この20~30年で日本は人口も減り小学校も中学校もあらゆるものが減ったが、唯一、日本中で増えていて1万を突破した組織が「こども食堂」。地元関係図で見ると、こども食堂というのは色々な分野で地域内外と繋がっている。活動はだいたい月に一回か週に一回なので、地域の色々な皆さんがほんの少しずつ手伝うことができる。こどもが喜ぶ顔を見られるのは嬉しいし、何よりも、やはりみんなで食事をすることは非常に大きい。こうしたこども食堂のような小さな取り組みは、コミュニティの中で今後大切になると改めて感じている。

一方では自治体同士の大きな取り組みとして、「疎開保険」という取り組みも山口県萩市や鳥取県智頭町で始まっている。ご存知の通り、近いうちに関東から東海にかけて大きな地震があると言われており、日本海側や山間部の市町村と組んで、1世帯あたり年間2万円、1万円は保険料で1万円は地域の美味しい食べ物や宿泊券でお返しをする。そういう地震保険の取り組みを通して関係人口を作り、地域に足を運んでもらって、いずれは定住してもらおうというのもありだろう。

実際のところ、移住定住は人数の勝負ではない。移住してきても地域と一切交流しないようではお互いに困る。最近「ポツンと一軒家」のように集落から離れたところに住みたい人もいるが、移住に関するトラブルは実際に頻発しているので、地域の暮らしの手引

きのようなものを作ることをお勧めしている。地域の特徴や自治会が大切にしていること、守ってきた約束事などを後出しで、これもある、あれもある、と言われると、都会から移住して来た人は嫌気がさしてしまう。最初に、うちの自治会はこういう地域でこういうルールがあるとまとめたものを見せてもらえたらお互いに助かるだろう。

九日町には若一王子神社の大きなお祭りがある。お祭りは準備やら何やら大変面倒だが、自分が子どもの頃にお祭りをしっかりやってもらった世代は、大人になってからやっぱり帰ってきて、自分の子どもにも同じようにやってあげたいと頑張っている。やはり同じ仲間として一緒になって子どもを育てる、祭りも一緒に頑張っていくと言うのが、その先に続く本当に大事なことになる。九日町の歴史と現状、取り組みの様子については、自治会長さん他役員さんからお聞かせいただいて地元関係図にまとめたが、改めてこれは知っておいて欲しいというようなことを皆さんで確認しながらまとめておくことも必要だろう。

次回のワークショップは1月25日（日）15時から開催するので、お集まりいただき、また他の自治会の方々もぜひご参加いただきたい。2月か3月には、中心市街地全体の報告会も企画している。今日、皆さんに話し合っていたことは、ぜひ今後に生かしていただきつつ、大町市全体にもつなげていけるよう、ご協力をお願いしたい。

【質疑応答】

Q：町全体で旅館みたいな取り組みをしている事例があると聞きました

A：村や街全体がホテルになる仕組みは、「アルベルゴ・ディフーズ」と呼ばれるもので、もちろん、そういったものも大いにありだろう。大町市は昔、宿場町だったという立派な歴史もあるので、古い神社やお寺、それから新しいポケットパークなども含めて町ごと全部生かすことができるだろう。私は蔵が趣味で、大町市内に点在する様々な蔵も素晴らしいと思っており、是非生かしていただきたい。歴史的な建物もあるので、それは是非専門機関に調べていただくと良いだろう。

これからの九日町を考える集いにご参加ください

現在、九日町をはじめとする中心市街地では、人口減少や高齢化が進み、次世代の定住が待たなで求められる状況となっています。この度、地域運営の基本単位となっている自治会において、より具体的に地域の課題と可能性をまとめていくと共に、円滑に次世代のU&Iターンを促す「暮らしの手引き」等を検討する集いを九日町をモデル地区としてお願いすることとなりました。

つきましては、次のように2回の話し合いを予定しております。大変お忙しいところと思いますが、ご参加について、ご高配を賜れば有難く存じます。

藤山先生
のお写真

一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩

第1回 「地元天気図」づくりの話し合い

日時：2024年12月14日（土）
17：30～20：00
場所：大町商工会議所2階
多目的ホール

九日町における各分野の組織、団体をまとめた「地元関係図」を基に、これから次世代の定住を実現する上で、強みあるいは弱みとなるところを、高気圧・低気圧等のマークでわかりやすくまとめる話し合いをグループに分かれて行います。



第2回 「暮らしの手引き」づくりの話し合い

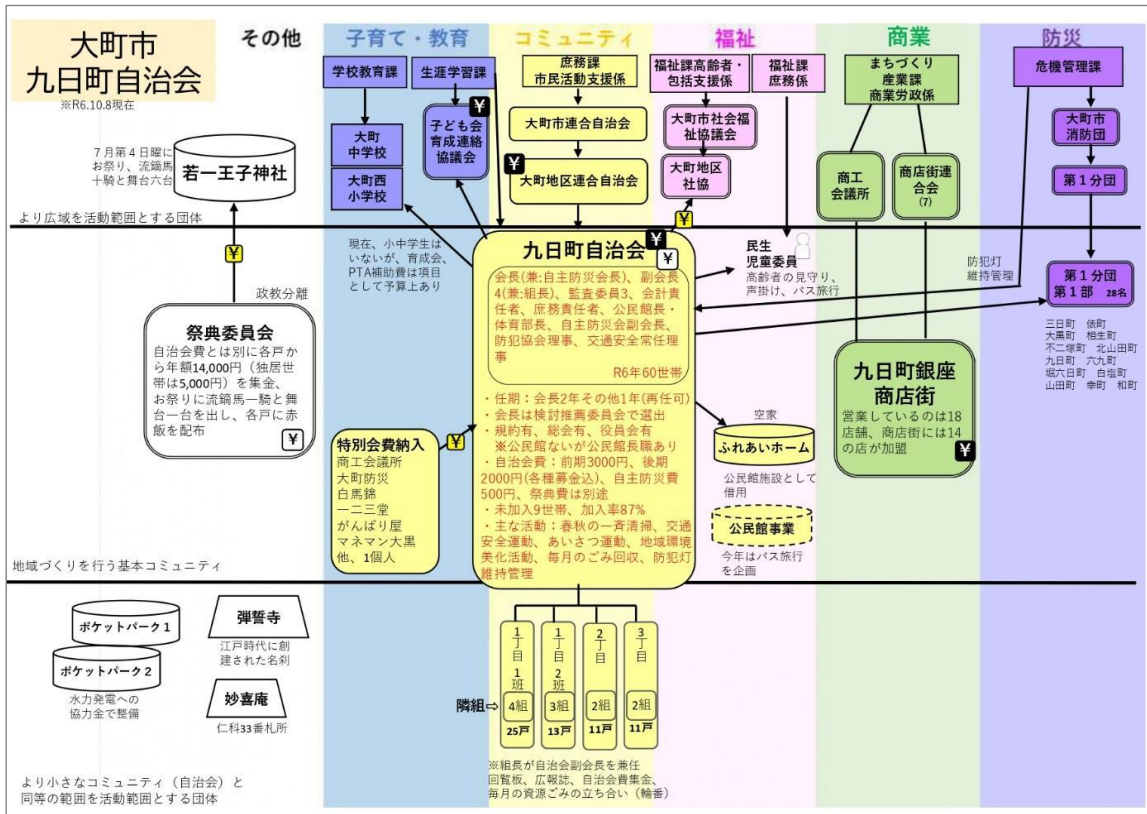
日時：2025年1月25日（土）
15：00～17：30
場所：大町商工会議所2階
多目的ホール

これから新たに定住される方を想定して、町内会の概要や基本的な決まり、行事などをわかりやすくお伝えする「暮らしの手引き」を検討してみます。あらかじめお聞きした内容やいただいた写真等を準備して、みんなでまとめていきます。



実施主体・ 大町市役所総務部企画財政課企画調整係
お問い合わせ 担当 阪井 昭啓 TEL：0261-22-0420（内線521）

■配布資料②地元関係図



■配布資料③航空写真



第1回 「地元天気図」づくりの話し合い

日時：2024年12月14日（土） 17：30～20：00

場所：大町商工会議所2階多目的ホール

九日町における各分野の組織、団体をまとめた「地元関係図」を基に、これから次世代の定住を実現する上で、強みあるいは弱みとなるところを、高気圧・低気圧等のマークでわかりやすくまとめる話し合いをグループに分かれて行います。

17:30 趣旨説明、人口分析の報告、話し合いの進め方説明

17:50 グループに分かれて、「地元天気図ワークショップ」

19:00～ グループごとに成果発表

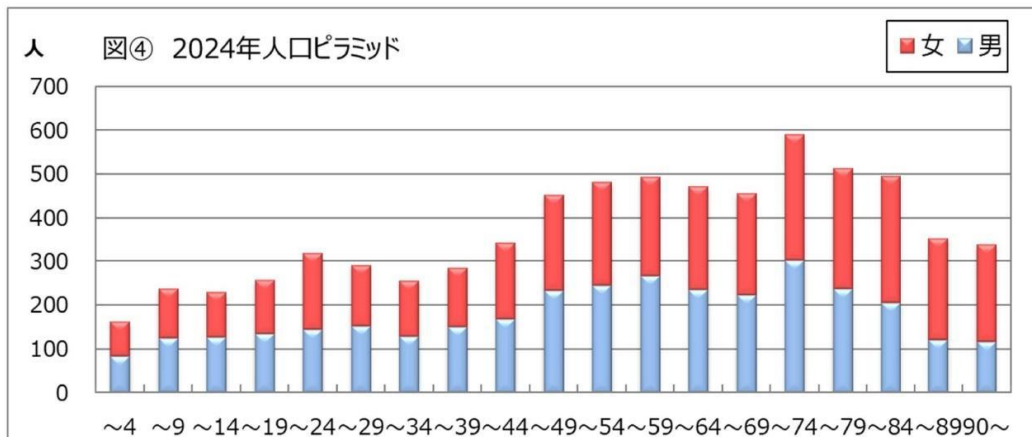
19:30～ まとめ、次回の予告

大町市居住誘導地域(中心市街地)の人口分析

(1)現状分析

①現在の年齢構成

* 2019年・2024年の
住民基本台帳(4月)に基づく

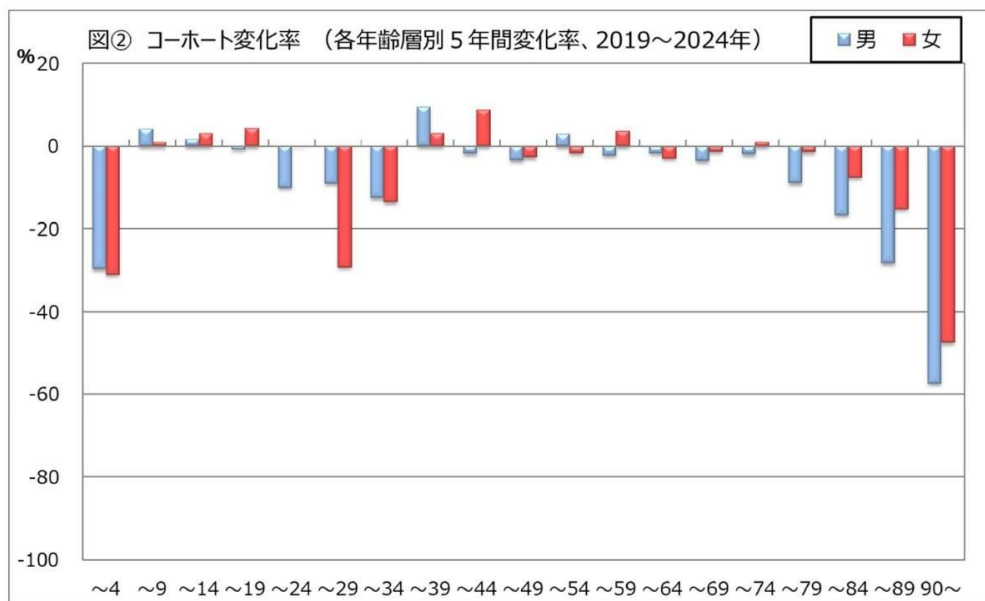


人口7,002人、高齢化39.1%（75歳以上24.2%）

70代前半が主力世代

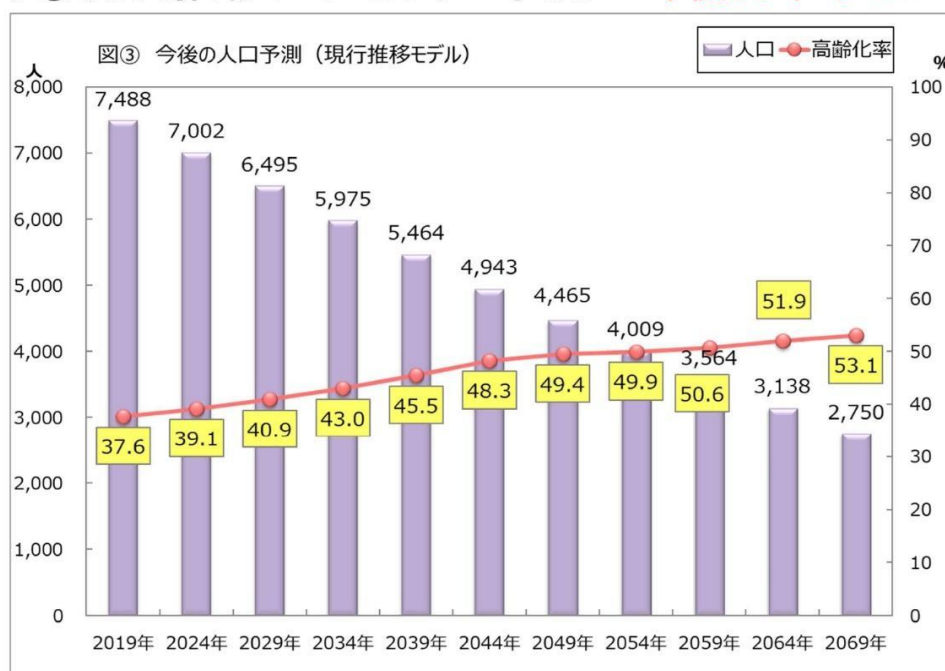
この5年で次世代定住と老後も安心な地域づくり

②年齢階層別の人口増減(流出入)率



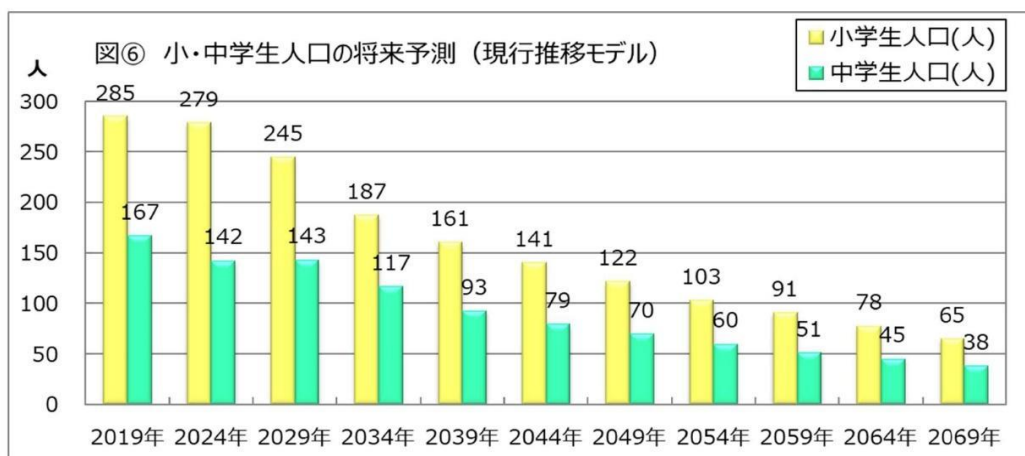
40歳前後で子連れ世帯流入あり。30歳前後で流出超過(特に女性)が目立ち、少子化も進んでいる。

(2)①現状推移による人口予測～今後30年で42.7%減



放置すると、人口の下げ止まりが見えず、高齢化が進行。

②小・中学生の人口予測(現状推移シナリオ)



何もしないでいると
小・中学生数は今後20年で半減もあり得る

(3)組み合わせ最適シナリオ例

【出生率・流出率・定住増加】の3つを組み合わせ最適シナリオが検討してみる。

- 出生率: 現行1.12→2.00へ段階的向上
- 流出率: 10代後半～20代前半の流出率を
男10%、女10%とほぼ現行水準に設定
- 定住増加組数:
現在人口の0.5%分増加(住民200人に1人)

20代前半男女1組(2名)	😊 😊	4組	合計 16組 32人
20代後半女性	😊	4人	
30代子連れ夫婦1組(3名)	😊 😊 😊	4組	
60代定年帰郷夫婦1組(2名)	😊 😊	4組	

①今後の人口
・高齢化率予測

5,000人
前後でほ
ぼ安定へ



②小・中学生
の人口予測

小・中学生数は
回復、安定へ

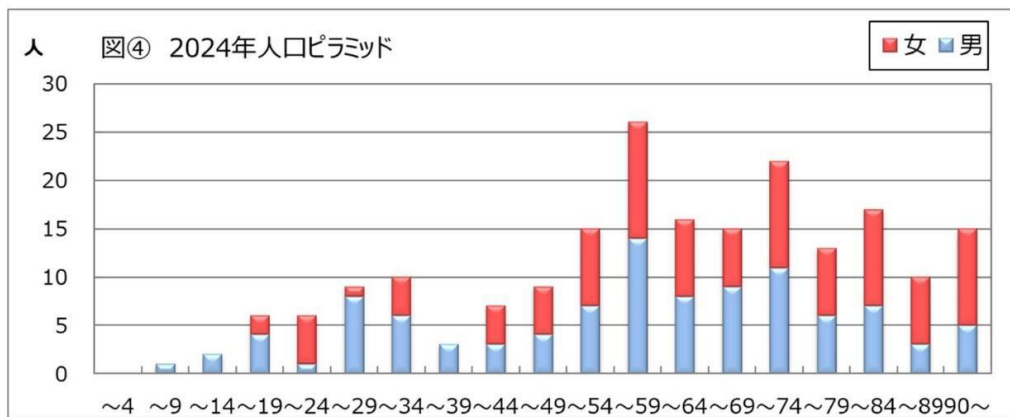


九日町自治会の人口分析

(1)現状分析

①現在の年齢構成

* 2019年・2024年の
住民基本台帳(4月)に基づく

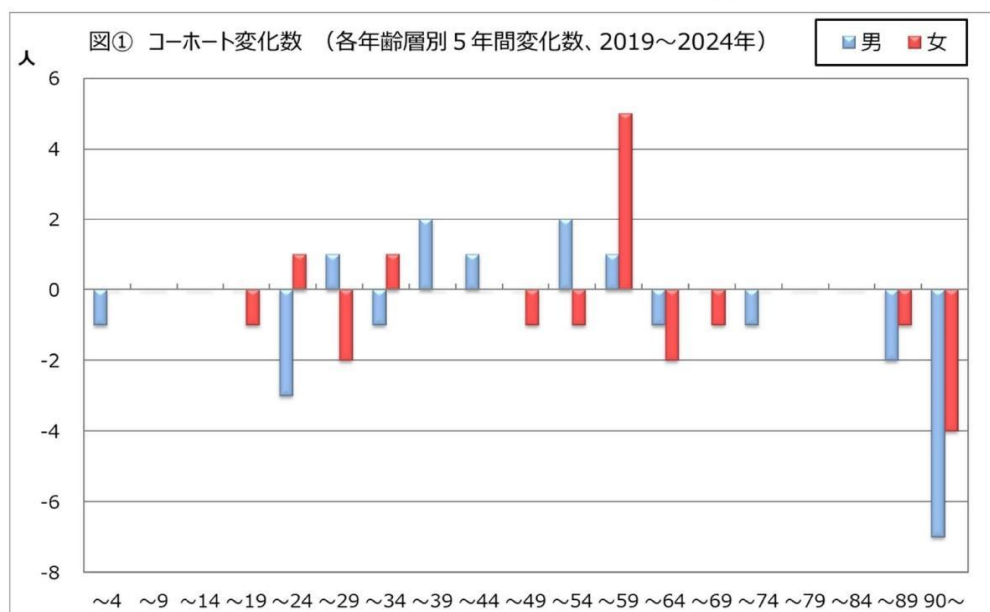


人口202人、高齢化45.5%(75歳以上27.2%)

50代後半が主力世代

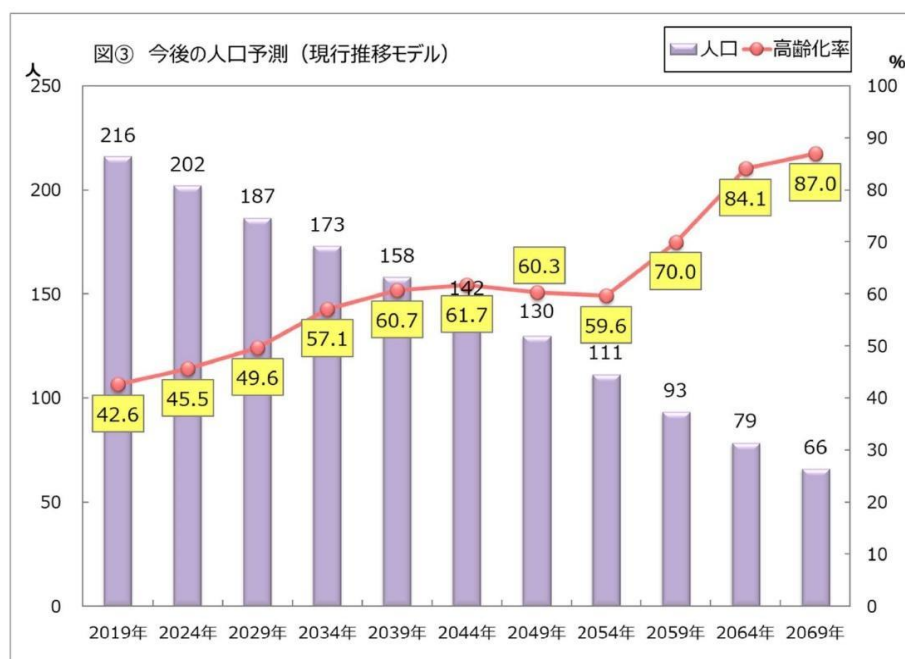
40代以下がかなり少なくなっている。

②年齢階層別の人口増減(流出入)数



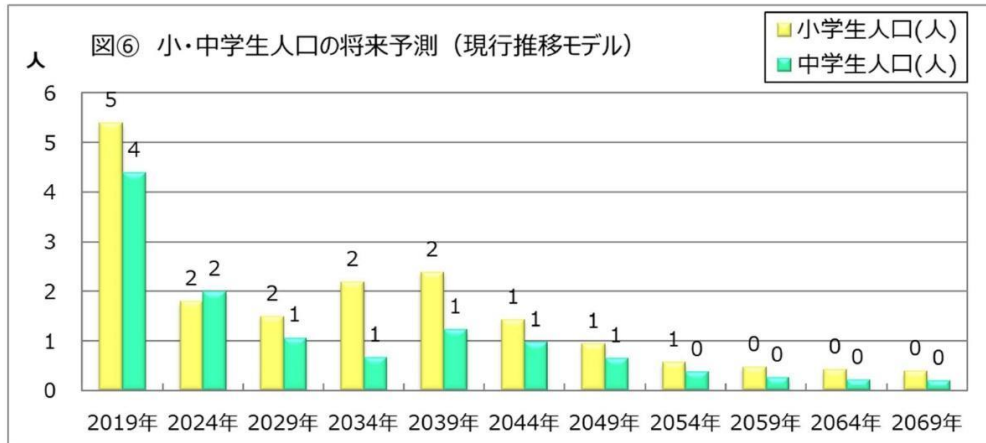
50代後半の女性、30代後半・50代の男性の流入超過が目立つ。

(2) ①現状推移による人口予測 各年代最大3割増等で補正



放置すると、人口の下げ止まりが見えず、高齢化が進行。

②小・中学生の人口予測(現状推移シナリオ)



何もしないでいると
小・中学生数は将来的に0人もあり得る。

(3) 組み合わせ最適シナリオ例

【出生率・流出率・定住増加】の3つを組み合わせ最適シナリオが検討してみる。

●出生率: 現行1.12(地域全体) → 2.00へ段階的向上

●流出率: 10代後半～20代前半の流出率を
男10%、女10%とほぼ現行水準に設定

●定住増加組数:
現在人口の0.4%分増加(住民250人に1人)

10年に1組
or1人を意味します

20代前半男女1組(2名)	😊😊	0.1組	合計 0.4組 0.8人
20代後半女性	😊	0.1人	
30代子連れ夫婦1組(3名)	😊😊😊	0.1組	
60代定年帰郷夫婦1組(2名)	😊😊	0.1組	

①今後の人口
・高齢化率予測

現在の7割弱でほぼ安定へ



②小・中学生の人口予測

小・中学生数は回復、安定へ

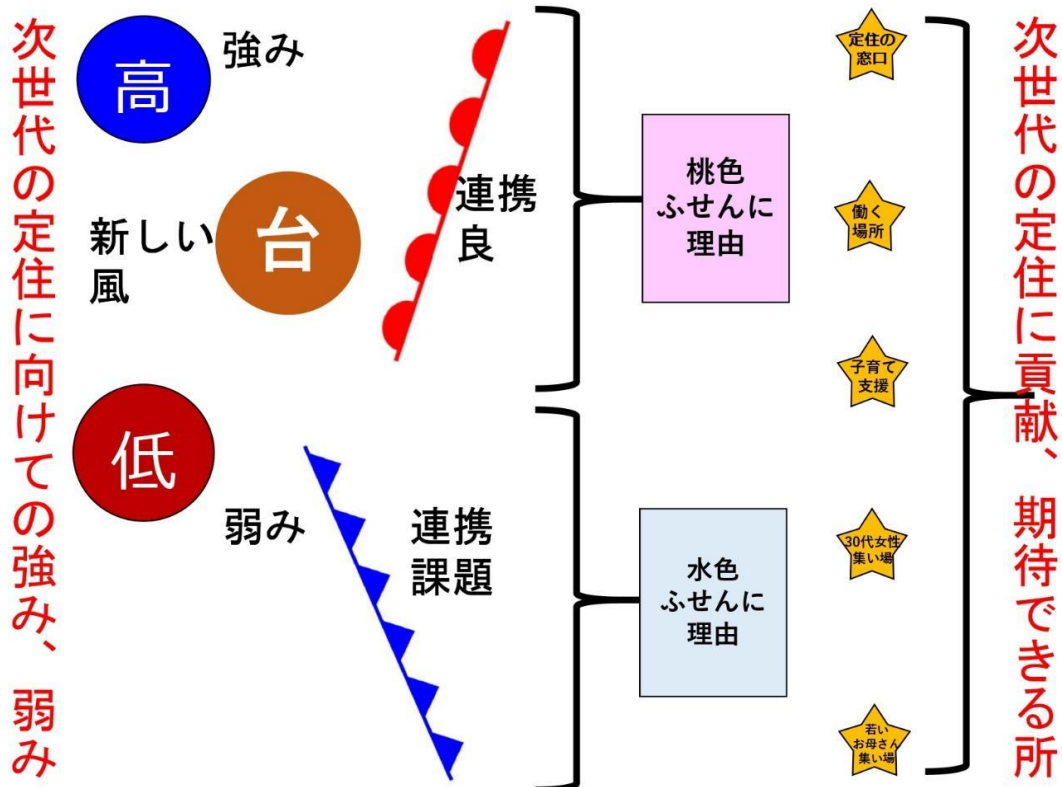


グループワークの様子～熱が入り、立ち上がり、話す



年代別グループの共通点・相違点が明らかになる





発表のしかた「地元天気図」現状編

<4分>

- (1) 一番の強み(高気圧)と弱み(低気圧)
 - (2) 台風(新しい風を吹かす)
 - (3) 温暖前線(連携良)と寒冷前線(連携不足)
 - (4) 取り組み重点＝「3本柱」(黄色付箋)
- ～次世代の定住、起業はここから！～



次回、1月25日（土）ワークショップ「暮らしの手引き」作成

西郷・花水流区 暮らしの手引き



上：彼岸花と耳川 中：コスモスと子どもたち

どんな地区？



こんな地区です

日向市から車で約30分、美郷町の玄関口とも言える地区で、国道327号、耳川沿いにある「花」と「水」に恵まれた地区です。四季折々の花を楽しむことができ、梨、栗、金柑の生産地でもある当地区には栗きんとん販売所やカフェもあります。また町を代表する観光施設「石峠レイクランド」もありウェイクボード体

何人が暮らしている？

人口：129人
世帯：57世帯
高齢化率：49.60%
子どもの数：9人
(2022年5月時点)



地区の人たちからのひと言



区長 / 小野圭一

元氣なベテラン年齢の人々で活気がある花水流です。これからの地域づくりを一緒に少しずつでもどうですか？来て見て、触れてみて、花水流の良いところ感じてください！★何かがある花水流★是非、お越しください。



居住者 / 小村走馬

花水流地区の皆さんは人柄が良いためコミュニケーションが取り易く大変助かりました。公共交通機関が充実していないなど不便なことはありますが、のんびりとした空気が流れるこの地区で充実した生活を送っています。

作成見本例(宮崎県美郷町、花水流区)

暮らしの見え書き

年間行事	集落のメモ	会計
新春 1月 歩こう会 2月 役員選挙 3月 総会 4月 通常総会 5月 会だまり 6月 きのぼり	水曜 ドローン部 7月 盆踊り 9月 盆踊り 10月 かがし行列 11月 花水まつり 12月 小宮ホッパ 神社大祭	●常会 2月、4月 ●組織 花水流公民館 全寿会 子ども会 農用地管理組合
		[必須] 区費 20,000円/年 [任意] 街田祭費 1,000円/年 微路り費 1,000円/年 まつり費 1,000円/年 ほか

困ったことがあれば 移住担当：川口裕之
こちらに連絡！ (携帯 090-5932-)



暮らしを楽しむヒント

地区の暮らし



春/足利 田植えが終わった頃、治道や公園の草刈りなどを行っています。



秋/彼岸花まつり 国道沿いに彼岸花を抽抜しており秋の彼岸に花見を楽しみ親睦を深め



秋/安岩神社大祭 毎年11月に開催し農産物の展示や餅まき、演奏会なども行われ



冬/新春歩こう会 区民のみならず隣省された方も多数参加します。お楽しみ抽選会もあ

地域になじむ暮らしのポイント

1. 毎日ストレッチで健康づくり
2. 地域のルールを守ろう
3. 地区の行事には参加しよう
4. 世代間交流を楽しもう
5. 四季折々の花を咲かせよう



地区の未来のこと

こんな地域を目指しています

私たちのちきせん(地区認定住居地)紹介

全体目標 **みんなで咲かせる 明るく住みよい地域**

3本柱

- ・情報SNSで知ってもらう
- ・人と人との交流
- ・核となる新しい集会所の利用

地区の色と漢字

色：「紅」
花水流を代表する花「彼岸花」のカラー

漢字：「花」
花水流地区を「花」いっぱい

ちきせんとは？ 令和2年より町内24区が地区別に名称をたて、人口減少をとめるための地域衰の活動を行っている。

地元にある組織、団体の紹介



■ ワークショップの実際の様子



2. 「暮らしの手引き」づくりの話し合い

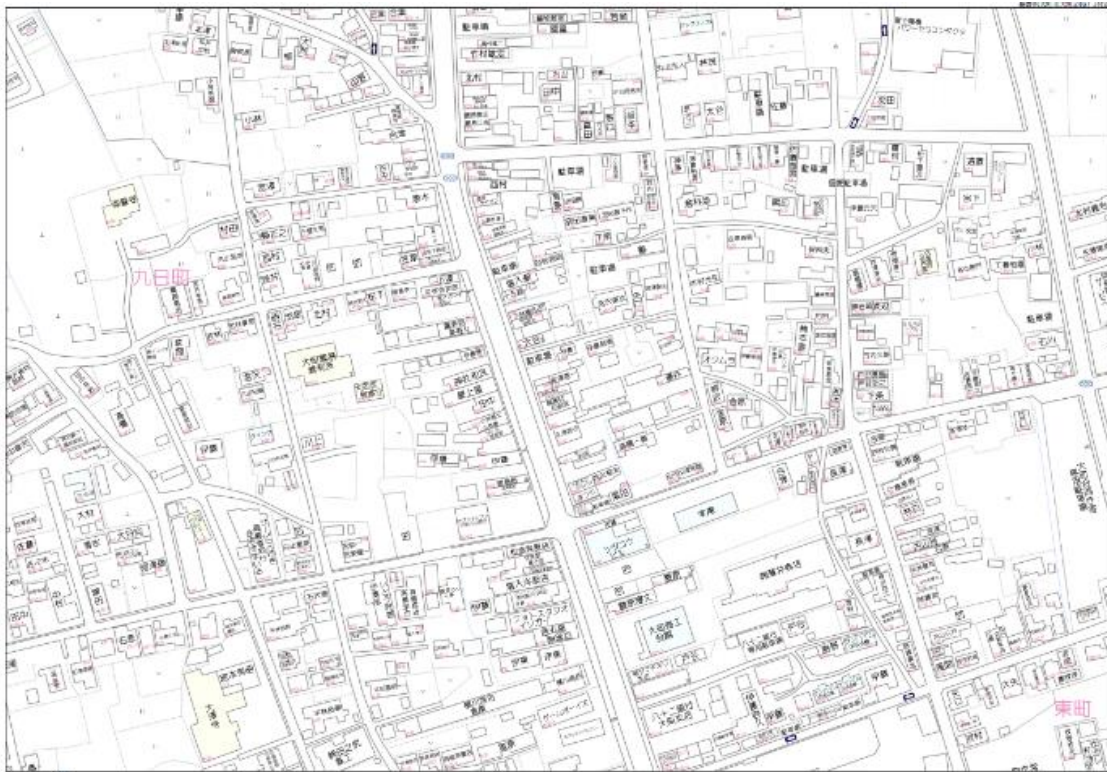
- 日時 2025年1月25日(土) 15:00～17:30
- 場所 大町市商工会議所2階多目的ホール
- 参加者 九日町自治会：20名
大町市：3名
持続地域総研：2名(藤山所長、菅原研究員)

- 概要 これから新たに定住される方を想定して、町内会の概要や基本的な決まり、行事などをわかりやすくお伝えする「暮らしの手引き(ガイド)」を検討。あらかじめお聞きした内容やいただいた写真等を準備して、みんなですべてまとめている。

- 内容 15:00～ 趣旨説明、前回ワークショップの報告、話し合いの進め方説明
15:10～ グループワーク1：地図に自治会の境界線と1～3丁目の境界線を記入
15:30～ グループワーク2：「暮らしのガイド」たたき台の上に加筆や修正
16:30～ グループごとに成果発表
17:00～ まとめ、次回の予告

■配布資料①

九日町住宅地図：A0サイズに印刷してグループごとに準備



■配布資料③「くらしのガイド」見本（益子町上大羽自治会編）

くらしのガイド

上大羽自治会編

益子町のこのあたりです！
（上大羽に在り、3ヶ所を拡大した3地区が、拡大図の赤色の線で示した）

データ

※令和6年4月30日現在の住民基本台帳

地区の住民数：192世帯 461人
4組 15 世帯あります（各組6～12戸）
自治会費（月別賦込み）：12,000円/年
入会費：なし
学校区：益子小学校 ※スクールバスあり
益子中学校 ※尾羽の歴史資料館から約5km（徒歩15分）
消防団：第1分団第6部 ※町内の上羽
※ゴミステーションの利用は、原前自治会加入者のみ。減額は各所々で異なります。
本町庁舎と土曜日に、自治会でネットボールと新聞、ダンボールを回収しています。

- コスメーション
- わさばりスーパー（令和6年7月開店）
※開店までの準備中により、備中社と仮称の名称が予定。詳細は、自治会費を管理するまで（0295-72-0807）
- スクールバス、バス等（2台目）※大羽2-3
1:大羽1 2:益子橋 3:学校前
- スクールバス、バス等（備中）※大羽2-1
4:橋本橋 5:ハラ工場

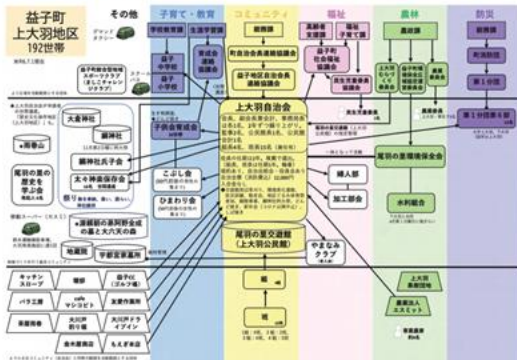


地区のくらし ～上大羽の一年～

- 4月 自治会役員総会、第1回役員会
- 5月 町内一斉の環境美化運動、尾羽の歴史資料館周辺草刈り
- 6月 尾羽の歴史資料館周辺草刈り
- 7月 尾羽の歴史資料館周辺草刈り
- 8月 第2回役員会、環境美化作業（自治会自主）、尾羽の歴史資料館周辺草刈り、町防災訓練
- 9月 第3回役員会、尾羽の歴史資料館周辺草刈り、敬老会
- 10月 中部地区ぐるみ体育祭参加、町内一斉の環境美化運動、教員懇話会（グラウンドゴルフの部大会、芋煮会）
- 11月 精神社秋大祭、第4回役員会
- 12月 どんど焼き準備
- 1月 新盆会、どんど焼き
- 2月 しば焼き（日程は町が決定）、第5回役員会
- 3月



地区にある組織、団体の紹介



地区の皆さんからひと言

困ったことがあれば、自治会長さんに聞いてみよう！
※自治会長さんの連絡先については、益子町役場総合窓口までお問い合わせください。



「くらしのガイド～上大羽自治会編～」 企画・制作：益子町情報戦略推進課（TEL 0295-72-0803） 発行6（2024）年8月1日発行

大町市の定住と起業を実現するために！

令和6年度大町市人口分析定住促進業成果報告会

是非、ご参加ください！

本年度は、大町駅周辺の中心市街地を中心に、次世代の定住や起業に向けての調査や話し合いを展開しました。

この1年間で積み上げた成果や他の自治体からの事例紹介を交えて、これから大町市で定住と起業を実現していく手立てを具体的に考えていきたいと思います。

ぜひ一緒に、未来に踏み出す一歩を考えてみませんか！



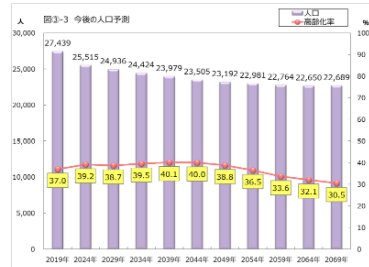
一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩

日時：2025年3月16日（日）
午後2時～午後時
場所：大町公民館分室2階講堂

1. 講演「大町市の人口分析と全国の成功事例」

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩

大町市全体と中心市街地の最新の人口分析結果を報告し、具体的な安定化シナリオを提案します。また、全国の自治体で定住や起業について成果を挙げている成功事例を数多く紹介します。



<大町市の人口安定化シナリオの一例>

2. 取り組み発表「次世代定住に向けた地元天気図と暮らしの手引き」

九日町自治会のみなさま

次世代の実現をより具体的に進めていくために、地元の強みや弱みを天気図風にわかりやすくまとめていく「地元天気図ワークショップ」に取り組んでいただきました。また、地域の暮らしをわかりやすく紹介する「暮らしの手引き」も試作しました。



<九日町自治会での話し合いの様子>

3. 事例紹介「広島県三次市女性活躍プラットフォーム「アシスタb」

㈱ソアラサービス 岩本かさね さま

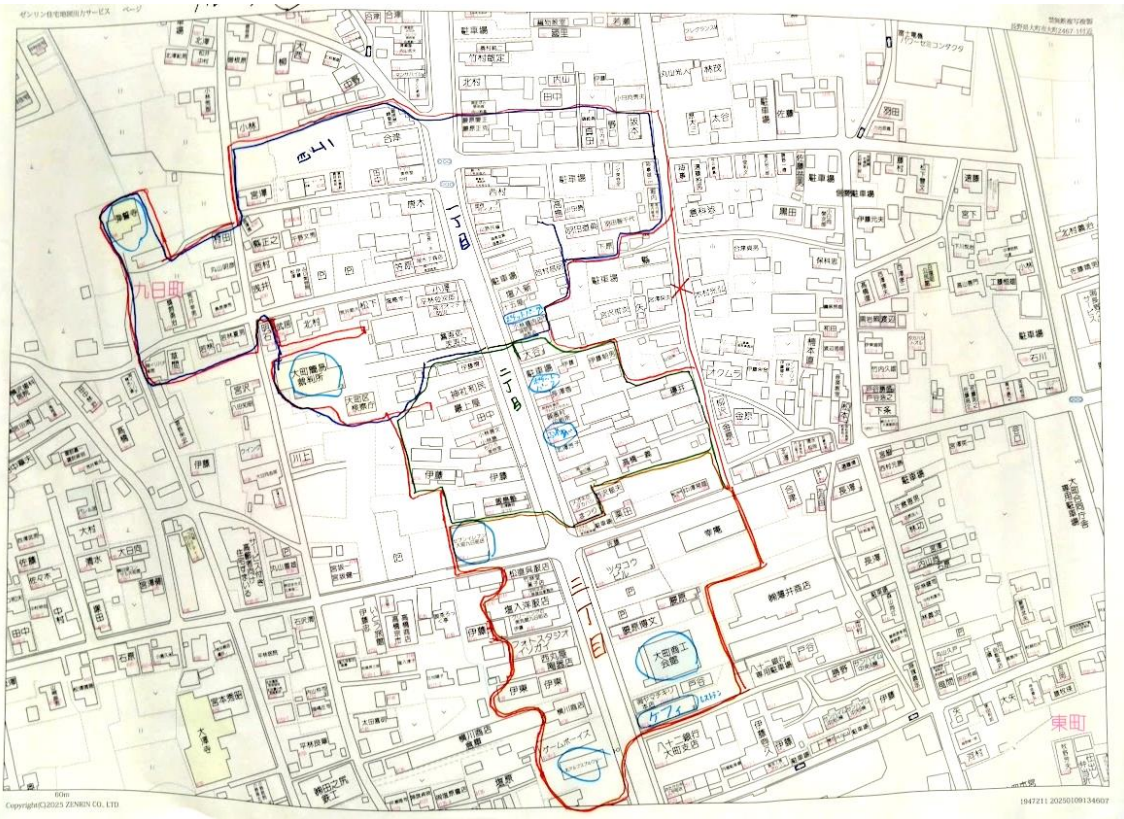
広島県三次市では、起業を目指す女性を対象に、女性活躍プラットフォーム「アシスタb」を整備し、市内の幅広い起業を考え実現している女性たちの支援やネットワーク化（＝「みよしアントレヌ」）を進め、全国的に注目されています。



<まちづくりセンター内のアシスタb>

実施主体・ 大町市役所総務部企画財政課企画調整係
お問い合わせ 担当 阪井 昭啓 TEL：0261-22-0420（内線521）

■ 成果物
【グループ1】 (6名)



くらしのガイド

九日町自治会編

データ

- 地区の住民数: XXX世帯 XXX人
- 4区から成ります。
- 1丁目: 1区 4区 23戸, 1丁目2区: 3区 13戸, 2丁目: 2区 11戸, 3丁目: 2区 11戸
- 自治会費: 5,000円/年 (前期3,000円, 後期2,000円)
- 自主防犯費: 500円/年
- 入会金: なし
- ※祭典費は自治会費とは別添 14,000円/年
- 学校区: 大町南小学校
- 大町中学校 ※大町南1区と南2区が約1.5kmの距離です。

九日町のスポット

地区のくらし ~九日町の一年~

1月	自治会定期総会 (南工芸館多目的ホール)
2月	あけしめ 市科祭
3月	春の一般清掃
4月	春の地域交通安全運動、あいさつ運動、ふれあい祭り、お花見
5月	山崎祭り
6月	夏祭り(お盆前)
7月	地域環境美化活動、若王子神社祭典
8月	お盆(お盆前) 舟のたまり
9月	地域環境美化活動、大町地区若者会主催、くらしの祭典、お花見
10月	霜月(お盆) 交流、お花見、お盆
11月	秋の一般清掃、お盆
12月	自治会役員、関係自治会主催 (南工芸館多目的ホール) 在来の交通安全運動、自治会役員選挙

- 上記の日が、自治会行事に重複の場合は、(古紙、アルミ)を行って頂きます。
- 自治会公民館費としてバス旅行を計画しています。詳細は決まり次第お知らせいたします。

地区にある組織、団体の紹介

地元関係図

地区の皆さんから一言

困ったことがあるれば、自治会皆さんに聞いてみよう!

※自治会費の滞りなく納付して頂くと、大町南1区・2区・3区・4区・5区・6区・7区・8区・9区・10区・11区・12区・13区・14区・15区・16区・17区・18区・19区・20区・21区・22区・23区・24区・25区・26区・27区・28区・29区・30区・31区・32区・33区・34区・35区・36区・37区・38区・39区・40区・41区・42区・43区・44区・45区・46区・47区・48区・49区・50区・51区・52区・53区・54区・55区・56区・57区・58区・59区・60区・61区・62区・63区・64区・65区・66区・67区・68区・69区・70区・71区・72区・73区・74区・75区・76区・77区・78区・79区・80区・81区・82区・83区・84区・85区・86区・87区・88区・89区・90区・91区・92区・93区・94区・95区・96区・97区・98区・99区・100区・101区・102区・103区・104区・105区・106区・107区・108区・109区・110区・111区・112区・113区・114区・115区・116区・117区・118区・119区・120区・121区・122区・123区・124区・125区・126区・127区・128区・129区・130区・131区・132区・133区・134区・135区・136区・137区・138区・139区・140区・141区・142区・143区・144区・145区・146区・147区・148区・149区・150区・151区・152区・153区・154区・155区・156区・157区・158区・159区・160区・161区・162区・163区・164区・165区・166区・167区・168区・169区・170区・171区・172区・173区・174区・175区・176区・177区・178区・179区・180区・181区・182区・183区・184区・185区・186区・187区・188区・189区・190区・191区・192区・193区・194区・195区・196区・197区・198区・199区・200区・201区・202区・203区・204区・205区・206区・207区・208区・209区・210区・211区・212区・213区・214区・215区・216区・217区・218区・219区・220区・221区・222区・223区・224区・225区・226区・227区・228区・229区・230区・231区・232区・233区・234区・235区・236区・237区・238区・239区・240区・241区・242区・243区・244区・245区・246区・247区・248区・249区・250区・251区・252区・253区・254区・255区・256区・257区・258区・259区・260区・261区・262区・263区・264区・265区・266区・267区・268区・269区・270区・271区・272区・273区・274区・275区・276区・277区・278区・279区・280区・281区・282区・283区・284区・285区・286区・287区・288区・289区・290区・291区・292区・293区・294区・295区・296区・297区・298区・299区・300区・301区・302区・303区・304区・305区・306区・307区・308区・309区・310区・311区・312区・313区・314区・315区・316区・317区・318区・319区・320区・321区・322区・323区・324区・325区・326区・327区・328区・329区・330区・331区・332区・333区・334区・335区・336区・337区・338区・339区・340区・341区・342区・343区・344区・345区・346区・347区・348区・349区・350区・351区・352区・353区・354区・355区・356区・357区・358区・359区・360区・361区・362区・363区・364区・365区・366区・367区・368区・369区・370区・371区・372区・373区・374区・375区・376区・377区・378区・379区・380区・381区・382区・383区・384区・385区・386区・387区・388区・389区・390区・391区・392区・393区・394区・395区・396区・397区・398区・399区・400区・401区・402区・403区・404区・405区・406区・407区・408区・409区・410区・411区・412区・413区・414区・415区・416区・417区・418区・419区・420区・421区・422区・423区・424区・425区・426区・427区・428区・429区・430区・431区・432区・433区・434区・435区・436区・437区・438区・439区・440区・441区・442区・443区・444区・445区・446区・447区・448区・449区・450区・451区・452区・453区・454区・455区・456区・457区・458区・459区・460区・461区・462区・463区・464区・465区・466区・467区・468区・469区・470区・471区・472区・473区・474区・475区・476区・477区・478区・479区・480区・481区・482区・483区・484区・485区・486区・487区・488区・489区・490区・491区・492区・493区・494区・495区・496区・497区・498区・499区・500区・501区・502区・503区・504区・505区・506区・507区・508区・509区・510区・511区・512区・513区・514区・515区・516区・517区・518区・519区・520区・521区・522区・523区・524区・525区・526区・527区・528区・529区・530区・531区・532区・533区・534区・535区・536区・537区・538区・539区・540区・541区・542区・543区・544区・545区・546区・547区・548区・549区・550区・551区・552区・553区・554区・555区・556区・557区・558区・559区・560区・561区・562区・563区・564区・565区・566区・567区・568区・569区・570区・571区・572区・573区・574区・575区・576区・577区・578区・579区・580区・581区・582区・583区・584区・585区・586区・587区・588区・589区・590区・591区・592区・593区・594区・595区・596区・597区・598区・599区・600区・601区・602区・603区・604区・605区・606区・607区・608区・609区・610区・611区・612区・613区・614区・615区・616区・617区・618区・619区・620区・621区・622区・623区・624区・625区・626区・627区・628区・629区・630区・631区・632区・633区・634区・635区・636区・637区・638区・639区・640区・641区・642区・643区・644区・645区・646区・647区・648区・649区・650区・651区・652区・653区・654区・655区・656区・657区・658区・659区・660区・661区・662区・663区・664区・665区・666区・667区・668区・669区・670区・671区・672区・673区・674区・675区・676区・677区・678区・679区・680区・681区・682区・683区・684区・685区・686区・687区・688区・689区・690区・691区・692区・693区・694区・695区・696区・697区・698区・699区・700区・701区・702区・703区・704区・705区・706区・707区・708区・709区・710区・711区・712区・713区・714区・715区・716区・717区・718区・719区・720区・721区・722区・723区・724区・725区・726区・727区・728区・729区・730区・731区・732区・733区・734区・735区・736区・737区・738区・739区・740区・741区・742区・743区・744区・745区・746区・747区・748区・749区・750区・751区・752区・753区・754区・755区・756区・757区・758区・759区・760区・761区・762区・763区・764区・765区・766区・767区・768区・769区・770区・771区・772区・773区・774区・775区・776区・777区・778区・779区・780区・781区・782区・783区・784区・785区・786区・787区・788区・789区・790区・791区・792区・793区・794区・795区・796区・797区・798区・799区・800区・801区・802区・803区・804区・805区・806区・807区・808区・809区・810区・811区・812区・813区・814区・815区・816区・817区・818区・819区・820区・821区・822区・823区・824区・825区・826区・827区・828区・829区・830区・831区・832区・833区・834区・835区・836区・837区・838区・839区・840区・841区・842区・843区・844区・845区・846区・847区・848区・849区・850区・851区・852区・853区・854区・855区・856区・857区・858区・859区・860区・861区・862区・863区・864区・865区・866区・867区・868区・869区・870区・871区・872区・873区・874区・875区・876区・877区・878区・879区・880区・881区・882区・883区・884区・885区・886区・887区・888区・889区・890区・891区・892区・893区・894区・895区・896区・897区・898区・899区・900区・901区・902区・903区・904区・905区・906区・907区・908区・909区・910区・911区・912区・913区・914区・915区・916区・917区・918区・919区・920区・921区・922区・923区・924区・925区・926区・927区・928区・929区・930区・931区・932区・933区・934区・935区・936区・937区・938区・939区・940区・941区・942区・943区・944区・945区・946区・947区・948区・949区・950区・951区・952区・953区・954区・955区・956区・957区・958区・959区・960区・961区・962区・963区・964区・965区・966区・967区・968区・969区・970区・971区・972区・973区・974区・975区・976区・977区・978区・979区・980区・981区・982区・983区・984区・985区・986区・987区・988区・989区・990区・991区・992区・993区・994区・995区・996区・997区・998区・999区・1000区

【グループ1 発表概要】

九日町地区の暮らしについて、年間行事をご紹介します。

1月には自治会総会があり、どんと焼きも行われます。2月はあめ市が開催され、市神様のお祭りがふれあいセンターで行われます。3月は春の一斉清掃が行われ、4月には春の全国交通安全運動とあいさつ運動、大町市全体で山開き、アルペンルートの開通、大町公園でのさくら祭りが行われます。5月には山菜採りの時期を迎え、6月には慎太郎祭と山開きが行われます。7月には若一王子神社の祭典があり、大町が一年で最も賑やかになる時期です。8月には、やまびこ祭りとうかた祭りが開催されます。9月には秋の全国交通安全運動、あいさつ運動、地域環境美化活動、大町地区敬老会、竈神社の祭典と花火大会が行われます。10月には三世代交流の旅行が再開され、アルプスマラソン大会もあります。11月には秋の一斉清掃と恵比寿講が行われ、12月には隣組長合同会議や年末の交通安全運動が行われています。

【藤山コメント】

Q: やまびこ祭りとは、どんなお祭りですか。

A: 40年以上続く市民総参加の踊りのお祭りで、やまびこ音頭に合わせて踊りながら、中央通りを練り歩きます。夏のお盆の時期で、故郷を離れた方もみんな戻ってくるので、この時期に開催されています。



【グループ2 発表概要】

グループ1の発表に含まれていなかった内容を中心に発表します。1月には宮田町の「どんと焼き」に参加し、2月にはあめ市が行われ、市神様のお社を若一王子神社から九日町に移して祀ります。5月には農具川のあやめ祭りや芝桜、塩の道祭りがあります。6月には慎太郎祭、7月には若王子神社のお祭りがあり、8月には木崎湖の花火大会とやまびこ祭り、秋葉神社と市神様の例祭も行われます。9月には竈神社の例祭で花火大会も開催されます。10月には若一王子神社と霊松寺のライトアップが行われます。それから、今年の4月からは第一土曜日に資源ごみの回収がはじまりました。昨年からは9月に「北アルプスの呑み歩き」をやっています。大町の三つの酒蔵を巡るイベントです。

九日町の代表的な写真としては、宮田町のどんと焼き、若一王子神社のお祭りの舞台、流鏝馬、やまびこ祭り、三蔵呑み歩き、公民館事業のバス旅行。それから環境美化活動の6つ。お祭りばかりやっていると見られても困るので、こういう真面目なこともやっている、みんなで清掃もしているというのは入れていただきたいという話になりました。

【藤山コメント】

Q：北アルプス呑み歩きとはどんな催しですか。

A：3,000円で購入したお猪口を持って大町市内の3つの酒蔵を巡り、様々な種類の日本酒を試飲するイベントです。九日町の薄井商店さん（白馬錦の蔵元）が参加しており、また去年からは北アルプスブルワリーも参加し、ビールも楽しめます。



【グループ3】 (7名)



くらしのガイド

九日町自治会編

データ

- 地区の住民数: XXX世帯 XXX人
- 4組から成ります。
- (1丁目1班: 4組23戸, 1丁目2班: 3組13戸, 2丁目: 2組11戸, 3丁目: 2組11戸)
- 自治費: 5,000円/年 (前期3,000円, 後期2,000円)
- 自主防災費: 500円/年
- 入会金: なし
- 年間会費は自治費とは別添14,000円/年
- 中学校: 大町中学校
- 大町中学校 ※大町地区の通学区域は約1.5km (北北東向き)

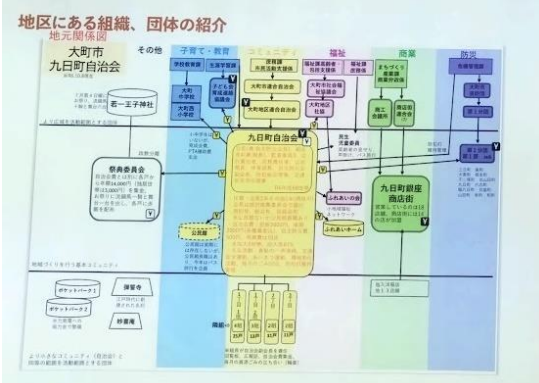
九日町のスポット

地区のくらし ~九日町の一年~

1月	自治会定例会 (職工会館多目的ホール)		
2月	あけびや科祭		
3月	春の一日清掃		
4月	春の空想の交通安全運動、あひなつ運動 (あひなつ運動はあひなつ運動会)		
5月	山姥祭り		
6月	湯けり祭 (山姥)		
7月	町域環境美化活動 老玉神社祭典		
8月	伊はび祭り (あけびや)		
9月	地域環境美化活動 大町地区新緑の森の秋の祭典 秋の交通安全運動、あひなつ運動		
10月	節内日時代交流 フェアーズフェス		
11月	秋の一日清掃 エキバツ		
12月	自治会総会、福祉総合協議会 (職工会館多目的ホール) 年末の交通安全運動、あひなつ運動		

●上記のほか、毎月第1日曜日に賛助会費回収 (お返し、アネキ) を行っています。

●自治会活動行事として1日1頁を計画しています。詳細は完全発表後となります。



地区の皆さんから一言

若一王子神社のお祭り

困ったことがあれば、自治会長さんに聞いてみよう!

自治会長の皆様から一言 (お返し、アネキ) を行っています。

【グループ3 発表概要】

2 グループの発表内容を踏まえ、次世代定住に向けて地元の紹介を補足します。あめ市や荷車市、慎太郎祭り、若一王子神社のお祭り、やまびこ祭りなどはこちらのグループでも挙げられました。昔は中学卒業のお祝い会も行われていました。アルプスマラソンや恵比寿講、荷車市も大事だという話になりました。

写真については、祭りの様子だけでなく、九日町に定住を考えている方には竈神社の花火の景色もおすすめできます。セブンイレブン越しに見える花火など、おもしろい写真も良いでしょうし、お祭りの舞台の写真だけでなく流鏝馬や三世代交流の写真も追加してほしいという意見が出ました。

【藤山コメント】

Q：慎太郎祭りとはどんなお祭りですか？

A：大町に住んでいた山の案内人、百瀬慎太郎の業績を讃えるとともに、北アルプスの山開きを告げます。百瀬慎太郎は日本で初めて登山案内人組合を設立した地域の偉人で、このお祭りは60年以上続いています。



■塩入会長おすすめの6枚の写真の説明

1, お祭りの舞台巡行: 夏に行われる若一王子神社のお祭りの舞台巡行の様子。安珍清姫の舞台に九日町の提灯が飾られていて、九日町の屋台だと分かります。



2, 流鏝馬: 正装したばぼさんを乗せて町内を行くところ。観客が少ないのは、まだ祭りが始まる前の時間帯に町内を少し回っているところだからです。馬には九日町と書かれているのが分かります。



3, 商工会議所から見た北アルプスの山並み: 商工会議所の2階から見た北アルプスの山々。今年の1月20日に撮影しました。九日町からはこんな素晴らしい景色が望めます。



4, 三世代交流バスハイク: 昨年10月26日、コロナ以降3年ぶりに実施された、九日町の三世代交流バスハイクの記念写真。みんなで赤沢自然休養林に行きました。



5, 大町簡易裁判所と長野家庭裁判所大町出張所: 九日町には国の施設もあります、地元の人でも中に入ったことのない方もいるかもしれませんが、一応、紹介します。



6, 商店街一望: 今年1月23日に本通りの道路の真ん中で撮影した写真。本通り沿いに九日町商店街が続いている様子がよくわかります。



【まとめ・ご挨拶】

■塩入会長ご挨拶

1月末の忙しい時期にも関わらず、大勢の方に集まっていただき、本当にありがとうございます。皆さんの熱心なご参加のおかげで、スムーズに進行できました。前回今回と活発な意見交換ができたことを嬉しく思います。研究所で綺麗にまとめていただいたものを後日お見せし、再度ご意見を伺いたいと思います。この取り組みは九日町が大町市で初めての取り組みとなりますので、ぜひ成功させたいと考えています。これからもご理解とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

■市役所ご挨拶

お忙しい中お集まりいただき、また本当に熱心にグループワークにご参加いただき、ありがとうございます。今回、九日町の自治会の皆様にご協力いただいて作成する「くらしのガイド」につきましては、次年度にも新たな自治会を選定し、九日町をモデルとして実施したいと考えています。また、3月16日には九日町の発表も含めた研修会を計画しておりますので、皆様方にはぜひ参加いただければと思います。

これは最終的には定住移住政策の展開につなげていくものです。市役所は仕組みを構築する役割を持ちますが、住んでみたい、住み続けたいと思える自治会を作るのは皆様方です。今後ともご協力をお願いしたいと思います。

■持続研藤山まとめ

今日は3グループに分かれてグループワークと発表を行いました。多くの意見が共通しており、四季折々のお祭りだけでなく清掃、資源回収なども重要性が再確認されました。そして皆さんの活動の熱心さには私自身本当に感心させられました。私が住む集落ではこれほどの行事はありません。暮らしの中にある行事の大切さを実感しました。また、写真も多数提供いただきました。他の地区の参考にもなると考えていますので、前回のワークショップも含めてしっかりとまとめたいと考えています。情報の追加や修正は、追って、塩入会長経由で確認いたしますので、ご意見をお寄せください。最終的には「九日町版くらしのガイド」として3月16日に発表します。九日町の方にもお二方にご発表いただく予定です。詳細は配布したチラシをご覧ください。

2回に渡りワークショップにご参加ご協力いただきまして本当にありがとうございました。



Ⅱ 起業支援プログラムの検討

1. 現状ヒアリングと課題集約

(1) 起業支援の取り組み：市役所

2024年6月27日 市役所にてヒアリング調査

【大町市起業支援補助金交付要綱に基づく補助制度】

- ・対象：起業後3年以上、市内において補助事業を継続する者、補助金の請求までに市内に住民登録をし、かつ、起業後3年以上居住する者
- ・補助金額：100万円限度（起業に不可欠な設備費及び備品費等、企業にかかる経費の1/2以内）
- ※八坂・美麻地区又は中心市街地活性化基本計画に定められた区域で起業する者：上限25万円の加算あり
- ※他の市町村からの転入者：上限25万円の加算あり

(2) 起業支援の取り組み：商工会議所

2024年7月10日 大町商工会議所にてヒアリング

【創業塾について】

- ・6月～7月の土曜日9時～5時、全5回コースで開講。R6年は非常に人気があり25人が参加
- ・対象は創業希望者、既に創業した方、30代～40代が中心、女性の方が多い
- ・コロナ後は、リモートワーク・Wワークの流れが進み、若い方の参加が増加
- ・白馬や松本、諏訪の創業塾は有料だが、大町は無料

【起業の傾向】

- ・以前はこれまでの経験を生かした起業が多かったが、今は自分で新しく何かやりたいという方が増加
- ・最近では移住者も増えてきて、UターンよりもIターンが目立つ

【飲食店のニーズ増加】

- ・駅前にホテルができて、夕食のニーズが増加。大町温泉郷も最近では泊食分離を進めている
- ・本年6月まで受けた創業相談のうち、15件は飲食店を希望。中心市街地で起業する場合、補助金の加算があるので希望者が多いが、大家さんとの問題でなかなか成約しない。ニーズはすごくあるのに、とてももったいない。

※創業相談は年間を通じて随時受け付けている

(3) 起業の実例 ①ぶぶ一級建築士事務所

2024年7月10日 ぶぶ一級建築士事務所 松本昌也氏にヒアリング

松本氏の来歴

- 大町で高校卒業後、上京し建築設計の資格取得後、東京で就職・結婚。35歳のとき、大町に里帰り出産した妻に東京に帰りたくないと言われ、大町に移住を決断。東京の会社からは慰留され、在宅勤務とWワークで大町駅前に事務所を開業。
- 会社では福祉施設のような大きな施設の施工管理を行い、大町では俵屋飯店をはじめ個人住宅など小さめのものを手掛けている。

都会と田舎の違い

- 大町は自然豊かで水がきれいで素晴らしい町だが、ずっとそこに住んでいる人はその魅力に気付いていないことが多い。都会がスタンダードと思いつむ傾向あり。

大町の古い建物の再利用が進まない理由

- ハード面では、高度成長期に建てられた建物は、見た目だけ良くても内実は質の悪い建物が多く、再利用が難しい。「わちがい」のような明治時代の建物は良質な木材を使用しており、現代でも十分使えるが、昭和の建物は早く育ち耐久性には欠ける材を使っている。
- ソフト面では、建物の奥にまだご老人が住んでいる場合が多く、再利用が進まない。

古い建物を利用した取り組み

- 上仲町の「庵寓舎」は昭和40年代の建物を取り壊し、門だけを残して新たに建設。大町の良さを活かした回遊コースの提案がある。

女性の人口流出について

- 20代～30代の女性の流出率が高いのは仕事の問題よりも、戻ってこないことが問題。Uターン促進が課題。

商店街の建物を住居として活用する方法

- 質の悪い古い建物の解体支援が必要。戦前に建てられた蔵を活用するには建築基準法の問題があるが、蔵は魅力が高い。



(4) 起業の実例 ②手作りベーグルの店 noe

2024年7月10日 手作りベーグルの店 noe 店主 相馬 のえ氏 にヒアリング

相馬氏の来歴

- 高校卒業後、東京の製菓調理専門学校、神奈川・軽井沢・松本でパン屋やホテル勤務。
- 大町に帰り、派遣会社で働きつつ自宅でパンを焼きながら過ごす。
- 商工会議所の創業塾に参加し、2022年1月に「手づくりベーグルの店 noe」開業。

創業塾での学びと実地経験

- 白馬での販売経験、創業塾での仲間との繋がりが大きな支えに。
- ロゴデザインや建築業者、融資などを創業塾で繋がった人々に支援してもらう。
- 創業塾同期は約20人、開業後も横の繋がりを広げる。

地元中学生・高校生との繋がり

- 高校時代は起業に関心がなかったが、今は文化祭への出店など繋がりができている。
- 大町中学校園芸部と共同で栽培した小麦でベーグルを作り、販売する予定。

ベーグルを通じたファンとの出会い

- ベーグルに絞ったことでお店の特徴が出せた。
- スキー場や商店街のチャレンジショップでファンを獲得し、たくさんの応援を頂いた。
- 市内外のイベントにも積極的に出店。

起業のハードル

- 起業に対して特にハードルを感じなかったが、若さゆえに舐められることもあった。
- 数字の確認やスケジュール調整が大変だった。

鍛えられた心の筋肉

- パン屋勤務時代にしんどい思いをした経験が心の筋肉を鍛え、困難を乗り越えた。
- 人との繋がりが心の支えになる。自分も後進の起業希望者を応援し、相談に乗りたい。

成功の秘訣は三つの技術

1. ベーグルを焼く技術：独学で習得。
2. お金：派遣会社での勤務経験が役立った。
3. 人脈：創業塾OBやネットワークの力。

Uターン者として思うこと

- 大町の自然や暮らしやすさを再認識。
- 移住者の方がパワフルで頑張っていると感じる。

後進に向けて、高校卒業までに経験しておいた方がいいと思うこと

- 大人との関わりや社会経験が将来の可能性を広げる。
- 自分は吹奏楽団や、アルバイトの経験がとても役に立った。

将来の希望、展望

- 大町市内の商店街に、お惣菜店が欲しい。
- 横の繋がりを強化し、大町全体の盛り上がりを目指したい。



(5) 起業の実例 ③北アルプスブルワリー

2024年7月10日 (株)北アルプスブルワリー 成沢隼人氏にヒアリング

創業のきっかけ

- 現在はカナダに在住する代表者から、大町の美味しい水でビールを作ったら絶対に美味しいと提案を受け、1年をかけてビール醸造技術を学び、設備を準備し、開業。

ビールは水が命

- 20~30年かけてろ過された大町の天然の湧水で作ったビールは美味しいと自信を持っている。サントリーの天然水工場がある、大町の水は超軟水で、ラガーが最適。

商店街にブルワリーを建てた理由

- 山の方に建てる選択肢もあったが、地域密着を重視。平成の大火事で広く焼失し更地になっていたところを、賑わい創出のためにと、地主に提供していただいた。

ブルワリーの客層

- 客層は主に観光客。ルートインや白馬から来る。年会費1万円のマグメンバーズクラブ制度も導入。東京のビアフェスや白馬の音楽フェスなどにも出店。

実際は卸売りがメイン

- 販売のメインは卸売り。冬場の白馬スキー場のホテルが主要な売り上げ源。外国人のビール消費量は日本人の倍以上。

生産量は右肩上がり

- コロナ禍にスタートし、生産量は右肩上がり。設備はフル稼働で年間5万リットル生産。

創業支援について

- 創業時、代表者が大きく出資してくれたので資金は困らなかった。大町には起業支援を行う会社やNPO法人も少しある。

中心市街地の活性化について

- 市が旗振りして駅前を全部再開発し、商業特区のようなものを作ってみたらどうか
- 大町名店街のノスタルジックな雰囲気が人気を呼んでいる。うちも1軒店を出しているが、最近は若者の起業意欲が高い。

居住誘導区域について

- 商店街のシャッターを下ろした店の奥に住んでいる人がいるため、新規入居が難しい。

観光との連携について

- 市内の宿泊機能がもっと充実してほしい。白馬では急激にインバウンドが増加し、大変なことになっている。地価上昇に伴う影響も出ているようだ。



(6) 課題の集約

【中心市街地における起業の課題】

- 中心市街地で起業する場合、補助金の加算があるので希望者が多いが、大家さんとの問題でなかなか成約しない。ニーズはすごくあるのに、とてももったいない。
- 建物のハード面では、高度成長期に建てられた建物は、見た目だけ良くて内実は質の悪い建物が多く、再利用が難しい。「わちがい」のような明治時代の建物は良質な木材を使用しており、現代でも十分使えるが、昭和の建物は早く育ち耐久性には欠ける材を使っている。

- ・建物のソフト面では、建物の奥にまだご老人が住んでいる場合が多く、再利用が進まない。
- ・商店街のシャッターを下ろした店の奥に住んでいる人がいるため、新規入居が難しい。

【大町市の魅力表現に関する課題】

- ・大町は自然豊かで水がきれいである素晴らしい町だが、ずっとそこに住んでいる人はその魅力に気付いていないことが多い。都会がスタンダードと思いつむ傾向あり。
- ・市内の宿泊機能がもっと充実してほしい。

【起業に挑戦する年齢の課題】

- ・起業に対して特にハードルを感じなかったが、若さゆえに舐められることもあった。
- ・数字の確認やスケジュール調整が大変だった。

2. 起業支援先進事例研修会、成果報告会の開催

■日時 令和7年3月16日（日）14:00～16:00

■場所 大町公民館分室2階講堂

■参加者 大町市民の皆様 24名
大町市役所の皆様 32名
(新聞等取材 2名)

■概要 大町市人口分析定住促進等事業として、本年度は大町駅周辺の中心市街地を中心に、次世代の定住や起業に向けての調査や話し合いを展開した。この1年間で積み上げた成果や他の自治体からの事例紹介を交えて、これから大町市で定住と起業を実現していく手立てを考える。

- 次第
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 講師紹介
 4. 講演・発表
- (1) 【講演】大町市の人口分析と全国の成功事例
講師：一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長 藤山 浩
- (2) 【取組発表】次世代定住に向けた地元天気図と暮らしの手引き
発表：九日町自治会
- (3) 【講演】広島県三次市女性活躍プラットフォーム「アシスタ lab」
講師：株式会社ソアラサービス 代表取締役 牛来 千鶴氏

- 配布資料
- (1) 大町市の人口分析と国内外の成功事例
- (2) ①『これからの九日町を考える集い』実施報告
②九日町自治会地元天気図
③暮らしのガイド個々の天地自治会編
- (3) 「ソアラビジネスポート」紹介パンフレット

■講演・発表内容

- (1) 【講演】大町市の人口分析と全国の成功事例
講師：一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長 藤山 浩

配布資料に基づき、大町市全体と中心市街地、および九日町の最新の人口分析結果の報告と、具体的な安定化シナリオを提案。本年度の本事業の取り組み状況とヒアリングの概要を説明し、国内外の自治体で定住や起業について成果を挙げている成功事例を紹介。

【質疑応答】

・出席者：大町市の今後を考えるにあたり、やはり、大きな会社の誘致をすることも一案ではないか。熊本では半導体世界最大手の「TSMC」が巨大な工場を完成させた。経済効果など素晴らしいと思うが、どのように考えるか。

・藤山：インパクトは非常に大きいですが、ホームランを狙いすぎたように感じる。もちろん経済効果など好影響を否定はしないが、ないものねだりではなく、あるものを大事にして地道にやっていくことも必要。会社はボランティアではないので、利益が見込めるから進出している。よって利益が出なくなれば撤退もある。ホームランを狙いすぎると三振の山になる危険性もあるので、ぜひ今あるものを大事にして行って欲しい。

(2) **【取組発表】次世代定住に向けた地元天気図と暮らしの手引き**

①発表：九日町自治会 塩入 博仁氏

配布資料に基づき、次世代の実現をより具体的に進めていくために、自治会として本事業に取り組むことになった経緯と、地元の強みや弱みを天気図風にわかりやすくまとめていく「地元天気図づくりの話し合い」、地域の暮らしをわかりやすく紹介する「くらしのガイドづくりの話し合い」、そしてこの2回の話し合いを経て地域の皆さんにどんな変化があったかを報告。

②発表：九日町自治会 船山 一仁氏

大分市から大町市九日町に移住を決めた理由、実際に移住してきた際の体験談、住んでみて気づく九日町の魅力などについて報告。

【意見交換】

・出席者：県外に出てしまった友人達も夏のお祭りには帰ってくる人が多い。お祭りを見ているだけでなく参加したいという声も聞く。お祭りを続けていくには大変なことも多いだろうが、交流人口を増やすためにもぜひ続けてほしい。

・塩入氏：九日町は舞台も流鏝馬も出すので、本当に大変なこと。自治会内だけでなく外部の力もお借りしないと続けていけないという段階に来ているが、今まではなかなか進められなかった。外部の力をどう借りるのか、これから仕組みを考えていくので、その際にはぜひ協力していただきたい。

(3) **【講演】広島県三次市女性活躍プラットフォーム「アシスタ lab」**

講師：株式会社ソアラサービス 代表取締役 牛来 千鶴

広島県三次市女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタ lab.」の運営事例を紹介。「創業」や「働く」への機運を醸成するセミナー等の実施（起業・啓発セミナー、就職セミナー、トライアル・サンクスセミナー）の他、起業家・専門家による個別コンサルティングの実施、交流会やイベントの開催、「みよしアントレヌ」の認定制度、地元の女性コーディネーターによるサポートといった事業内容を解説。

【質疑応答】

・出席者：「ソアラモノづくりプロジェクト」について、商品開発の進め方を伺いたい。会社側から作り手に声がけをしてスタートするのか、利益配分はどうしているのか。

・牛来氏：例えば広島菜キムチの開発は我々からメーカーに提案してスタートした。広島カープのグッズは売上の10%が当方に入ってくるのでそれをデザイン会

社にも配分している。売れる量が多いので額も大きい。三次市の酒蔵と組んで商品開発を手掛けたこともあったが、杜氏がいなくなり頓挫したような事例もある。

- ・出席者：行政から声がけしているのではなく、会社主体でということか。
- ・牛来氏：酒蔵の事例は、仲間の一人である酒造会社の娘さんを応援したいと始まったことではあったが、ほとんどの場合は当方で企画書を作り、売れそうな製品をクリエイターと組んでメーカーに提案している。

(当日の会場の様子)



3. 起業支援プログラムのあり方

今年度の調査や先進事例等に基づき、現在大町市で行われている起業支援の取り組みに加えて、次のような今後望まれる起業支援のプログラムのあり方について提案する。

(1) 大切な交流の「広場」づくり

大町市における起業家ヒアリングや成功事例である三次市の「アシスタ lab.」の事業展開を見ても、起業の成功には、幅広い交流、連携のネットワークづくりが欠かせない。例えば、商店街の既存店舗や空き店舗等を活用して、気軽に起業を考えている仲間が集まることが出来るような「広場」づくりを行うことを提案したい。氷見市の商店街においても、空き店舗を活用した集会スペースが創設され、月一度程度で地域内外の人材の集いの場として機能していた。ただし、単なる空間整備だけでなく、そこを活用、運営する事務局人材も含めた投資や委託が重要となる。



<広島県三次市における女性起業支援の「アシスタ lab.」>

(2) 進めたい定住促進や第三者継承等の他施策との合わせ技

実際に、起業支援を進めていく上では、地域内外の多様な人材に門戸を開いていくよう、U&I ターンを支援する定住促進事業や既存の事業者の資産、ノウハウ等を有効に利用する際三者継承事業などと上手く連携して合わせ技で進めていくことを提案したい。

具体的には、起業支援、定住促進、第三者継承の担当者がチームをつくり、ワンストップで連携しながら支援するような行政や商工会を横断した体制づくりが望まれる。また、ホームページやパンフレット等による情報提供についても、関連する事業間を連結していくよ

うな配慮が求められる。

(3) 欠かせない次世代の中学生、高校生における地元キャリア教育

もう一つ欠かせないことは、以上のような起業支援のプログラム展開を次世代の中学生、高校生への地元キャリア教育の充実と連動させていくことである。

実際には、ヒアリングでも明らかになったように大町市においても、近年注目すべき企業に成功した事例は存在する。しかし、そうした生き活きと地元で事業展開をしている人々や企業の存在は、現実には地元在住の中学生、高校生には気付かれない場合も多い。その場合、彼らは、地元で多様なキャリアを展開する可能性に目を閉ざしたまま、就職や大学進学等で他出することになる。これは、とてももったいないことである。

前述した起業の「広場」づくりや他施策との合わせ技の一環として、ぜひ地元のビジネス人材と中学生、高校生が知り合い、語り合うような地元キャリア教育の機会とプログラムの充実を提案したい。

成果物について

本業務の成果物として、以下のファイルを別途DVD-ROMで納品する。

ラベル名：【令和6年度 大町市地域人口分析定住促進等業務 成果物】

- 大町市全体の将来人口推計・分析結果 × 1ファイル
- 大町市地域毎の将来人口推計・分析結果 × 1ファイル
- 本報告書の電子データ(PDF) × 1ファイル
- 本報告書の電子データ(WORD) × 1ファイル

令和6年度

大町市地域人口分析定住促進等業務

発行年月：令和7年3月

発行：長野県大町市

〒398-8601 長野県大町市大町 3887

TEL: 0261-22-0420

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所

〒699-3671 島根県益田市津田町 1401

TEL: 0856-55-1011